

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄 (速記) 第三回

會議

昭和八年二月二十日(月曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 平野桑四郎君

田中 貞二君 福井 甚三君

松山常次郎君 清家吉次郎君

三善 信房君 土井 權大君

宮崎 一君 池田 秀雄君

村松 久義君 山田 助作君

木曾三四郎君 高田 耘平君

小池 仁郎君 由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省山林局長 木島 駒藏君

農林省畜産局長 村上龍太郎君

農林省米穀部長 荷見 安君

農林書記官 田淵 敬治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス

○土井委員 前回ノ委員會ニ於キマシテ私

ハ數量ノ調節ニ付テ御伺ヲ致シテ居ッタノ

デアリマス、即チ數量ノ調節ノ中ニ於テ、

調節ヲスル爲ニ資金ヲ如何様ニ運用スル

カ、所謂七億萬圓ノ資金ヲ如何様ニ運用ス

ルカ、是ガ第一、第二ト致シマシテ七億萬圓

ト云フ資金ハ表面出テ居ルガ、既ニ損シタ

部分モアリ、又現在政府所有米方面ニ資金

ヲ投ジテ居ル部分デモアリ、色々ソレ等ヲ

差引イテ將來ニ於テ活動シ得ベキ資金ハ幾

ラデアアルカ、之ヲ第二ニ御伺ヲ致シテ居ッ

タノデアリマス、丁度ソレニ關聯ヲ致シマ

シテ他ノ委員各位ヨリモ色々御質疑ガ

アッタデアリマスルガ、先ヅ其點ハ更ニ承

リタイコトモアリマスルガ、又他ノ委員各

位ニ於カレマシテモ、關聯シテ御同致サレ

ルコト、思ヒマス、併シ今日大臣ガ御出席

ニナッテ居ラヌヤウデアリマスルカラ、數

量調節、即チ資金ノ内容、資金ノ運用等ノ

問題ハ留保致シマシテ、今日御同致シタイ

ノハ米ノ生産費ノ點ニ付テデアリマス、即

チ米穀生産費、之ヲ主ニ御同致シタイと思

フデアリマス、此點ニ付キマシテハ他

ノ委員各位ニ於カセラレマシテモ、質問ノ

順序ガ來テ居ラズトモ、關聯事項トシテ御

質問アリタイト思フデアリマス、即チ米

穀統制法中ニ於テ骨子トモ申スベキハ米穀

生産費ノ問題デアリマス、何故デアアルカト

申セバ、政府ガ毎年米穀ノ最低價格及最高

價格ヲ公定スル場合ニ於テ、如何ナル點ニ

標準ヲ置クカト申セバ、即チ米穀生産費、

家計費、及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ斟酌ス

ルト云フコトニ相成ッテ居ルデアリマス、

所ガ此米穀生産費、其他家計費、經濟事情

ナドヲ斟酌スルノハ勅令ノ定ムル所ニ依ッ

テ斟酌スル、斯様ニナッテ居リマス、故ニ米

穀生産費ヲ斟酌スルト云フコトニ付テモ勅

令ニ讓ッテ居ル、此點ガ常ニ農村方面ガ不滿

足ヲ懷ク所以デアリマス、一ツノ適例ヲ申

付託議案

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

上ゲマスルナラバ、昨年ノ第三次臨時議會

ニ於キマシテ、御承知ノ通り米問題ハ兩院

協議會トマデ相成ッタノデアリマス、而シテ

最低價格ハ米穀生産費ヲ基準トスルト、暫

定のニ改正ニ相成ッタノデアリマス、而シテ

米穀生産費ハ如何ニシテ割出スカ、恐ラク

ハ當時ノ兩院協議會ノ委員ノ多數ノ人、竝

ニ衆議院ノ多數ニ於テハ、愈、米ヲ買上ゲル

最低價格ヲ定メル時ニハ、米穀委員會ヲ開

キ、其委員會ニ於テ適當ニ其會ヲ開カレテ

居ル當時ノ經濟事情ナドヲモ斟酌シ、又生

産費ヲ定メル上ニ於テモ委員會ニ於テ之ヲ

決定シ得ル、所謂委員會ニ其權限ノアルモ

ノデアアル、斯様ニ委員ニ於テモ考ヘラレタ

方ガ多クデアラウト思フデアリマス、

所ガ愈、米穀委員會ヲ開キマシテ、最低價

格ヲ定ムルトキニ當リ、實ハ私モ委員ノ一

人デアリマスガ、第三次臨時議會ニ於テ多

クノ人々ガ御考ニナッタクトヲ裏切ッテ、非

常ニ窮屈ナコトニ相成ッテ居ッタノデアリマ

ス、ソレハドウ云フコトデアアルカト言ヘ

バ、生産費ヲ算出スルノニハ命令ノ定ムル

所ニ依ッテ算出スルノデアッテ、何等米穀委

員會ニハ其權限ガ無イ、唯命令ノ範圍ニ於テ、單ニ諮問ニ應ズルガ如キコトニ相成ッタノデアリマス、固ヨリソレ等ノ善シ惡シヲ申ス譯デハアリマセヌ、實ヲ申セバ一種ノ錯誤ニ多數ノ人ガ陷ッテ居タモノデアルト思フノデアリマス、故ニ今回此米穀統制法ヲ審議スル上ニ於キマシテモ、再ビ昨年ノ第三次臨時議會ニ於ケルガ如キ錯誤無キコトヲ期シタイノデアリマス、特ニ吾々ガ米穀委員會ニ於テ案外ニ思ヒマシタノハ、詰リ此米穀生産費中ニ戸數割ト云フガ如キモノモ、公租公課ノ中ニ加算サレテ居ラレヌ、更ニ米ヲ作りマス上ニ於キマシテハ、灌漑用水、是等ノ費用ト云フモノモ隨分掛ルノデアリマス、ソレハ或ハ部落費ト云フヤウナ名前デ徵收致シテ居ル方面モアリ、又水利費ト云フ名目ノ下ニ徵收致シテ居ル方面モアリマスガ、ソレ等モ加算セラレテ居ラヌ、非常ニ生産費算出ノ命令ナルモノハ不完全デアリマス、故ニ何故ニソレ等ガ生産費中ニ加算サレテ居ラヌカ、此事ヲ先ヅ第一ニ御伺致シタイノデアリマス

第二ハ運賃、所謂生産地カラ市場ニ參リマスル間ノ運賃竝ニ諸掛、是ハ難シイ學理ノ上カラ申セバ、生産費中ニハ或ハ加ヘラレヌカモ知レヌ、生産費トハ何ゾヤ、曰ク

土地、曰ク資本、曰ク勞力、作ルマデニ要ッタ費用ガ所謂生産費デアリマス、故ニ難シイ理窟カラ言ヘバ、運賃竝ニ諸掛ハ生産費ニハ加ヘルコトハ或ハ出來ヌカモ知レマセヌ、併シ實際政府ガ最低價格デ米ヲ買上ゲルニ、生産費ヲ基準トスルト云フ其價格ハドウ云フ所カラ割出シテ居ルカト申セバ、庭先、即チ農家ノ庭先ニ於ケル生産費ト云フモノヲ元トシテ、ソレヲ所謂最低價格トシテ買上ゲル、庭先デ買上ゲルナラバ、何ヲカ論ゼンヤデアリマス、所ガ買上ゲルノハ大阪、神戸、下關、或ハ東京ト云フガ如キ、一定ノ市場ニ於テ買上ゲル、是モ己ムヲ得マセヌ、一戸々々デ買上ゲルト云フコトハ不可能デアリマセウ、故ニ其買上ゲル場所ガ惡イト云フ譯デハアリマセヌ、併ナガラ買上ゲル場所ト、庭先トノ間ニ於ケル運賃竝ニ諸掛ト云フモノガ買上價格ノ中ヘ算入シテ居ラヌ、生産費ニ非ラザルガ故ニ算定セスト云フ議論デアリマセウガ、併シ實際ノ上カラ言フナラバ、買上ゲル時ニハ賣主ト云フモノハ、運賃竝ニ諸掛ト云フモノヲ賣主自身ガ負擔シテ居ルノデアリマス、買ヒ方デアル政府ガ負擔ハ致シテ居ラヌ、ドウモ其邊ヲ考ヘマスルト云フト、實際ノ實情ト懸離レタヤウナ感じガスルノデ

アリマス、即チ運賃及諸掛問題ヲドウスルカ、又何故ソレヲ考慮ニ入レナカッタノデアルカ、之ヲ第二ニ御伺致シタイノデアリマス、公租公課ノ中戸數割及水利費、又ハ部落費ノ加入セラレザリシ理由、是ガ第一、第二ハ生産費デハアリマセヌガ、生産地ヨリ市場ニ至ルマデノ運賃竝ニ諸掛ト云フモノヲ最低價格ノ中ニ何故斟酌セザリシカ、此二點ニ付テ御伺フスル譯デアリマス、併ナガラ私一人デ質問ヲ獨占スル譯デアリマセヌカラ、何卒委員各位ニ於カセラレマシテハ、之ニ關聯シテ、色々ト御質問ガアルコト、思ヒマスカラ、ドウゾ關聯質問ハ御許シテ願ヒタイ、又委員各位ニ於カセラレマシテモ、其點ニ於テ腹藏ナク御質疑アラシコトヲ希フ次第デアリマス

○荷見政府委員 只今御質問ノアリマシタ第一ノ戸數割ヲ何故米穀生産費ノ調査項目ノ中ニ、現行規定デ以テハ入レテナイカト云フ御質問ト考ヘマスガ、是ハ前回ニモ申上ゲマシタ通りニ、戸數割ノ何程ノ部分ヲ生産地ノ田地ガ負擔シタモノトシテ見ルベキカト云フコトガ、殆ド明確デナイト云フ理由デ以テ、前回ニハ省イテ居ル譯デアリマス、併シ根本的ニ入レテハイケナイト云フ問題デハアリマセヌノデ、ドウモ何程ヲ

入レルカ、入レヤウガナイ、入レルコトガ困難デアルト云フ理由デ入ッテ居ラナイノデアリマスカラ、ソレハ十分其方法ヲ研究シマシテ、適當ナ算出ガ出來マスレバ加ヘテモ宜シイモノト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ部落協議費ヲ生産費ニ加ヘマセヌデシタノハ、其部落協議費ノ徵收方法ガ頗ル區々ニナッテ居リマシテ、地方ニ依ッテ大ニ違ヒガアリマスコト、ソレカラ又其金額ニ付キマシテモ、毎年豫算ヲ定メテ、一定ノ賦課方法ヲ以テ徵收致シマセヌデ、祭典費デアリマスツカ、寄合費デアリマスツカ、實際ニ要シタ經費ヲ、年度末ニ分賦徵收スルモノナドガ多イノデアリマシテ、米ノ生産費ヲ調査致シマスル時ニハ判定セヌ場合ガ色々アリマスノデ、是モ戸數割ヲ入レマセヌト同ジヤウニ加ヘルコトガ困難ト存ジテ居ルノデアリマス、尙ホ水利組合費ハ入ッテ居リマスケレドモ、其他ノ水利費ニ付テ入レルカ入レヌカト云フ御話デアッタト思ヒマスガ、用排水ノ、例ヘバ水番ニ出マシテ監視ヲシタト云フヤウナ費用ハ、分リマスレバ是ハ勞力費ニ入ッテ居ル譯デアリマス、其他何カ入レベキモノガアレバ相當ニ研究シナケレバナラヌト思ヒマス

ソレカラ第二ノ米ハ農家ノ庭先カラ價格

ヲ決メテ、買上ゲ致シマスル市場迄運ブ運賃、諸掛ト云フモノヲ何故生産費ニ加ヘヌカト云フ御尋ニ付キマシテハ、只今御述べニナリマシタ通りニ、生産費ト致シマシテハ、兎ニ角農家ガ庭先ニ米ヲ作ッテ持ッテ参リマス迄ガ考ヘラレルノデアリマシテ、其後運送致シマスル部分ハ、是ハ生産費ニ入レルコトハ餘程困難デアルト思ヒマス、唯前回ニハ經濟事情ヲ參酌スルト云フコトハナカタノデアリマスケレドモ、今度ノ法案ニ於キマスル經濟事情ト云フ中ニハ、此生産者ノ庭先カラ市場迄ニ到ル運賃ト云フヤウナモノモ、何カ適當ナ標準ガ立チマスレバ參酌致シ費用ニ加ヘテ宜イモノデハナイカト考ヘテ居リマス

○三善委員 只今ノ御質問ニ關聯致シマシテ質問致シマスルガ、今ノ當局ノ説明ニ依リマスレバ、戸數割及部落協議費竝ニ運賃等ニ付テソレノ一應御意見ガアルヤウデアリマスルガ、戸數割ニ付キマシテハ何程ヲ稻作ノ負擔トスルカ、其區別ガ困難デアルカラ今迄ヲ生産費ニ入レナカッタト云フ御意見ノヤウデアリマスルガ、戸數割ヲ算定致スニ付キマシテハ、是ハ町村デーツノ標準ガアルノデアリマシテ、或ハ一町步作ル者ニ對シテハ其一町步ノ收益ガ一段ニ

付テ何十圓アルカラ、之ニ對シテ戸數割ノ點數ハ何點ト云ッテ、是ハ明ニ分ッテ居ル、所謂小作スル人ニ幾ラ、或ハ自作スル人ニ幾ラト云フコトハ、戸數割ノ標準ヲ決メル場合ニ各町村ニ於テキチント分ッテ居ル、點數ニ於テ明ニナッテ居リマスガ故ニ、是ガ稻作ニドレダケ負擔シテ宜イカドウカト云フコトガ分ラナイト云フコトハ、御調査ガ十分デナイト私ハ思フノデアリマス、殊ニ唯稻作ト裏作ヲ考ヘテ見マス、是ハ粗收入ニ依ラレルカ、收益率ニ依ッテセラレテ行クカ、何レニシテモ決定シヨウト思ヘバ決定サレナイコトハナイノデアリマシテ、所謂田地ガ負擔スベキ所ノ戸數割ト云フモノハ町村ニハッキリ分ッテ居ルノデアリマスガ故ニ、此點モ是非トモ生産費ノ中ニ御入レ下サラナケレバナナイコトデアルト思フノデアリマス、當局モ唯算出ガ困難デアルカラトカ、何程負擔セシメテ宜イカト云フコトガ分レバ入レテモ敢テ差支ヌト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマスガ故ニ、是ハ町村ニ就テ御調ニナルトハッキリ分ッテ居リマス、ソレデ其町村ノ生産費ヲ調査スル人ニ御依託ニナレバ、ハッキリ判明スルコトデアリマスガ故ニ、入レルト云フ方針ヲ御決メ下サレバ、サウ困難ナモノデハナイト

思ヒマス、此點ニ付キマシテ一應御意見ヲ伺ッテ置キマス、尙ホ部落協議費デアリマスガ、此部落協議費ニ付キマシテハ賦課徴收ハ不確實デアルトカ、或ハ一定ノ豫算ヲ組マズシテ其翌年度トカ、或ハ年度ノ終リニ計上シ徴收スルノデアッテ、其米穀ノ生産費ヲ調査スル場合ニ間ニ合ハナイト云フヤウナ御意思デアッタヤウデアリマス、部落協議費ト云フコトハ、是ハモウ御承知デアルト思ヒマスガ、別段或ハ稻祭トカ、風祭トカ、水祭トカ、サウ云フ例祭ノ爲ニ費ス費用デナクテ、實際稻ヲ作ル上ニ付テ部落ガ協議シテ決メナケレバナラヌ事項ガ多々アルノデアリマス、又部落ニハ協議員ガアリマシテ、之ニ對シテモ相當手當ヲ支給シテ居リマス、ソレ等ハ多クハ稻作、麥作即チ主要作物ヲ耕作スル上ニ於テ協議スル事項ガ色色アルノデアリマシテ、是モ部落ニ依ッテ判然致シテ居リマス、只今御意見ノヤウニ唯一定ノ豫算ヲ組ンデ居ナイト云フコトハ事實ノヤウデアリマスガ、段別ニ幾ラノ費用ガ入ッタト云フコトハ、是ハ唯會計年度トカ、或ハ曆年度ニ依ラズシテ、米穀年度ニ依ッテ御定メ下サレバ決シテ困難ナ問題デハナイト思ヒマス、唯之ヲ曆年度トカ、會計年度トカ云フ風ニ御考ヘ下サルガ故ニ、

生産費ヲ調査スル場合ニ其時マデ間ニ合ハナイト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ米穀年度ニ依ッテ御考ヘ下サレバ直ニ分ルコトデアルト思ヒマスガ故ニ、此點ヲモ十分御考慮ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、私ハ當局ノ徴收ガ不確實デアルトカ或ハ豫算ヲ組ンデ居ナイトカ、或ハ之ヲ年度ニ生産費ヲ調査スル場合ニ間ニ合ハナイト云フコトニ依ッテ部落費ヲ御加ヘニナラヌト云フコトハ、頗ル當ヲ得テ居ナイト思フノデアリマスガ故ニ、此點更ニ御意見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

更ニ運賃ノ點デアリマスルガ、運賃ハ只今之ニ對シテ或ハ經濟事情トカ、何トカ適當ナコトニ依ッテ、多少ノ運賃ガ加ハラナケレバナナルマイト云フ御意見ノヤウデアリマス、固ヨリ運賃ト云フ名義デハアリマセヌガ、何カ他ノ名義ニ依ッテ、米穀生産費ニ加算スルコトガ適當ラシキ御答辯デアッタヤウデアリマスルガ、私ノ根本ノ方針カラ考ヘテ見マスルト、運賃ト云フモノヲ生産費ノ一部ト認メラレテ敢テ差支ヘヌデハナイカ、斯様ナ考ヲ有ツノデアリマス、是ハ廣イ意味ニ付テ考ヘテ見マスルト、米モ一ツノ商品デアリマシテ、米ヲ賣却シテ初メテ農家ノ收入トナルノデアリマス、農家ニドレ

ダケノ収入ヲ得セシメルカト云フコトニ付
キマシテハ、少クトモ最小限度ノ生産費ダ
ケハ農民ニ與ヘナケレバナラヌト云フコト
ハ、是ハ昨年ノ臨時議會ニ於キマシテモ大
臣自身ガ言ハレテ居ッタヤウデアリマスガ
故ニ、此點ハ政府當局モ今尙ホ御變リハナ
イト思ヒマス、其生産費ヲ農民ノ収入トシ
テ與ヘルト云フコトニナリマスレバ、即チ
米ヲ賣ッテ初メテ其収入ガアルコトニナリ
マスルガ故ニ、商品トシテ取扱ッテ或ル市場
マデ出ルダケノ運賃ハ生産費ノ一部トシテ
御加ヘ下サルコトモ、廣義ノ意味ニ於テ私
ハ敢テ差支ナイ、斯様ニ思フノデアリマス、
之ヲ生産費ノ中ニ加フベキモノデナイ、運
賃トシテハ生産費外ノモノデアアル、ソレ
デアルカラ經濟機構、其他ノ事情ニ依ッテ入
レルヨリ外ハナイト云フ風ニ狹ク解釋シテ
下サルト、何時マデモ運賃ト云フモノハ農
村ノ穫ル所ノ米ノ價格ノ中ニ入ラス、今此
運賃ヲ十箇年ノ平均ニ付テ考ヘテ見マス
ト、一石ニ對シテ二圓三十九錢、市場ノ相
場ト庭先相場トノ開キガ、運賃二圓三十九
錢ノ開キデアアル、此二圓三十九錢ノ開キガ
アルコトガ農村ガ甚ダ困ル點デアリマシ
テ、此費用ヲ生産費ニ御加ヘ下サルト甚シ
キ無理ハナイヤウニナルデハナイカ、斯様

ニ思フノデアリマス、偶々私ノ調査シマシタ
所ノ運賃ノ市場ノ相場ト庭先相場ト二圓三
十九錢ト云フ開キガ、他ノ意味ニ於テ計算
致シマシタガ、生産費ト其庭先相場トノ開
キト云フヤウナモノヲ見テ居リマシタガ、
一體農家ノ収入トナルベキモノハ生産費總
テガ農家ノ収入トナルベキモノニアラズシ
テ、農家ノ本當ノ純ノ収入トナルベキモノ
ハ土地資本利子ト、勞賃ト、自給肥料、此
三ツガ農家ノ本當ノ收入ニナルデアリマ
シテ、其他ハ農家ノ本當ノ利益トナルベキ
モノデハアリマセヌ、土地資本利子、勞賃、
自給肥料、此三ツガ農家ノ純收入ニナルノ
デアリマス、ソレデ私ハ生産費ト庭先相場
ト云フコトカラ考ヘテ見マスルト、丁度其
差ガ五年度ニ於テ一石ニ對シテ八圓三十二
錢、六年度ニ於テ六圓九十二錢、六年度七
年度平均シマスト七圓六十二錢、六年度マ
デ十箇年平均致シマスト二圓三十五錢、二
圓三十五錢ヲ庭先相場ニ加ヘレバ丁度生産
費ト同様ノ價格ニナル、市場ノ相場ト庭先
相場トノ開キガ二圓三十九錢デアアル、サウ
スルト只今私ノ計算シマシタ二圓三十五錢
ヲ庭先相場ニ加ヘマスト生産費ニナルト云
フコトデゴザイマスカラ、運賃ダケガ農家
ノ収入トシテ今マデ加ヘサヘスレバ生産費

ニ釣合ッテ來ルト云フ計算ニナルデアアル
マスガ故ニ、ドウシテモ運賃ハ今ノ廣義ノ
意味ニ於テ御加ヘ下サルコトガ至當ナリ
ト、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、此點
ニ付キマシテ當局ノ御解釋ガ矢張先ノ様ナ
經濟機構、其他ニ加ハルト云フコトニアラ
ズシテ、運賃トシテ廣義ノ意味ニ於テ生産
費ノ一部ニ加ハルト云フコトニ御改メ下サ
ルナラバ、洵ニ結構ダト思ヒマスガ、此點
ヲモ併セテ御答辯ヲ願ッテ置キマス
又勞銀ニ付テ御意見ヲ伺ッテ見タイト思
ヒマスガ、曩ニ申シマシタ所ノ農家ノ純收
入ト云フモノハ、自給肥料ノ見積代價ト、
土地資本利子ト家族勞銀ト此三ツガ農家ノ
純收入デアリマス、デアリマスカラ吾々ハ
家族ノ勞銀ト云フコトニ付テ十分研究ヲシ
ナケレバナラス、家族ノ勞銀ト云フコトニ
付テ考ヘテ見マス、昨年ノ帝國農會ノ調
査ニ依リマスレバ、家族ノ勞銀ハ十五圓何
ボニナッテ居ルト思ヒマス、ソレハ一日ガ八
十一錢ト云フ計算ニナッテ居ルノデアリマス
ガ故ニ、先ヅ一反歩ヲ耕作スルニ二十日
外ノ日數ガ掛リマス計算ニナッテ居リマス、
一反歩農家ガ耕作スルノニ二十日ノ手間ヲ
要スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マス、私
ハ二十日其モノヲ勞銀トシテ直ニ御計算下

サルコトハ、少シ無理ガアル、二十日勤勞
スル上ニ付キマシテハ、私共ハドウシテモ
一週間ニ一回トカ、或ハ五日ニ一回トカ、
農家ニ休日ガアリマス、殊ニ炎天ニ照ラサ
レテ、サウシテ農業ニ從事スル上ニ於キマ
シテハ、二十日間連續シテ農業ニ從事スル
ト云フコトハ困難デアリマス、絶對不可能
デアルト言ッテモ敢テ過言デナイト思ヒマ
ス、今日ハ或ハ工場ニ於キマシテモ、或ハ
商店ニ於キマシテスラ、一箇月ニ何回カノ
公休日ヲ與ヘテアルノデアリマシテ、其日
ハ遊ンデモ矢張勞銀ヲ取ッテ居ル、相當ナ報
酬ヲ得テ居ルト云フノデアリマシテ、獨リ
農家ニ於テノミ二十日間打通シニ農業ニ從
事セシムルト云フ計算ニ依ッテ勞銀ヲ御割
出ニナルト云フコトハ、ソコニ矛盾ガアル
ト思フノデアリマス、少クトモ二十日間ニ
於テハ其中ニ一週間ニ一回、或ハ五日間ニ
一回位、殊ニ農家ガ夏季炎天ニ於テ就業ス
ルニハ、相當ノ休日ガナケレバ出來ナイノ
デアリマスガ故ニ、此實情ヲ御知り下サツタ
ナラバ、必ズ二十日ト云フコトハ二十三
トカ二十四日トカ云フコトニ依ッテ勞銀ヲ
御定メ下サルコトガ適當デナイカ、斯様ニ
思フノデアリマス、此點ハ特ニ考慮ヲ要ス
ベキモノト思フノデアリマスガ故ニ、農林

當局ノ御意見ヲ伺フテ置キタイト思フノデアリマス、以上五點ニ付キマシテ御同致シマシテ、尙ホ他ノ機會ニ於キマシテ質問致シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今御尋ノ米穀生産費ノ内容ノ中ニ戶數割、部落費ト云フモノヲ加ヘルカ加ヘヌカト云フ問題デアリマス、ソレカラ運賃ヲ米穀生産費ト云フ中ニ入レルカ、或ハ經濟事情トシテ生産費ノ中ニ加ヘルモノトシテ考ヘルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ是ハ只今モ申上ゲマシタヤウニ、從來ハ色々ナ研究ノ程度ガアリマシタノデ、現在ノヤウナ制度ニナッテ居ルノデアリマス、今度又新シク統制制度ヲ實行シマスノニハ、ソレ等ノ點モ世間デ多ク論ジラレタ點ナノデアリマスカラ、十分研究致シマシテ決定致シタイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ有ッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ生産費ニ入ッテ居リマスル勞賃、殊ニ自家勞力ヲドウ云フ風ニ評價スルカト云フ問題デアリマスガ、此自家勞力ノ評價ニ付キマシテハ、大體日傭勞賃ニ依ッテ算出ヲ致シテ居リマス、其他ニ適當ナ方法ハナイト思ヒマス、尙ホ此勞働日數ハ二十日分デアレバソレヲ二十一日分トカ、二十二日分ト云フヤウニ割合ヲ増シテ計算シタラドウカト云フヤウナ御話ノヤ

ウデアリマシタガ、此勞働日數ハ毎日連續スル譯デハゴザイマセヌノデ、ズット此間ガ空イテ、總テ總計シテ何日トカ云フヤウニ生産費ヲ締上ゲタ結果デヤッテ居ルノデアリマシテ、其間ニハ日誌ヲ以テ此日ハ働イタ、此日ハ休シタト云フコトガ全部明ニナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、其外ニ何日分ヲ加ヘルト云フコトハ餘程困難ノヤウニ思フノデアリマス、大體帝國農會

アタリデ調査シテ居リマス勞賃ト、農林省デ調査シテ居ル勞賃アタリヲ較ベテ見マシテモ、帝國農會ノ勞賃ヨリハ、昭和七年度ノ米穀生産費ハ吾々ノ調査シテ居リマス方ガ、反當リデ見マスト何十錢カ高ク付イテ居ル位ノモノデアリマシテ、是ハ只今ノヤウナ調査方法シカナイヤウニ思ヒマス、尙ホ戶數割ヲ加ヘルカ、加ヘヌカト云フ點ニ付キマシテ先程申落シタ點ヲ附加ヘテ置キマスガ、戶數割ヲ加ヘナイト云フ點ニ付キマシテハ、今御尋ニナリマシタ自家勞力ヲ如何ニシテ得ルカト云フ點ニモ關係ガアリマス、自家勞力ヲ日傭勞賃デ換算致シマス場合ハ、日傭ニ出マス働キ手ハ日傭勞賃ヲ得テ、其中カラ戶數割ヲ納メテ居リマスカラ、其勞働者ノ日傭勞賃ヲ以テ自家勞力ヲ換算スベキ場合ハ、結局戶數割ヲ納メル

ノモ生産費ノ中ニ入ルノダト云フ意見モ當時ハゴザイマシタガ、サウ云フ點モ一ツハ考ヘラレル點ナノデアリマス、併シ今御質問ニナリマシタヤウナ點ハ色々實際問題トシマシテモ、鄭重ニ研究シタ方ガ宜イト考ヘテ居リマスノデ、何レ此法ガ施行サレル場合ニハ、十分調査シタ上デサウ云フ規定モ規定スベキモノガアレバ規定致シタイ、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ル譯デアリマス

○三好委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ大要ハ分リマシタガ、戶數割及部落協議費ニ付キマシテハ勅令ヲ定ムル場合ニ相當ニ考慮スルト云フコトデアリマス、ソレハ私ノ前ニ申シマシタヤウニ、戶數割及部落協議費ト云フモノハ關聯シテ居ルノデアリマスノデ、生産費ニ入レラレルノガ適當ト考ヘマスガ故ニ、是ハ是非入レテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、運賃ニ付キマシテハ是ハ十分考究スルト云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、私ガ前ニ申シマシタコトハ、運賃ヲ生産費ト見テ善イカ惡イカト云フ、廣義ノ意味ニ解釋スルカ、或ハ狹イ意味ニ解釋スルカ、所謂米ヲ一ツノ商品トシテ取扱ッテ宜イモノデアレバ、市場ニ出ルマデノモノハ生産費トシテ加ヘルコトガ適

當デアルト云フ考ヲ有ツノデアリマスガ故ニ、是ハ根本的ニ當局ノ御意見ヲ定メテ置ク必要ガアルト考ヘマス、之ヲ斯様ニ御考ヘ下サレバ別ニ經濟機構トカ、其他ノ事情ト云フコトヲ御考ヘ下サラヌデモ、當然生産費トシテ入ルベキモノデアルト云フ御見解ヲ下サレバ、何モ御心配ニナル點ハナイト思ヒマス、前ニ申上ゲマシタ通り少クモ農家ノ收入ハ米ヲ賣ッテ初メテ收入ニナル、農家ニ生産費ダケノ收入ハ與ヘヨウト云フ方針デアリマスナラバ、運賃ヲ加ヘルコトガ、所謂生産費ノ一定ノ率ヲ決メル上ニ於テ最モ必要デアリマス、故ニドウシテモ一ツノ商品トナルニ於テノ道程デアリマスノデ、是ハ生産費ト見ラレルガ適當デアラウト思ヒマス、是ハ是非サウ云フ風ニ見テ戴イテ、生産費ニ運賃ヲ含ムト云フ見解ニ改メテ戴カナケレバナラヌノデアリマスガ、是ハ狹イ意味ニ御解釋下サルカ、或ハ今私ガ申シマシタ生産費ト云フ廣イ意味ノ御見解ヲ以テ此運賃ヲ生産費ニ御加ヘ下サルカ、此點ヲハッキリシテ戴ケバ運賃ニ對スル將來

ノ問題ガ起リマセヌカラ、此際特ニ此點ヲ御同致シタイト思ヒマス、更ニ勞賃ニ付テノコトデアリマスガ、勞賃ハ調査スル者ガ毎日々々働イタ其程度ヲ記入シテ茲ニ舉ゲ

テ居ル、ソレダカラ別ニ是レ以上考慮スル必要モナイト云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、固ヨリ私ハ日傭賃金ヲ以テ家族ノ勞賃ト定メラル、コトハ異存ハアリマセヌガ、先程モ申上ゲマシタ通り、農家ガ稻作ヲシマスニ付キマシテハ、ドウシテモ夏ノ炎天ニ當ッテ或ハ一箇月ナリ——通常農家デハ百日ト云ッテ居ル、農家ノ仕事ハ百日ダト言ッテ、百日間ト云フモノハ稻作栽培ノ爲ニ從事シナケレバナラス、少クトモ其間ニ

ハハッキリ分ル、三十日モ四十日モ連續的ニ働クコトハ不可能デアル、何處デモソレデ公休日ト云フモノガアリマス、是ハ殊更ニ休ムノデナクシテ、ドウシテモ休マナケレバ體力ガ持テナイノデアリマス、ソレデ此休ンダ日モ矢張勞働ニ從事シタ日トシテ加算シテ、勞働賃ヲ加ヘルコトガ適當デアルト思ヒマスガ、御意見如何デアリマスカ

○荷見政府委員

又申上ゲマスガ、只今デハ私共ノ方ノ研究ノ結果ハ、市場ニ至ルマ

四十日カ、五十日ハ從事シナケレバナラス、其從事スル中ニ公休日ト云フモノヲ一週間ニ一度ナリ、十日ニ一度ハドウシテモ定メテ農業ニ從事シナケレバヤッテ行ケマセヌ、毎日連續的ニ農業ニ從事スルコトハ、餘リニ苦痛デアル爲ニ、家族モ雇人モ一般ニ休ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、併ナガラ此公休日ハ働イタ日數ノ中ニ加ヘルノガ當然デ、是ハ他ノ工業勞働者、或ハ商店等ニ於キマシテ、公休日ヲ加ヘテ之ニ對シテ休ンデモ勞賃金ヲ與ヘルト同ジ意味ニ於テ、是ハ勞働日數ノ中ニ加ヘテ、日傭賃金ノ八十錢ナリ、九十錢ナリノ日當ヲ之ニ加算スルコトガ適當ト考ヘマス、此點ハマダ十分御考ニナラヌヤウデアリマスガ、農家ノ事情ヲ少シク御承知ニナッタナラバ、此點

デノ米ノ運賃諸掛ハ是ハ生産費ニ加ヘズニ、經濟事情、其他ヲ參酌シヨウト云フコトニ米穀部デハ落著イテ居ルノデアリマスガ、マダ確定シテ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、先程申上ゲタヤウニ十分研究ヲ致スコトニ致シマス、ソレカラ勞賃ヲ日傭賃賃デ計算致シマシテ、其外ニ働カナイ日ノ分ヲモ何日カ加ヘルト云フコトハ、未ダ初メテマアリマシテ、ソレマデ研究シタコトガアリマセヌカラ、能ク考究シテカラデナイト何トモ御返事ガ申上ゲ兼ネマス

○宮崎委員

只今ノ土井委員ノ質問ニ關聯シテ伺ヒマスガ、私共ハ米穀統制法ノ制定ニ依ッテ、米穀法ヲ廢止スルト云フコトニ非

ノ事情ヲ少シク御承知ニナッタナラバ、此點

所ガ米穀統制法ノ建前ヲ能ク見マスト、一

寸心配ニナルコトガアリマス、只今政府委員ノ御答辯デ、物價其他ノ經濟事情ト云フコトニ非常ニ好意ヲ持タレテ居ルラシク考ヘラレマスガ、米穀法ノ規定ノ第五條ヲ見マスト、矢張同ジヤウニ米穀ノ生産費ノ最高價格、最低價格ヲ決定スルノハ、米穀生産費、家計費ト同ジヤウニナッテ居ル、其次ニ「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」トアルノガ、今度ノ規定ニ依ルト、物價、其他ノ經濟事情ヲ參酌スル、是ハ勿論米穀法ヲ廢スルノデアアルカラ、意味ハマルデ違フコトニナルデアリマセウガ、米穀統制法ノ中ニ法律ノ適用ノ仕方ニ依ッテハ米穀ノ生産費、家計費ヲ考ヘテ、其上ニ物價其他ノ經濟事情ト云フコトニナルト、米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依ッテ參酌シテモ宜イヤウニ考ヘルノデアリマスガ、米穀法ガ廢止セラレタ場合ニ、而モ米穀統制法ガ同ジヤウナ效果ヲ來タスヤウナ結果ニナリハセヌカト云フ懸念ガアリマスノデ、物價、其他ノ經濟事情ト云フ中ニハ、元ノ第五條ノ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢云々ト云フモノハ含マヌモノデアルト云フ御聲明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員

只今ノ御質問ノ點デゴザ

イマスガ、ソレハ生産費、家計費、ソレカラ物價其他ノ經濟事情ト云フヤウニ書イデアリマスノデ、其内容ニ付テハ十分規定ヲ設ケル時ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、例ヘバ生産費ノ内容ニ付キマシテモ、色々話ガアリマスヤウニ、現在ノ内容デハ御不満足ナ點ガ多々アルヤウデアリマス、ソレカラ家計費ノ内容ニ付キマシテハ、本日御手許ニ差上ゲマシタヤウニ、色々數字ヲ出シテ居リマスガ、何シロ一回ノ調査デアリマスノデ、ソレガドウ云フ結果ガ今年ノ十一月ノ時ノ表ニ現ハレテ參リマスカ、ソレモ見テ見ナケレバ分リマセヌ、ソレ等ノ點ヲ見マスト、矢張物價ノ關係ト云フコトモ見テ、生産費ガ安イカ高イカ、家計費ハドウ程度ニ付クノデアアルカ、物價ノ關係其他ノ運賃諸掛ト云フモノハ私共ハ生産費ノ中ニ入レルノハ少シ窮屈ダト云フ感じヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點モ考ヘナケレバイカヌト思ッテ居リマスノデ、總テノ點ヲ研究シテ立案シタイト云フ希望ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラ、今ノ「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」ト云フモノハ米穀法ニ書イデアリマスガ、サウ云フコトヲシテ見ルカ、見マセヌカ、是ハ物價其他ノ經濟事情ヲ見

願ッテ置キタイト思ヒマス

見マセヌカ、是ハ物價其他ノ經濟事情ヲ見

ルト云フ關係カラスレバ、或ハソレモ見ル必要ガアルカトモ思ヒマスガ、總テ研究シテヤッテ見タイト考ヘテ居リマス

○宮崎委員 只今ノ質問ハ重要ナ問題デ、運賃ノ問題、其他ノ問題ガアルガ、私ノ是非伺ッテ置キタイノハ、「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」此言葉ハ絶對ニ米穀統制法ノ中ニ謂フ所ノ物價、其他ノ經濟事情ヲ斟酌スルト云フコトヲ全然含シテ居ラヌト云フコトデナケレバ、ソレガ入ッテ居ルノデハ米穀法ガ米穀統制法ト云フ名前デ殘ッタコトニナル、率勢米價ノ爲ニハドノ位多クノ農民ガ苦シンダカ分ラナイ、率勢米價ト云フモノハ根本的ニ廢止スル、米穀法ヲ廢止スルト云フコトニナツタコトハ不完全ナ法律トシテ喜ブノデアアルガ、モット徹底シタル米穀統制ノ主體ガ國家ノ專賣トマデ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウデナクシテ不完全ナ法律デ我慢ヲシタイト云フノハ、米穀法ヲ廢止スル、其根本ハ率勢米價ノ廢止ト云フモノダト考ヘマス、今ノ御答辯ノ第五條ノ「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」、所謂率勢米價ヲ斟酌スルカモ知レヌノデハ、私ハ進歩シテ居ラヌト思ヒマスガ 殊ニ第五條ノ米穀

生産費、家計費、ソレカラ米價指數云々トアル、此米價指數云々ヲナクシタ所以カラ見マス、第二條ノ物價、其他ノ經濟事情ト云フノト、米穀法ニ於ケル「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」ト云フノト、全然意味ガ違フノデアルト云フコトノ御聲明ヲ願ハナケレバ、米穀法ヲ廢止シタ理由ガチヨットモナクナッテシマフ、是ハ今大臣カラ御説明ヲ願ヘレバ結構デアリマスガ、重要ナ問題ト思ヒマス、斟酌スルカモ知レヌト仰シヤラレテハ甚ダ困ル、只今ハッキリシテ御答辯ガ出來ナケレバ、次ノ機會ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今御質問ノ點ハ私共ガドウ聲明致スト云フヤウナ問題デハナイノデアリマスカラ、何レ大臣ガ御出ニナツタ時御答辯ヲ願ヒマス

○八田委員 關聯致シマシテ——只今土井君カラノ最低價格ノ政府ノ調査ニ付キマシテ色々質問サレ、ソレニ關聯シテ他ノ委員ヨリソレ／＼御問ニナツテ居リマシテ、殊ニ三善委員ノ如キハ地方ニ最モ適切ナル實例ノ上カラ致シマシテ、當局ニ意見ヲ尋ネラレテ居ルノデアリマス、實際地方ノ實情カラ申シマス云フト、三善委員ノ御尋ニナッ

タヤウナコトハ大ニ考慮シナケレバナラヌノデアリマス、實際ノ實情ノ上カラ申シマスト、斯ウ云フコトニ考慮ヲ拂ッテ、サウシテ生産費ヲ本當ノ生産費ニ上ゲテ行クト云フコトガ一番ニ必要デアッテ、當局モサウ云フ點ニ非常ニ傾聴サレテ、サウ云フ材料ヲ今後ハ大ニ斟酌ヲシテ考ヘル、斯ウ云フ御答辯デアリマスノデ非常ニ私満足致シマシタ、今回立法ヲ改メテ、サウシテ生産費ニ近ク、生産費ニ本當ニ即スル價格ヲ設定シタイト云フ誠意ノアルコトヲ認メマシテ、非常ニ喜ビマスルガ、吾々ハ從來政府ノ勅令ニ依ッテ——施行令等ニ依ッテ示サレタル此標準ト云フモノハ、洵ニ當ヲ得テ居ナイ、是ハ前議會ノ米穀委員會等ニ於キマシテ色々追ッテ點デアリマシタガ、現行米穀法ノ勅令等ニ支配サレテヤット今回生産費ヲ二十圓八十六錢ニ上ゲラレタト云フコトハ、實ニ地方ノ實情ニ即セザル悲慘極マリナイ、農民ヲ知ラザル設定デアルト、一般カラ非難ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此時ニ當リマシテ諸般ノ上カラ全ク生産費ニ即シタルモノヲ計上スルコトニ一意心ヲ寄せネバナラヌノデアリマスガ、先般河野委員カラハ特ニ本會議ニ於テ、生産費以上ニ利潤、利益ノナイ生産物價ガ何處ニ在ル、斯

ウ云フ御問デアリマスガ、吾々モ同感デアリマス、唯農民ノ生産費ノミヲ基準トシテ、農民ノ利益ヲ見ナイト云フコトデ、農民ノミニ國家ニ御奉公セイト云フコトハアルベカラザルコトデアアル、デアアルカシテ何トカシテ利潤ヲ得ル程度マデニ一ツ突込シテ、農民ヲ救フ所ノ材料ヲウント蒐集アラシコトヲ願ッテ置クノデアリマスガ、茲ニ今回土地資本ノ利子ニ付キマシテ、私ハ標準價格ヲ取ラレルノニ、從來小作料ヲ以テヤッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハドウモ甚ダ米ノ安イ時ニ當ッテ、小作料ヲ以テ米ノ標準ニサレルト云フコトハ、農民ニ非常ナ不利益ヲ與ヘル、是ハドウシテモ土地ノ價格ニ依ッテ、即チ近來賃賃價格ニ土地ノ値ヲ改メテ來タヤウナ上カラ見マシテモ、土地ノ資本ヲ見ルノニ公課ニ依ッテ其利子ヲ見ルト云フコトハ非常ナ差ガアルヤウデアリマス、小作料ヲ以テスルノト、ソレカラ土地資本ニ對スル利子ヲ基準トシテヤルコト、ガ非常ニ差ガ出來テ參リマス、斯ウ云フコトニナツテ來ルト云フト、今日ノ米價ノ安イ時ニ當ッテハ、ヤハリ生産費ニ近クナツテ來ル、之ニ付キマシテ更ニ政府ハ考慮ヲ盡サレルヤウナコトニナツテ居リマセウカ、此點ヲ更ニ伺ッテ置キマス

モウ一ツハ調査ヲ命ズル調査ノ農家ヲ選
ブノニ從來ハドウカト云フト、地方ノ有名
ナル力農家、精農家、斯ウ云フ者ニ命ズル、
即チ筆算ニ長ケ、常識ニ富シテ居ルヤウナ
者ヲ選ブノハ已ムヲ得ナイケレドモ、斯ウ
云フ中等ノ農家デナイ、上農ヲ選ンデサウ
シテ命ジマス、上農ハ又自分ノ腕ヲ以テ、
自分ノ力ヲ以テ生産スル價ト云フモノハ、
利口ナ百姓デアアルカラウント掛ケナイヤウ
ナ生産費ニナツテ來ルノデアリマス、サウ云
フモノヲ基準トシテヤラレルカラ、生産費
ガドウモ旨ク行カナイ、地方ノ事情ニ即シ
テ居ラナイ、ソコデドウシテモ是ハ中庸ノ
モノデナケレバナラナイノデアリマス、精
農ヲ選ンデハドウモ計算ガ能ク合ッテ來ナ
イ、是モ一ツ政府ノ方デ改メル必要ガアル、
是ハ農會等ニ於テ始終言ッテ居ル問題デア
リマス、政府ノヤツテ居ルコトデ、之ヲ地方ノ
農業技術員等ニ命ジテヤラセルコトハ甚ダ
意ヲ得ヌノデアリマス、唯政府ノ考デ精農、
力農ト云フヤウナモノニ命ジマス結果ハ、
精農力農ト云フ者ハ一段歩十圓デ上ゲルヤ
ウナ者ガ七十何人モアル、斯ウ云フ精農、
力農者ハ一段歩二石八斗トカ、或ハ三石モ
穫レマスガ、大抵日本ノ百姓ハ中等ノ者ハ
一段歩ニ付テ二石ト決ッテ居ル、ソレヲ二石

以上ノ者バカリヲ調査農家ニ入レラレルト
云フコトハ、不都合ナコトデアリマスカラ、
斯ウ云フ點ニ於テ改メラレル必要ガ非常ニ
アルト考ヘマスガ、斯ウ云フ點ニ付テノ御
考ヲ承ッテ置キタイ、要ハ如何ニシタナラバ
農村ガ喜ブダケノモノ——農民ヲ救フ上ニ
於テ米價ガ何ヨリ一番先デアアル、米價サヘ
根本的ニ農民ガ利益ヲ得ル程度ニ計算サレ
テ行ケバ農民ハ平和デアアル、五穀豐穰、以
テ鼓腹擊壤スルニハ、ドウシテモ今日ノ米
價ヲ釣上ゲテ、サウシテ農民ヲ其憐レナル
境遇カラ救ッテヤルト云フコトガ眞先デア
ル、ガカラ政府當局ハドウシテモ此農村ノ
生産費ヲ高クシナケレバナラヌト云フ觀念
ノ上カラ、御調査ヲサレルヤウニシナイト
云フト、根本精神ガ安クスル精神デヤラレテ
居ッテハ全ク違フコトニナリマスカラ、ドウ
カ土地資本利子ニ對スル政府當局ノ頭ヲ從
來ト改メラレテ、調査農家ニ付テモ從來ト
ハ趣キヲ異ニシテヤラナケレバナナルマイト
思ヒマスガ、此邊ノ所ヲ一寸承ッテ置キタ
イ

探ッテ居リマス方法ノ方ガ實際的デアルヤ
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、其理由ヲ一
應申上ゲマスガ、此生産費ノ調査ヲ致シマ
スノハ成ルダケ地方ノ主要米產地ヲ採リマ
シテ、其主要米產地デ成ルダケ普及シタ品
種ヲ作ル農家デ、只今御話ノアリマシタヤ
ウナ中庸生産費ヲ得ルヤウニ、適當ナ農家
ヲ選定セヨト云フコトハ、是ハ省令ニモ書
イテ置キマスシ、通課其他ニ於テモ十分注
意致シテ居ルノデアリマス、ソレデ其場合
ニ實際ノ調査ニ當リマスと云フト、土地資
本利子ヲ計算致シマス時ニ、類地ノ小作料
ヲ納メテ居ル土地ハ、同ジ町村ノ中ニ容易
ニ發見出來ルノデアリマスケレドモ、ソコ
デ同ジヤウナ土地ガ賣買サレテアッタト云
フ例ハ中々ナイノデアリマス、ソレデ帝
國農會等ノ調査デハ、此不動産銀行アタリ
ガ調査致シマシタ中等ノ其縣内ニ於ケル土
地ノ賣買價格ヲ資本ト看做シテ、ソレニ何
分カノ歩合ヲ掛ケマシタモノヲ土地資本利
子トシテ計算シテ居ルノデアリマスガ、ソ
レデハ實際ニ非常ニ遠イヤウニ思ヒマスノ
デ、農林省ノ方ト致シマシテハ、其類地ノ
小作料ヲ見テ、同ジヤウナ土地ヲ使用スル
ニハドレダケノ小作料ヲ拂ヘバ宜シイカト
云フコトヲ見マシテ、其小作料ヲ當時ノ米

價デ以テ換算シテ出シテ居ルノデアリマシ
テ、其方ガ實際ニ適スルヤウニ、只今デハ考
ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ帝國農
會等デモ、賣買地價ニ歩合ヲ掛ケルノデア
リマスガ、ソレヲ三分ニシタラ宜イノカ、
四分ニシタラ宜イノカ、五分ニシタラ宜イ
ノカ、其歩合ノ研究ニモ餘程困難ガアリマ
スノデ、色々ノ階級ノモノヲ從來出シテ居
ルヤウデアリマスガ、之ヲ四分ニスルカ、
三分ニスルカト云フコトニ付キマシテハ餘
程違ヒガ出來テ來ルヤウニ思ヒマス、ソレ
カラ生産費調査農家ノ問題ハ、只今申上ゲ
マシタヤウニ、成タケ中等ノ反當リ收穫量
ヲ出シテ居リマスヤウナ中庸農家ヲ採ルト
云フ方針ヲ規定ノ上ニモ、實際上ノ注意ニ
モ十分致シテ居ルノデアリマシテ、餘程其
點ハ徹底シ掛ケテ來テ居ルヤウニ思ヒマ
ス、例ヘバ昭和七年ノ自作農ノ反當リ收穫
ヲ見マスと、農林省ノ調査ハ二石四斗七合
ニナツテ居リマスガ、帝國農會ノ方ノ調査ヲ
拜見スルト、二石四斗六升九合ト云フヤウ
ニナツテ居リマシテ、寧ロ帝國農會デ御選擇
ニナリマシタ自作農家ヨリハ、農林省ノ選
擇致シマシタ自作農家ノ方ガ、反當リ收穫
デモ相當高値ヲ出シテ居ルヤウナ事情デア
リマシテ、此點ハ今ノ御話ノ御趣旨モアリ

マスカラ、將來トモ十分注意致シマシテ、中庸農家ノ選擇ニ努メタイト思ヒマスガ、現實ニ於テモ出來ルダケハ注意ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其點ハ御諒承置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○村松委員 生産費ニ關聯シテ御伺ヲ致シタイノデアリマス、先ヅ質問ヲ致シマスル順序トシマシテ、昨年度ニ於ケル生産費ノ調査ガ出來上ッテ居ル筈デアリマスカラ、其内容ヲ概數デモ宜シウゴザイマスカラ御發表ヲ願ヒタイトデアリマス

○荷見政府委員 其生産費調査ノ内容ノ問題デゴザイマスガ、ソレハ公表セヌコトニナッテ居リマスノデ、一昨日ノ御要求ガアリマシタ際ニ、米穀生産費調査ヲシテ居ル一二農家ノ事例ヲ出シテ見タ方宜カラウ、出シテ見ヨト云フ御話ガアリマシテ、ソレナラバ其調査府縣デアルトカ、調査農家デアルトカ云フヤウナモノヲ現サズニ、大體費目別ノモノヲ御覽ニ入レタラ宜カラウカト思ヒマシテ、ソレモ大體只今取ッテ居リマスル米穀生産費ノ二十圓八十六錢ト云フノニ近イ石當リ生産費ヲ出シテ居リマスル農家ニ、費目別ノモノヲ、自作、小作ニ付テ御手許へ差上ゲテ見タノデアリマス、勿論各項目ノ割合ハ、石當リ生産費總額ノ類

似シタ農家デモ、ソレハ異動ノゴザイマスコトハ、此備考ニモ書イテ置イタ通りデアリマスカラ、内容ノ割合ガ同ジト云フノデハアリマセヌケレドモ、大體二十圓八十六錢、八十七錢ト云フヤウナ程度ノ農家デアリマスレバ、其費目別ハドウ云フ風ニナッテ居リマスカト云フコトヲ、只今御手許ニ差上ゲマシタ米穀生産費調査ノ事例昭和七年ト云フノデ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村松委員 内容ノ詳細ナル御發表ハ是ハ不可能ナル事情ニアル、是ハ私諒承致シマシタ、唯私ノ疑問ニ思ヒマスルノハ、調査ノ結果ニ現ハレテ居リマスル地方的ノ相違ト云フモノガ非常ニ大キイモノデハナカラウカト想像致シマス、又個人的ノ結果ニ基キマシテモ、或ル者ハ僅ニ十圓内外ノモノデ生産費ヲ償フコトガ出來ルモノガアルカト思ヘバ、或ル者ハ五十幾圓ノ多額ノ生産費ヲ必要トシテ居ル、而モ是ハ政府ガ中庸ナモノト認メマシテ調査シタル其者ノ中ニ於テサヘモ斯様ナ大キナル隔リガアルノデハナイカト云フコトヲ疑問ニ思フ次第デアリマス、若シ全國地方的ニ非常ナル差異ヲ持チ、個人的ニ非常ナル差異ヲ持ッテ居ルモノデアルト致シマスルナラバ、其總和ヲ平均シタリト云フ所謂加除的ノ算術平

均ヲ採リマシタノデハ、一體ソレガ經濟的ニ何ヲ意味スルカ、洵ニ疑問ニ思ハザルヲ得ナイノデアリマス、生産費ノ算術的ニ平均セラレマシタル點ニ當ルモノハ、先ヅソレデ宜イト致シマシテ、其上下ニアリマスルモノガ地方的ニ、個人的ニ非常ナル差異ヲ持ッテ居ルト致シマスルナラバ、私共ハ唯ソレハ總和ノ平均ヲ意味スルノダ、經濟的ノ意味ヲ全然含シデ居ラナイモノデハナカラウカト云フコトニ非常ナル疑ヲ有スル次第デアリマス、サウ申上ゲマスルノハ何故デアルカト言ヘバ、一ツノ調査ノ結果ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスルガ、是ハ昨年ノ經濟論叢ノ論文ノ中ニ記載セラレテ居ル條項デゴザイマスルガ、生産費ノ算術平均ハ二十四圓十二錢デアルガ、今若シ米價ガ是ト同一ノ高サヲ保ツモノトスルナラバ、全生産者ノ五四%九ニ相當スル農家ノ生産費ヲ償フデアラウ、若シ米價ガ二十一圓九十二錢ニ等シケレバ、生産者總數ノ三八・二%ニ相當スル農家ノ生産費ヲ償フモノデアルトノ統計ノ結果ガ發表セラレテ居リマス、即チ二十四圓何ガシノ算術的ノ平均ノ結果ガ現ハレマスレバ、ソコニハ生産費ヲ償フコトノ出來ナイモノガ半數存在シテ居ルノデアリマス、二十一圓何ガシノ算術平均ノ

モノデアルト致シマスルナラバ、ソコニハ六割以上ノモノガ生産費ヲ償フコトガ出來ナイ結果ニナッテ居ル、斯様ナコトガ發表セラレテ居ルノデアリマス、隨ッテ私ガ茲ニ疑ヲ有シマスルノハ、斯様ニ生産費ヲ其中浦ヲ採ッテ參リマシタ所デ、單ニ中庸ヲ採ッタト云フダケデアリ、生産費ヲ償ヒ得ルモノガ半數ニ及バザルガ如キコトニ相成リマシタナラバ、是ハ決シテ斯様ナル算術平均ト云フモノハ農家保護ノ爲メデハナイノデハナカラウカ、斯様ナ點ニ疑ヲ有スル次第デアリマス、御所見ヲ伺ヒタイトデアリマス

○荷見政府委員 只今ノ御話ノ生産費ノ調査農家ニ依ッテ非常ニ石當リ生産費ガ違フノデハナイカト云フノハ御話ノ通りデアリマス、ソレカラソレヲ平均致シタモノデハ平均生産費以下ノモノハ宜シイガ、ソレヨリ上ノモノハ引合ハヌト云フコトニナルノハ、申上ゲルマデモナク、御説ノ通りト私モ考ヘテ居リマス、唯今回公定價格ノ決定ニ利用スル生産費ト云フモノハ、最低價格ヲ保障スルノデアリマシテ、ソレヨリハ絶對ニ下ゲナイヤウニ努メタイト云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマスカラ、決シテソレガ全部ガ米ノ價格ニナルト云フ譯デハアリマセヌノデ、最低デモソコ迄ト云フノデア

リマス、ソレ以上ノ場合ガ普通ニ行ハレル譯デアリマスカラ、ソコデ幾分カ緩和サレテ行クモノデハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ單ニ各府縣ニ平等ノ調査農家ヲ割當テマシタノデハ、御話ノ通り、如何ニモ算術平均デ、當ラヌヤウニナルト思ヒマスガ、

大體米價ヲ支配致シマスル米ハ、主要米產地ノ米、而シテ大市場ニ多ク賣却サレマスル米ガ價格ヲ支配スル有力ナ原因トナルノデアリマスカラ、私共ハ調査農家ヲ採リマ

ス際ニモ、例ヘバ米ノ生産額八萬石ニ付テ一戸ヲ採リ、管外移出數量四萬石ニ付テ一戸ヲ採ルト云フ風ニ、主ナル米產地、而シテ主ナル移出縣ニハ、多分ノ農家調査ヲ振當

テ、然ラザル所ニハ調査農家ノ割當ヲ少クスルト云フ風ニシマシテ、自ラ米ノ取引關係ト云フコトニ重點ヲ置カレル米ノ生産費

ノ平均ヲ採ルコトニ努メテ居ル次第デアリマス、尙ホ其他適當ナ方法ガアレバ、モット改善サレタ調査農家ノ選擇方法モアラウカ

ト思フノデアリマスケレドモ、吾々ガ研究致シマシタ程度デハ、只今申上ゲマシタ程度ノ調査農家ノ振當ヲ致シマシテ、ソレデ

出マシタモノヲ、又例外ト認メルヤウナモノヲ除イテ計算スルト云フコトガ、最モ

適當ナ方法ト考ヘテ居ルノデアリマス、尙

ホ此新年度カラハ、調査農家ハ、是マデ千三十戸位デアッタノヲ、二千戸バカリニ殖ヤシテ、一層適切ニヤリタイト云フ積リデ、調査ヲ進メタイト思フデ居リマス、其事ヲ御諒承願ヒタイ

○東委員長 村松君、成ベク簡單ニ、生産費關聯事項ニ限ッテ許シマスカラ……

○村松委員 私ノ言ヒマシタノハ斯ウ云フ意味デアリマス、中庸ナル生産費、而モソ

レガ算術平均ヲ採ッタノデハ、結局全農生産者ノ半數ノミガ漸ク生産費ヲ償フノダ、

此事實ヲ如何ニ御考ニナルノデアルカ、此點ヲ御尋致シタノデアリマス、只今ノ御答

辯ニ依リマスレバ、勿論私ヲシテ満足セシメタモノデハナイノデアリマスルガ、ソレ

ハ後日ニ讓ルト致シマシテ、政府當局ノ御考ニ依リマスレバ、運賃其他ノ値開キ等ニ

關シマシテモ、之ヲ生産費ニ入レヨウト云フ御意思ハナイヤウニ思ヒマス、ドウモ左

様ニ考ヘラレマス、私ノ言ヒタイノハ、斯様ナ生産費ニ依ッテ最低價格ヲ維持スル、ソ

レハ宜シイノデアリマスガ、ソレデハ半數ノミシカ生産費ヲ償フコトガ出來ナイノデ

アルカラ、之ヲドウシタラ宜カラウカ、此點ニ重點ヲ置キタイト思フノデアリマス、ソコデ此事情ニ鑑ミマシテモウ少シ最低價

格ノ公定ニ關シマシテ、生産費ノ上値幾ラト云フヤウナ點デ御決定ニナル御意思ヲ有ッテ居ルカドウカ、之ヲ詳シク申上ゲマ

スルト長クナルノデアリマスルガ、大體ニ於キマシテ政府ノ調査セラレマシタル中庸

生産費ノ中、更ニ調査委員會等ニ於キマシテ事情例外ト認メザルモノトシテ、生産費

決定ノ基礎ヲ成シマシタ所ノ其生産費、サウ云フヤウナ適當ナモノヲ採リマシテ、ソ

レト中庸生産費トノ中頃ニ於テ、適當ナル率ヲ以テ最低生産費ト云フモノヲ上昇セシ

メル事ガ適當デハナイカト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマスルガ、御所見ヲ承リタイノデアリマス

○荷見政府委員 私モドウモ同ジヤウナ事ヲ繰返シテ申上ゲルコトハ甚ダ恐縮ニ考ヘ

マスガ、大體最低價格ヲ決メマスルノハ、ソレ以上ハ國家ノ力ヲ以テ低落セシメナイ

點ヲ定メヨウト云フノデアリマスカラ、ドウモ平均生産費ヨリ以上ニ高イモノガ、ソ

レ迄ノ程度ニ止マルト云フコトハ已ムヲ得ナイノデハナイカト思ヒマス、ソレヲ上ゲ

ルコトニ致シマス、何處マデ上ゲマスカ、一寸其限界ニ困ルヤウニ考ヘマス

○村松委員 從來生産費ヲ決定致シマスノニ、委員會ヲ御開キニナッテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、今後モ其委員會ヲ設置サレ

マシテ、生産費決定ノ爲ニ其委員會ヲシテ活動セシムルヤウナ御計畫ハ御アリカドウ

カ、即チ生産費トシテドノ程度ニ標準ヲ求ムベキカト云フコトハ、結局地方ノ差異

ナリ、個人的ノ差異ナリガ非常ニ大キイ場合ニ於キマシテハ、第一何ガ例外ニナルモ

ノデアルカノ決定モ、非常ニムヅカシイ問題デアルト謂ハナケレバナラス、又何ガ適

當デアリ、其適當ナルモノ、中如何ナル點ニ之ヲ求ムベキカ、左様ナ事ニ關シマシテ

ハ、物價其他ノ經濟事情ト云フコトモ關聯ハ致シマスモノ、何分ニモ多數ノ生産條

件ヲ異ニ致シテ居リマスル其生産費ガ全國カラ現ハレテ參ルノデアリマスカラ、ソコ

ニハ自由裁量ノ餘地ト云フモノガ非常ニ多カラウト思フ、單ニ當局ニノミ之ヲ御一任

スルト云フダケデハ、果シテドシナモノデアラウカ、矢張從來ノ如クニ各方面ノ權威

者ヲ御集メニナッテ、生産費ヲ決定スルト云フコトガ必要ニナッテ居ルノデハナイカト

思ヒマスルガ、左様ナ委員會設置ノ御意嚮アリヤ否ヤ、御同致シタイ

○松村政府委員 村松サンニ御答致シマス

ガ、是ハ別ニ其爲メノ委員會ト云フモノハ

從來モ設ケラレテ居ルノデハアリマセヌ、

唯米穀委員會ガアリマスノデ、ソレニ諮ッテ決定致シテ居ルノデアリマスガ、恐ラクハ將來モ矢張サウ云フコトニ相成ルコトダト思ヒマス

○村松委員 ソレカラ最後ニ生産費ニ關シマシテ、一點ダケ御尋ヲ致シタイ、先程三善君カラ御尋ガアリマシテ、私洵ニ同感ニ考ヘテ居ル者デアリマスルガ、戸數割、其他ノ問題ニ關シマシテハ政府ニ於テモ相當ノ考慮ヲ御拂ヒニナルコトヲ御約束ニナタト信ジマス、隨テソレ等ノ點ニ關シマシテハ、茲ニ申述ベナイ積リデアリマシテ、唯勞賃ニ關スル部分ニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、施行規則ノ第十條ニハ、自家勞働、其他ノ勞働ハ、當該地方ノ通常ノ日雇勞賃ニ依リ之ヲ算定ストナッテ居ル、而シテ當局ニ於カレマシテハ、三善君ノ質問ニ對スル御答辯トシテ、日雇勞賃ニ依ッテ算定スルヨリ外ニ方法ガナイヤウデアルト御答ニナッテ居ラレマス、或ハ實情ヨリ致シマシテ已ムヲ得ナイカモ知レヌノデアリマス、併ナガラソコニ一ツ考慮ヲ要スルト思ヒマスルコトハ、元來日雇勞働者ト云フモノハ、其地方ニ於テハ最低ノ生活ヲ爲シテ居ル人多イノデアリマス、殆ド大部分ヲ占メテ居ルト云ッテモ宜シイと思フ、即チ勞

賃ガ日雇勞働者ノ通常ノ勞賃ニ依ッテ決定セラレルモノデアルト致シマスレバ、是等地方ニ最低ノ生活ヲ行ッテ居リマスル人ノ勞賃其モノヲ生産費ノ中ニ織込マシメントシテ居ルノダ、斯ウ云フ結果ニナルノデハナイカト思ヒマス、殊ニ今日ノ如クニ農業經營ノ非常ニ不引合ノ状態ノ下ニ於キマシテハ、勞賃ハ益、下ル一方デアアル、下ル一方ノ勞賃デアリマシテ、最近ナドニ於キマシテハ實ニ酷イ勞賃ノ状態ガ現レテ居リマス、斯様ナ勞賃、日雇勞働者ノ勞賃、此勞賃ヲ基準トシマシテ、中庸ナル生産ヲ行フ人達ノ自家勞働、之ヲ維持セシメントスルコトニハドウモ足りナイヤウナ感じガ致スノデアリマス、理想ヲ申シマスレバ、自家勞働ヲ維持スル爲ニハ、ドウスルカト言ヒマスレバ、其勞働ヲ爲シマスル人ガドウシテ食ベルコトガ出來ルカ、如何程必要トスルカ、所謂生計費ノ問題ガ中心ヲ成サナケレバナラスト云フコトハ申上ゲルコトデモナイト思フ、生計費ガ中心デアリマス、然ラバ其生計費ト云フモノハ何ニ依ッテ決定サレルノデアアルカ、申上ゲルマデモナク、農家ノ生計費ト云フモノハ自己ノ勞働ノ結果作リ出シマシタ所ノ現物、生産物、其外ニ市場ヨリ買入レマスル所ノ品物、此二ツニ

依ッテ維持セラレナケレバナラスノデアリマスルガ、後ノ部分ノ市場ヨリ買入レマスル所ノ品物ト云フモノハ、大體ドンナ傾向ニナッテ居ルカト申シマスレバ、私本會議ニ於テモ、其點ニ簡單ニ觸レテ居ッテ積リデアリマスルガ、今日マデノ經濟統計ヲ見マスレバ、販賣致シマスル所ノ農產物價ト、購入致シマスル所ノ農村必需品、其間ニハ缺狀ノ價格差ヲ維持致シテ居リマス、常ニ賣ル物ハ安イ、常ニ買フ物ハ高イ、此狀態ガ明瞭ニ現レテ居ルノデアリマス、此狀態ガ現レテ居リマス以上ハ、生計費ニ對シマシテモ直接ニ反映シテ行クノデアアル、此農產物價ト農村必需品トノ價格ノ差ト云フモノガ、正比例的ニ生計費ノ中ニ現レテ參リマスルコトハ論ナキ所デアルト思ヒマス、而シテ人ニ依リマシテハ、今日ノ農村ノ不景氣ノ原因、根本的原因ト云フモノガ、此價格差ニアルノデアルトサヘモ極言ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ私ガ茲ニ御同致シタイト思ヒマスルノハ、直ニ生計費ノ調査ガ出來上ッテ居リマセヌノニ、ソレニ依リト申シマスノハ無理ダト思ヒマススケレドモ、將來ニ於テ日雇勞働者ノ勞賃ヲ測定スルヨリモ、農家ノ生計費、即チ缺狀ノ價格差ヲ表示致シテ居リマスル所ノ是等ノ事

情ヲ參酌シタル生計費ヲ標準トスルト云フコトガ最も合理的デアアルマイカ、斯様ニ考ヘル次第デアリマスルノデ、勞賃ニ對シマスル生計費、是ノ關係ニ付テノ當局ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 此勞賃ノ問題ニ付キマシテハ色々考ガゴザイマス、大體一年中ヲ通ジテ失職ト云フコトノ無イ問題ナノデアリマスカラ、年雇勞賃ニ依ッテ見タラ宜イノデハナイカト云フ考ガ一ツ、ソレカラ米作ト致シマシテハ季節的ニ非常ニ忙シイ問題デアリマスカラ、季節雇ノ勞賃ニ依ッテヤッテ見タラドウカト云フ考、ソレカラ只今御述ベニナリマシタヤウナ農家ノ經濟ヲ調査致シマシテ、農家經濟ヲ維持シテ行クノニハ、米作ニドレ位ノ勞賃ヲ拂ッたらバ宜イカト云フヤウナ問題ガアルノデアリマスガ、年雇勞賃ト云フモノハ段々御承知ノ通りニ地方デ減ッテ參リマスシ、ソレヲ標準ト致シマシタノデハ自家勞力、只今御話ガアリマシタヤウナ最も農家ノ力ヲ注イデ參リマス稻作ニ對スル勞賃ノ計算方法トシテハ年雇勞賃ハ宜シクナイ、季節雇ノ勞賃モ是モ日雇勞賃ニ比ベマスト幾分低メニナルヤウニ考ヘラレマスノデ、ソレモ宜シクナイ、ソレカラ農家經濟ヲ調査致シマシテ、

家計ヲ維持スル爲ニハドレダケノ勞賃ガ計

算サレ、便宜イカト云フコトハ結構ナ事デ

アリマスガ、其調査ガ中々只今御話ニモア

リマシタヤウニ急ニハ參ラナイ、ソレデ只

今デハ日雇勞賃ト云フモノニ依ル外適當ナ

方法ガナイダラウ、是ハモウズット前々カ

ラノ調査會ノ度毎ニ論議サレル問題デアリ

マシテ、米價調節調査會ナドガ最モ昔ニ出

來マシタ時ニハ此自家勞力ト云フモノハ現

金ノ支出ヲ伴ハナイ勞力デアルト云フコト

ガ一ツ、ソレカラ失業スルト云フコトガ無

イノデ最モ安全ナ勞力デアリ、又自家ノ業

務ニ從事スルノデアルカラ最モ愉快ナ勞力

デアルト云フヤウナ爲メカラ、日雇勞賃カ

ラ一割ヲ減ジタモノニシタラ宜カラウト云

フヤウナ決メテ御決議ニナツタコトモゴザ

イマス、サウデアリマススケレドモ、私共ハ

只今申上ゲマシタヤウナ理由デ、何ヲ標準

ニ採ルカト云フコトヲ色々研究致シタノデ

アリマスガ、先程モ三善サンカラ御話モア

リマシタガ、實際只今デハ日雇勞賃ニ依ル

外自家勞力ヲ換算致シマスノニ適當ナ方法

ガ無イヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、

併シ御話ノコトハ最モ合理的ニ唱ヘラレタ

説ナノデアリマスカラ、十分研究シナケレ

バイカント思ッテ居リマスガ、今俄ニハ御話

ノ通りニハ困難ダト思ヒマス

○八田委員 私ハ生産費ニ關聯シマシテ、

マダ幾分御聽シナケレバナラヌコトモアリ

マスガ、他ノ委員諸君カラ質問サレル時ニ、

又其題目ニ依ッテ御問致シマシテ、生産費ニ

關スル質問ハ是デ打切りマスガ、此間河野

委員カラ勅令ノ内容ヲ示シテ貰ヒタイト云

フ政府ノ方ニ請求ガアッタノデアリマス、是

ガ一番吾々ノ知ラント欲スル點デアリマ

ス、是ハ御出シ下サルコトガ出來ヌデセウ

カ、ドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ

○荷見政府委員 河野委員カラ御話ガアリ

マシタノデスガ、私共ノ方デハ、生産費ノ

内容トカ、其他色々ナ點ニ付テ慎重ニ研究

シテ見タイト云フノデ、マダ成案ヲ御覽ニ

入レル迄ニナツテ居リマセヌ、成タケ早ク

大綱ダケデモ相談致シタイト思ッテ居ルノ

デアリマスガ、今日御目ニ懸ケル迄ニナツ

テ居リマセヌ

○宮崎委員 只今ノ村松サンノ御質問ニ關

聯シテ——此政府ノ御提出ニナリマシタ米

穀生産費調査ノ事例ト云フモノハ、自作農

家竝ニ小作農家ノ費目ガ種籾代、勞賃、畜

力費、肥料代、農舍費、農具費、諸材料費、

租税其他ノ公課、土地資本利子、斯ウナツテ

居リマスガ、其中ノ勞賃ト云フ所ニ、一石

ニ付テ七圓二十八錢トナツテ居リマスガ、是

ハ一石ノ生産ニ要スル費用ヲ何日トシテノ

御計算デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 ソレハ只今材料ヲ持合シ

テ居リマセヌカラ、何レ後デ調べテ申上ゲ

マス

○宮崎委員 是ハ後デ日數ヲ伺ッテモ宜シ

ウゴザイマスガ、先程ノ政府委員ノ御答辯

デハ、農家ノ穫レル米ハ二石幾ラトカ仰シ

ヤッタヤウデアリマスガ、ソレヲ一寸伺ヒ

マス

○荷見政府委員 是ハ私ガ申上ゲマシタノ

ハ、自作農家ニ付テ農林省デ取りマシタ全

部ノ平均ヲ申上ゲノデアリマシテ、是ハ一

例ヲ申上ゲタノデアリマス、其間ニ差ガア

リマス、段當リハ二石四斗七合ニナツテ居

リマス

○東委員長 ソレデハ大體午後ニハ農林大

臣ガ出席スルデアラウト思ヒマスカラ、繼

續シテヤリタイト思ヒマスガ、ドウデセウ、

兎ニ角午後一時半カラ繼續シテヤリタイト

思ヒマス

「異議ナシト呼フ者アリ」

○東委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス

午後零時二分休憩

午後一時四十分開議

○東委員長 ソレデハ開會致シマス、大臣

ハ貴族院デ二三十分説明ヲシナケレバナラ

ヌノデ、遅レルサウデアリマスカラ、矢張

政府委員デ米穀部長ガ出席シテ居リマスカ

ラ、大臣ニ對スル質問デナイ御方ハ適當ニ

質疑ヲスルヤウニ御願シマス

○河野委員 委員長

○東委員長 何デスカ——生産費ニ關聯シ

タ事項ダケヲ午前中ハ許シテ居ッタノデス

ガ……

○河野委員 本員ハ今戴キマシタ政府ノ參

考資料ノ説明ヲ願ヒタイノデス——只今戴

キマシタ租税ノ公租負擔比較表、之ニ付テ

先ヅ第一ニ御説明ヲ願ヒタイ、是ハ帝國農

會調査トシテアリマスガ、此調査ハ政府ハ

吾々ニ配付爲サル責任ヲ御有チニナルノデ

スカ

○荷見政府委員 前回ニ御要求ガアリマシ

タ租税公課負擔比較ノ問題ニ付テ調べテ見

タノデアリマスガ、農務局ノ方ニハ只今其

調査ガゴザイマセヌノデ、何カ御參考ニナ

ルモノデアレバト云フノデ、帝國農會デ調

査シタモノガアルカラ、ソレデ帝國農會調

査ハ斯ウ云フ風ニナツテ居ルト云フノ御

覽ニ入レタノデアリマシテ、是ハ農務局デ

責任ガ有テナイモノデアラウト思ヒマス、
是ハ農會ノ調査ハ斯ウナッテ居ルト云フコ
トヲ中上ゲタノデアリマス

○河野委員 私ガ要求シマシテ、戴キタイ
ト思ッテ居ッタノハ、大藏省ニ此調査ガアル
ノデアリマス、大藏省ガ之ヲ一般ニハ秘密
ニシテ居ルノデアリマシテ、此調査ノ中ニ
モ書イデアリマス通り、大藏省ノ調査シタ
コトヲ帝國農會ガ出シテ居ルノデアリマ
ス、デアリマスカラ農林省カラ大藏省ノ方ニ
交渉シマシテ、此調査ニ間違ガアルカドウ
カト云フコトヲ一寸念ヲ押シテ貰ヘバ、ソ
レデ差支ナイト思フノデアリマスガ、其手
續ヲ農林省ハ執ッテ戴キタイト思フノデア
リマス、若シ是違ッテ居ルナラ、大藏省ノ
方カラ更ニ農林省ガ調べタモノヲ吾々ニ配
付願ヒタイノデアリマス、ソレカラ次ニ需
給推算ノ調査デアリマスガ、是ハ昭和二年
ニ調べタ、恐ラク是ハ田中内閣ノ人口食糧
調査會ノ時ニ作ッタモノト思フノデアリマ
スガ、其後非常ニ經濟事情モ違ッテ居リマ
ス、其後ノ情勢モ此表ヲ見マシテモ直グ分
ルヤウニ、色々米ノ生産高ニ付テモ情勢ガ
變ッテ來テ居ル事實ガ直接現レテ來テ居ル
モノガアルヤウニ思ヒマス、政府ハ今回ノ根
本對策ト見ルベキ統制案ヲ御作りニナルノ

ニ、此數字ヲ基礎ニシテ御作りニナッタカド
ウカト云フコトヲ御話願ヒタイ

○荷見政府委員 其數字ハ今御話ノ通りニ
昭和二年ニ人口食糧調査會ノ時ニ出シマシ
タノデ、其前ハ大正八年ノ開墾助成法ヲ作
リマス時ニ作ッタノガ三十年計畫デアリマ
シタガ、昭和二年ニ至リマシテ非常ニ狀況
ガ變ッテ來マシタノデ、モウ一回計算ノ仕直
シヲシタノデアリマス、ソレデ御話ノヤウ
ニ内容ハ其後ノ實情ニ依ッテ餘程變化シテ
參ッテ居リマス、其モノモ一應ハ見マシタケ
レドモ、其他ニ特別ニ計算ヲシタノデアリ
マスガ、ソレヲ御目ニ懸ケテモ亦數年經ツ内
ニハ今ノ昭和二年ノ推定ノヤウニ非常ニ變
リガ出易イモノデアリマスノデ、一寸確實
ノモノダト言ッテ御目ニ懸ケル程ノ材料モ
アリマセヌノデ、既ニ出デ居リマス過去ノ
表ハ斯ウ云フ風ニナッテ居リマス云フコ
トヲ、御覽ヲ戴カウト思ッテ出シタノデアリ
マス

○河野委員 昭和二年ノ今戴イタモノハ既
ニ吾々ハ持ッテ居ルノデアリマス、所ガ今回
ノ法律案ヲ審議スルニ當ッテハ、政府ハドウ
云フ數字ヲ基礎ニシテ御作りニナッタカト
云フコトヲ吾々ハ欲シイノデ、斯ウ云フ過
去ノ、今見レバ内容モ現實ニ違ッテ現レテ居

ルト云フモノハ何モ參考ニナラス、唯今度
ノモノヲ作ルノニ政府ハ何ヲ參考ニシタカ
知ラスケレドモ、吾々ノ要求スルノハ今回
ノ數字ハドウ云フ風ナモノヲ基礎ニシタ
カ、將來ニ違ッテ來ルト云フコトハ當然デア
ラウト思ヒマスカラ、今回參考ニ爲スタ數
字ヲ戴キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 能ク相談ヲ致シマシテ：

○宮崎委員 午前ニ御尋シテ御配付ニナリ
マシタ米穀生産費調査ノ事例、其中ノ勞銀
ノ七圓二十八錢ト云フノハ勞働日數何日ト
云フコトカラ起算サレタカ御分リニナリマ
スカ

○荷見政府委員 中上ゲマスレバ、自作農
ノ方ノ勞働日數ハ男ガ十日九分五厘、女ガ
一日七分一厘、合計ガ十二日六分六厘ニナ
テ居リマス、小作農家ノ方ハ男ガ四日一分
二厘、女ノ方ハ四日三分四厘、合計ガ八日
四分六厘ト云フコトニナッテ居リマス、ソレ
カラ一人一日當リハ男ガ五十九錢、女ガ四
十八錢、是ハ自作農家ノ方デアリマス、ソ
レカラ小作農家ノ方ハ男ガ九十八錢、女ガ
八十四錢、斯ウナッテ居リマス

○河野委員 イマ一ツ御尋致シタイノハ今
ノ米ノ生産費ノ調査ノ問題デアリマスガ、

是モ私ガ戴キタイト思フノハ、政府ガ昨年
度、一昨年度生産調査ヲ全國ニヤリマシタ、
其數字ヲ戴キタイノデアリマス、ソレヲ細
カク全部千幾ラニモ分ケテハ煩雜デセウカ
ラ、各府縣ノ平均デ宜イ、何縣ハ何戸調べテ、
其平均ノ生産費ハ幾ラデアルト云フモノデ
モ結構デアリマス、少クモ去年ト、一昨年
ト政府ガ實施シタ生産調査ノ實際ノ數字ガド
ウナッテ居ルカト云フモノヲ戴キタイト思
ヒマス

○荷見政府委員 生産費ノ調査ハ家計費ト
同ジヤウニ、個人ノ計算ニ依リマスカラ非
常ニ密切ナ關係ガゴザイマスノデ、調査農
家ノ少イ所ナドハソレヲ出シマス、ハハ
アアソコハ幾ラ位ニ計算シタナト云フコト
ガ分リマシテ、其農家ガ迷惑シテモイカヌ
ト云フ考デ、成タケサウ云フモノヲ發表セ
ヌカラ、思フヤウニ書イデ呉レト云フコト
ニナッテ居リマス、ソレカラ家計費ノ方ハ規
則デ絕對秘密ト云フコトニナッテ居リマス
ノデ、一寸府縣ノ平均ノ例ヲ差上ゲルノハ
困ルト思ヒマス

○河野委員 今ノ御話ハ個人ノモノヲ御出
シニナリ、何ノ某ノ生産費ガ幾ラト云フコ
トニナルト、何ノ某ノ迷惑ニナルト云フコ
トハ諒ト致シマスガ、例ヘバ神奈川縣ナラ

神奈川縣ノ生産費ガ幾ラニナルカ、埼玉縣ナラ埼玉縣ノ大體何戸數ヲ調べ、其平均生産費ガ幾ラニナルカト云フモノヲ御出シニナッテモ一向差支ナイト思フ、殊ニ吾々ハ米ノ政策ヲ樹テルノハ家計費ノ方ハ大シテ問題ニシナイ、吾々ハ米ハ幾ラデモ高イ程宜イト思フ、居ルノダカラ、下値ニ付テ生産費ノ問題ダケヲ議論シタイ、生産費ヲ決定スルニ付テハ出來ルダケノ資料ヲ戴イテ、出來ルダケノ論議ヲ盡シタイト思フ、居ルカラ是非枉ガテ御提出ヲ願ヒタイ

○小池委員 私モ此生産費ノ調査ノ事例デスガ、之ニ付テ御尋シテ見タイ、此處ニハ一石當リノ生産費ガ出テ居リマスガ、先ヅ自作農ト云テモ、小作農ト云テモ、假ニ自作農家ニシマシテ十石生産シタトシテ、其半分ハ自家用ニ使フ、半分ハ賣出スノダ、斯ウ云フ時ニ自家用ノ肥料代、自家用ノ畜力費、勞賃ハ自分ノ身體デヤッテ居ルカラ宜シトシマシテモ、或ハ租税其他ノ公課ガアル、サウスルト自家用ニ對スル租税公課、若クハ肥料代、マア他ノ物ハ宜シトシテモ、自家用ニ屬スル分ヲ、租税ハ此儘デ行ケバ九圓、肥料代ハ自家用カラ見テ行クト十二圓五十錢、ソレハ何處カラ出ルノデアルカ、生産者ハ其自家用米ニ使ッテ肥料代、租税其

他ノ公課ト云フモノハ何處カラ出ルト農林當局ハ仰シヤルノデアルカ、マサカ三度ノ飯ヲ二度ニシテ、其公課金ヤ肥料代ヲ生ミ出セト云フノデモアリマスマイ、矢張生産者ニサウシタ所ヲ考慮シテヤラスケレバナラスデヤナイカ、此點ヲドウ云フコトニ御調ニナツタカ、御覽ニナッテ居リマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○荷見政府委員 其點ハ此肥料代トシテゴザイマスケレドモ、詰リ購入肥料ハ購入致シマシタ代價デ計算ヲ致シマシ、ソレカラ購入シナイデ自分ガ生産致シマシタ、所謂自給肥料ニ付キマシテハ、是ハ肥料ノ成分ヲ調べマシタモノヲ出シマシテ、ソレヲ時價ニ換算シテヤリマスカ、又同ジヤウナ自給肥料デアリマシテモ、賣買價格ガ其當時ニ立ッテ居リマスケレバ、其賣買價格ヲ算入シテヤリマスカ、ドチラカノ方法ニ依リマシテ自給肥料ト云フモノヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○小池委員 私ハ肥料代ダケヲ申上ゲタノデスガ、種粃代ニシテモ皆同ジ理窟ニナルノデス、今大體カラ言ヘバ米ノ總産額概計六千萬石トシマシテ、其内半數ガ詰リ販賣ニ供セラレ、約半額ガ農家自身ノ飯米ニナッテ居ル、斯ウ云フ譯ニナリマス、サウナッテ來

ルト此處ニ現ハレタ一石當リノ肥料代トシマシテモ、租税トシテモ、或ハ其他ノ種粃代ニシテモ有ユル費用ヲ農家自身ガ何處カラ出シテソレヲ食ベルカ、之ヲ私ハ御尋シタ譯デアリマス、農家ノ自家用ノ飯米ニモ、矢張肥料代モ要レバ、租税モ要ル、ソレヲ生産者ハ自作農デアラウガ、小作農デアラウガ、負擔スルモノハ何處カラ割出スカ、ドウシテモ米ヲ作ル者カラ行ケバ、副收入ヲ以テスル以外ノモノハ、ヤハリ賣出スミカラソレヲ求メナケレバ出ル途ガナイデヤナイカ、之ヲ見テヤラヌト云フコトハ生産費ノ割出ニ非常ナ缺陷ガアルデヤナイカ、之ヲ私ハ御尋スル、ソレヲドウ云フ工合ニ

見テ居ラレカ——マダ御分リニナラナケレバ租税ノ一ツヲ言フト、一石當リノ租税ハ一圓七十九錢デアル、假ニ一軒ノ農家ガ十石生産シタガ、五石ハ自家用飯米デアッテ、外ニ賣出スノデハナイ、其五石ニモ一石一圓七十九錢ノ租税ガ課ッテ居ル、其租税ヲ生産者ハ何處カラ生ミ出スカ、他ニ收入ガアレバ格別デアアルガ、收入ガナイトスルト、ドウシテモ賣出ス米ノ中カラ其公課金ト云フモノハ生ミ出スヨリ外ニ途ガナイノデハナイカ、斯ウ私ハ思フノデアリマスカ、農林當局ハソレニ付テドウ云フ御考ヲ持ッ

テ居ラレカ、之ヲ私ハ御尋スルノデアリマス、是ハ租税ノ一ツニ付テ申シタノデアリマスケレドモ、種粃代、畜力費ニシテモ、肥料代ニシテモ、一切ノ生産物ニ皆ソレダケノ費用ガ掛ッテ居ル、農家ハ茲ニ五千圓トカ三千圓トカ自家ノ資本ガアレバ文句ハナイガ、サウデナイトスルト何處カラ之ヲ生ミ出スカ、之ヲ生ミ出スノハ賣ル米カラ出スヨリ仕方ガナイデハナイカ、サウナッテ來ルト生産費算出ト云フモノハ非常ニ其處ニ相違ガ生ジテ來ル、之ヲ從來ドウ云フ按配ニ御覽ニナッテ居ルカ、又今後ドウ爲サルカ、之ヲ私ハ御尋シテ居ル譯デアリマス、成程此肥料ノ中ニハ自給肥料モアリマセウ、百姓自ラ作ッテ肥料モ出テ居リマセウ、是ハ百姓ノ手ニ若干戻ルデアラウガ、金肥ハドウシテモ賣出ス米デ其代金ヲ生ンデ貰ハナケレバ、生産者ハ何處カラ其肥料代ヲ作り出スカ、サウスルト三杯食ベルモノヲ二杯ニスルカ、二杯半ニスルカニシナケレバ生レテ來ル所ハナイデハナイカ、是ハ私ハ少クトモ肥料代ト租税ノ公課金ダケハ百姓ガ自分ノ食フ米カラ生ミ出スコトハ出來ナイカラ、賣出ス米ニ負擔サスベキモノデハナイカト考ヘテ居ル、ソレデ質問シテ居ルノデアリマス

○荷見政府委員 御質問ノコトデアリマス

ガ、結局御話ノ通りニ農家ノ生活費ト云フモノハ何カラ得ルカト云フト、中小農家ニ於テハ御話ノ通りニ自分ガ生産シタ農産物ノ収入——其他ノ収入ガアレバ別デスガ、主ニ此収入カラ生活費ハ取ラナケレバイカスト思フゾデアリマス、ソレデアリマスカラ御質問ノヤウナ場合、米ヲ主要作物トシテ居ル農家ハ自分ノ消費シテシマフ米ノ負擔ハ何カラ取ルカト云フ御話デアリマスト、ソレハ販賣スル米カラ取ルト云フコトニ當然ナルト思ヒマス、併シソレヲ生産費ニ加算スルト云フコトハ非常ニ困難ナヤウニ思ヒマス

○小池委員 只今ノ御説明ノヤウニ生産費

ニ加算スルコトハ如何ニモ困難デス、困難デアリマスガ、農家ガ他ニ何等カノ収入ガアレバ——或ハ副業的ニ養蠶ヲヤッデ居ルトカ、或ハ蔬菜類ヲ販賣シテ別ナ収入ガアルト云フヤウナコトデアレバ、是ハ収入ノ途モアリマセウケレドモ、米バカリヲ作ッテ居リ、他ノ生産物ハ、僅ニ自分ノ家ニ使フ自家用ノ副食物ニ過ギナイヤウナ米産地ニナリマス、全ク米以外ニハ収入ガ無イト言ハナケレバナラス、然ルニ只今ノ御話ノヤウデアルト、生産費ニ加ヘルノガ困難デ

アル、ソレナラバ其農家ハ米ハ食ッテシマフ、其自分ノ食ベル米ニ付テハ租税ガ課カル、肥料ガ掛ルガ、ソレヲ何處カラ持ッテ來ル、持ッテ來ル途ガナケレバナラス、ソレヲ作ッテヤルト云フノガ米穀統制法ノ主眼デナケレバナラス、ソレヲ抜キニシテハ、米穀法ハ無用ナモノデス、私ハ法律ノコトヲ一向存ジマセヌケレドモ、羅馬法ノ基礎ヲ成シタト云フ「モーゼ」ノ律法ノ中ニ、穀物ヲ粉ス牛ニ口籠ヲ掛ケベカラズ、穀物ヲ粉シテ居ル牛ニハ口籠ヲ掛ケルナ、牛自體ガ喰フ物ハ無償デ喰ハセロ、矢張生産者ニ對シテハ斯ウシタ法律デ保護シテ行ク所ガナケレバ、米ノ生産者ハ立行カヌノデアル、農村ノ疲弊困憊ハ、其處ニ原因ガアルト思フ、隨テ此生産費ノ算出ニハ、モウ一段ノ御考慮ヲ願ハナケレバ、米穀法ガ米穀統制法案ニナッテモ、或ハ專賣法ニナッテモ、生産者ハ活キル途ガナイノデアリマス、隨テ此生産費ニハ、少クトモ租税ノコト、自家用ノ肥料ヲドウシテヤルカト云フコトヲ、此米穀統制案ニ加ヘナケレバ、法律アッテ寧ロ生産者ヲ束縛シテ、惱マスダケノモノデハナイカ、斯様ニ實ハ考ヘテ、只今ノ質問ヲ致シタノデアリマス、明確ナル御答辯ヲ得マセヌガ、私ノ趣意ハ大體ニ御分リ

下サツタコト、思ヒマスカラ、十分此點ニ御考慮ヲ御願致シマス

○宮崎委員 先程伺ヒマシタ米穀生産費ノ

調査ノ事例ニ付テ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ、之ニ依リマシテ、自作農家ノ場合ヲ見ルト、色々ノモノデ、結局石當リ二十圓八十七錢ト云フノガ生産費ニナリマス、サウシテ此法律ノ規定ニ依ルト、是ガ米穀生産費ト云フコトニナリマスカラ、是ガ最低價格トナリ得ルノデアリマス、左様ニ考ヘテ、其最低價格ハ何處デ決メルカト云フト、多分精米市場ニ於テノ最低價格ガ二十圓八十七錢ト決マツタノデアリマセウカラ、實際農家ノ庭先デハソレカラ二圓幾ラノ單位ガ安クナッテ居ル、サウスルト米穀ノ生産費ヲ以テ最低價格ト決定シタト云フコトニナツタ場合ニ於テハ、實際ノ生産費ダケハ農家ハ儲カラナイコトニナル、ソコデ先程カラ運賃ノ問題ガ起ッテ居ルガ、市場ニ出スマデノ運賃ヲ掛ケテ置イテ貰ヒタイト云フコトヲ言フノハ——ソレハ生産費ノ中ニ入ラスデヤナイカト云フケレドモ、若シサウデナイナラバ、生産費ヲ缺クコトニナル、精米市場デ政府ガ買上ゲ爲サル所ノ最低價格ガ二十圓八十七錢デ、實際ノ庭先相場ハ現在デモ二圓モ安イノデスカラ、ソレダケ生産

者ノ農家ハ損ヲスル、理論デ云フナラ生産費ダケデ宜イト云フコトニナリマス、サウ云フコトヲ御考ヘニナリマシテ、其米穀ノ生産費ト云フモノガ最低ノ價格デアルト云フナラバ、ドウシテモ其處ニ庭先相場デ買フ時ノ値段ニシテ戴カナケレバナラス、庭先デ一々買ヘナイト云フナラバ、ドウシテモ運賃ヲ加ヘタモノデナケレバ、生産費ト云フコトニナリマスカラ、其點ハドウナルカト云フコトヲ伺ッテ置キマス、今ノコトヲ分

リ易ク言ヘバ、米穀生産費調査ノ事例ノ自作農家ノ場合ハ二十圓八十七錢トナッデ居リマス、其二十圓八十七錢ガ最低價格トナリ得ルナラ、農家ハソレヨリモ二圓幾ラノ損ヲスルコトニナルガ、其點ハドウカト云フコトデス

○荷見政府委員 御話ノヤウニ、公定價格

ヲ中央ノ數箇所ノ市場デ決メルコトニナリマスルト、其處デ賣リマス者ハ、此生産費デ最低價格ガ決ツタナラバ、運賃諸掛ダケハ低イ收入ヲ得ルト云フコトニナリマス、デアリマスカラ生産費ノ外ニ、サウ云フ運賃諸掛ト云フヤウナモノハ、經濟上何トカ考慮シテ、基本的ニ決メルコトニシタイト云フコトヲ、午前中ノ御質問ニモ御答申上ゲ

タノデアリマスガ、大體、例へば九州ノ宮崎米ガ東京ニ參リマスルト、大阪ニ出マスルトトデハ、運賃ノ諸掛ニ於テモ違フノデアリマス、大阪デ買ヒマス買入價格ト、東京ノ買入價格トハ、幾分ノ違ガナケレバ理論ハ一貫シナイ譯デアリマス、サウ云フモノヲ生産費ノ中ニ打込ミマスニハ、ドチラヲ採ルカ、問題デアリマス、是ハ一例デアリマスガ、又例へば新潟ノ米ヲ東京デ買フノト、新潟ノ市場デ買フノトデハ違ヒマス、其買フ値段ヲ決メマス元ノ價格ハ生産費デアッテ、其生産費ト云フモノニ、サウ云フヤウナ各市場ニ出廻ル、農家ノ庭先カラ市場迄ノ運賃ト云フヤウナモノヲ達觀シマシテ、ドレ位ヲ加ヘタラ宜イカト云フコトヲ研究シマスルニハ、一々ノ生産費ト、庭先相場ヲ加ヘテ生産費トシテ行クノハ困難デアルカラ、生産費ヲ調上ゲテ、其後ノサウ云フヤウナモノヲ幾ラ加ヘルカト云フコトヲ考慮スレバ宜イ譯デアアルマイカ、斯ウ云フヤウニ私共考ヘテ居ッタノデアリマス、尙ホ其點ニ付テハ此前ノ時カラ色々御議論ノアル問題デアリマシテ、研究ヲ續ケテ居ルノデアリマスガ、何カ適當ナル方法ガアリマスレバ、其方ニ據ルコトモ宜イト思ヒマス、吾々ノ考究シタ結果デハ、大體只今申

上ゲマシタヤウナコトニ考ヘテ居リマス
○宮崎委員 只今ノ政府ノ御答辯デハ、結局今ノ狀態ハ、此事例ニ依ルト二十圓八十七錢ニスレバ、實際ハ農家ニ運賃其他ノ費用デ一割近クノ損害ヲ掛ケルト云フコトハ御認メニナルラシイ、其點ハ考慮スルト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトデアリマスレバ、斯ウ云フ問題ハ常ニ起ッテ來ルノデスカラ、此運賃ノコトハ是非共深ク御考ヲ願ッテ置キタイト思フ、是ハ各農家ノ經濟ニ一割近クノ影響ノアル問題デアアルカラ、是非共命令トカ何トカ云フコト以外ニ、法律ノ上ニモ之ヲ現ハス程度ニ御考ヲ願ッテ置キタイ、サウシナケレバ農家ガ安心出來ナイ、本當ニ調上ゲタモノヨリハ、實際ハ一割モ減ッタモノガ最低價格ニナル危險ガ甚ダ多イカラ、此點ハ是非共政府ニ御考慮ヲ願ッテ、是ハハッキリ法律ノ上デモ御決メヲ願ヒタイト思ヒマス
○高橋委員 今宮崎君カラ質問サレタノデ、一寸ソレニ關聯シテ御伺シタイノデスガ、最低價格ト云フモノガ生産費ヨリモ何時デモ上位ニアルヤウニ承ル、詰リ運賃諸掛ト云フモノヲ生産費ノ中ニ加ヘルコトハ出來ナイケレドモ、其他デ考慮スルト云フコトニナレバ、何時デモ最低價格ト云フモノハ生産費ヨリモ上位ニアル、斯ウ云フヤウニ心得テ宜シイデセウカ
○荷見政府委員 生産費ト云フモノハ、大體只今マデ申上ゲタヤウナ最低生産費デアアルノデアリマスガ、ソレニ運賃諸掛ヲ加ヘタモノヲ以テ最低價格ヲ定メルト云フコトニナリマスレバ、當然上位ニナリマス
○高橋委員 生産費ヨリモ運賃諸掛ノ關係ヲ考慮スルト上位ニアル、是ハ諒承シマシタガ、其外ニ最低價格ヲ決メル場合ニ、物價ト經濟的情勢ヲ加味スルト云フコトガアルノデアリマスガ、サウスルト其生産費ノ、最低生産費ト云フモノヨリモ下ニ公定價格ヲ決メルト云フ假定ノ下ニ、經濟情勢若クハ物價關係ト云フモノヲ考慮スル譯デスカ、其生産費ノ最低價格ト見テ、其最低價格ヲ決定スル場合ニ於テ、經濟事情、若クハ物價ト云フモノガ惡イ情勢ニアッタト云フ場合ニ於テハ最低價格ハ生産費ヨリモモット下ニ持ッテ行ク御考デスカ
○荷見政府委員 生産費ヨリモ下ニ持ッテ行クトカ上ニ持ッテ行クト云フヤウナコトハ、私ハ考ヘテ居リマセヌノデ、大體生産費ト云フモノハ、昨年ノ現實ニ支出サレタ貨幣ニ依ッテ現ハサレタ金額ト云フコトニナッテ居リマスガ、物價ノ變動ト云フモノガ

年々ゴザイマスカラ、或ル場合ニ貨幣價值ガ下落致シマシタ場合ニハ、最低價格ヲ決メマス時ニ、生産費ガ二十圓デアリマシテモ、ソレニ何圓カ上ニ置カナケレバナラヌ場合ガアルカモ知レマセヌ、ソレカラ貨幣價值ガ騰貴致シマシタ場合ニハ、實際ノ生産費ヨリ下ニアッテモ宜シイ場合ガアルト思ヒマス、下ニ置クトカ、上ニ置クトカ云フヤウナ意味合ニハ考ヘテ居リマセヌ
○高橋委員 サウスルト、必シモ最低價格ト云フモノガ生産費ヨリモ上ニ在ルト云フコトハ言ヒ得ナイ、生産費ヨリモ下廻ルコトモアルト心得テ宜イノデスカ
○荷見政府委員 私ハ上ニ在ルトモ下ニ在ルトモ考ヘマセヌ、實質ノ變動ト云フモノニ適合スルヤウニアルノガ本統デアリマス
○高橋委員 ドウモ其點ガハッキリシマセヌノデスガ、詰リ最低價格ヲ決メル爲ニ、生産費ト物價ノ變動ト經濟事情ヲ斟酌スル、斯ウ云フコトガ條文ノ中ニアル、サウスルト色々場合ヲ斟酌スル場合ニ、總テガ最惡ノ場合ヲ想像スル、物價ノ變動若クハ經濟事情ガ最モ惡イ事情ニアッタ時ニハ、生産費ヨリモ下廻ルコトガ想像シ得ラレル、實際ニハ物價ナリ、經濟事情ナリガ米價ヲ高クスル爲ニ好イヤウナ條件デアレ

バ、生産費ヨリモ上廻ルケレドモ、總テノ條件ガ悪イ時ニハ、必ズ下廻ルト云フコトニ考ヘラレル、此法文ノ解釋ハドウ云フ解釋デアリマスガ

○松村政府委員 ソレハデスネ、時ニ依ッタナラバ上廻ルコトモアリマセウシ、其反對ノ場合モ想像サレヌコトハアリマセヌ、隨ッテ公定米價ト云フモノガ、必シモ生産費ヲ償フ場合バカリデナイコトハ、此法文ヲ御覽下サレバ御諒解ニナルト思ヒマスガ、實際ニハ其上ニ賣リ得ル場合ガ多イノデアリマシテ、是ハ國家ガ最低ノ場合ヲ保障スルノデアリマスカラ、必シモ生産費ヨリ下ッタ場合ガアツテモ、大體ニ於テ生産費ヲ償ヘバソレデ此精神ハ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス

○高橋委員 場合ガ多イ少ナイト云フコトヲ聞イテ居ルノデハアリマセヌ、詰リ最低價格ト云フモノガ生産費ヨリ安クナル場合ガアルカナイカト云フコトヲ聞イテ居ル、

今ノ參與官ノ御答辯デハ生産費ヨリ下廻ル場合ガアルト心得テ宜シウゴザイマスガ

○荷見政府委員 私ノ申上ゲ様ガ足りナカッタラウト思ヒ、マスカラ、モウ一應繰返シテ申上ゲマスガ、大體生産費ト申シテ居リマスルノハ、只今ノ觀念デハ、過去米作ガ

始マリマシテカラ、米ノ收穫時迄ノ支出シタ現實ノ名義上ノ貨幣ノ數量ヲ集メタモノニナリマス、ソレデアリマスカラ、是ハ過去ノ貨幣ノ購買力ヲ見マシタ其時ノ生産費ナンデアリマス、其後物價ガ騰貴致シマシタリ、詰リ貨幣ノ購買力ガ——言葉ヲ換ヘテ申シマス、下落致シマス或ハ反對ニ物價ガ下落シテ貨幣ノ購買力ト云フモノガ高マツタ場合ト云フヤウナ場合ニハ、ソレニ應ジテ過去ノ數字ニ依ッテ出マシタ生産費ト云フモノヲ或ハ高メ、或ハ低メナケレバナラヌモノダト考ヘルノデアリマスガ、アナタノ御質問ノ生産費ト云フモノ、過去ノ「フイッキスト」サレタ貨幣價值ト云フモノガ上ニナルカ下ニナルカト云フト、上ニナル場合モ下ニナル場合モ、今參與官ガ申サレタ如クアルト思ヒマスガ、貨幣ノ實質ノ購買力カラ申シマス、上ニナルコトモ下ニナルコトモアルノガ本旨ダラウト考ヘマス

○宮崎委員 高橋サンノ御質問カラ出タ非常ニ重大ナコトデスガ、結局法律トシテハ斯ウ云フコトデスカ、最低限度ガ決メテアリ、一方家計費ト云フモノ、中ニハ消費者ノ家計費——生産者ガ同時ニ消費者ノ場合モアリマスガ、サウ云フ人ノ生活ヲ破ラナ

イト云フコトガ最高限度デ、ソレカラ生産者ノ方ノ生産費ヲ償フヤウニスルト云フコトガ最低限度デスカ、本來ノ目的カラ申シマスルト、一方ノ最高限度ハ一般國民ノ家計費——生産者バカリデナク、消費者モ云フノデスガ、併シ一般ニハ消費者ガ多イカラ、最高限度ハ國民ノ生活家計費ノ限度ヲ脅威シナイト云フコトガ本旨デ、生産費ガ償フカ償ハナイカト云フコトハ本來ノ目的デナイ、サウ云フ風ニモ聞エマスガ、最低限度ガ生産費ヲ償フト云フコトデナイト、此法律ハ一寸譯ガ分ラヌコトニナリハセナイカト思フ

○荷見政府委員 今ノ御尋ノ趣旨ガ私ノ伺フ所デハハッキリシマセヌノデスガ、生産費、家計費ヲ見テ最低ナリ、最高價格ヲ決メル一ツノ材料ニ致シマスコトハ、米ガ非常ナ國民大多數ノ農民ノ生産スルモノデアリマスカラ、生産者ノ利益モ見ナケレバイカヌ、ソレカラ是ハ全國民ノ主要食品デアリマスカラ、一般ノ消費者ノ立場モ考慮シナケレバイカヌ、ソコデ最低價格ヲ決メマ

ス一ツノ標準ト致シマシテハ、生産費モ見ル、ソレカラ最高限度ト云フモノヲ測定スル爲ニハ消費者ノ家計費モ見ル、ソレカラ生産費、家計費ト云フノハ是ハ一定シタ金

額デ出ルノデアリマスガ、其間ニ於テ幾多經濟事情ガ刻々ニ變化スルノデアリマスカラ、ソレヲモ參酌シテ最低價格ヲ決メルト云フコトニナルト思フノデアリマシテ、生産費ヲ償ハセナイデ宜イト云フ意味合デハナイ、生産費ヲ尊重シ、家計費ヲ尊重スルト云フヤウナ意味合ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 ソコハハッキリサセテ置キタイト思フ、參與官ノ答辯ハ、生産費ヨリモ下廻ル場合モ時トスルトアル、斯ウ云フ風ニ法律ヲ解釋スル、常識ノ解釋デスルト……米穀部長ハ生産費ト云フモノハ其時ノ物價ノ變動、經濟情勢ノ變化ニ伴ッテ貨幣價值ガ下ッテ來ルヤウナ場合モアルカラ、自然生産費ノ算定方法モ違ッテ來ルカモ知レヌカラト、斯ウ云フ風ナ御答辯デアリマスガ、其關係ハ生産費ナラ生産費ト云フモノヲ一ツ調べル場合ニ於テハ、其米ヲ作ッタ所ノ年度ノ基本數字ガ出テ來ル、其基本數字ヨリモ其米ヲ賣ル場合ノ最低價格ト云フモノガ其基本數字ヨリモ下廻ル場合ガ時ニ依ッテハアルト云フコトヲ米穀部長ニ肯イテ戴ケバ第一點ハ片附クノデアリマス、ソレニ敷衍シテ貨幣價值ガドウスル、何ガドウスルト云フコトヲ仰シヤルカラコンガラガル

ノデアリマス、即チ生産費ト云フモノモ、
貨幣ハドウアラウトモ、モウ既ニ基本數字
ガ出テ居ル、最低價格ト云フモノガ其基本
數字ヨリモ下廻ル場合ガ時トシテハ起ッテ
來ルト云フコトガ吾々想像出來ルノデアリ
マス、參與官ノ御説明デモサウアル、ソレ
ニ説明付ケテ、何ト言ヒマスカ、其時ノ事
情ノ事ヲ加味シタヤウナ説明的ノ言葉ニ
ナツテ來ルモノデアリマスカラ、ソコニ私
共ニハッキリ分ラヌ所ガアル、其點ヲハッキ
リサセテ戴キタイ

○清家委員 色々御議論モアルガ、ドウモ
廻リ遠クテ甚ダ分リ惡イ、ソレハ其根本觀
念ヲ一ツ確カニ据エテ掛ラナケレバナラヌ
コトデアリマス、時トシテ貨幣價值ノ狀態
デハ生産費ヲ割ルコトモアル、サウ云フヤ
ウナ風ニモ耳ニ聞エタガ、生産費ヲ割ルガ
如キコトガアッテハ相成ナイト私ハ考ヘテ
居リマス、是ガ根本ノ觀念デナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、生産費ヨリハ五分
ナリ三分ナリ、二分ナリノ利益ヲ與ヘル方
法ヲ立テルト云フコトガ根本ニナツテ、此米
穀統制法ト云フモノガ米ノ處分ニ對スル活
キタ方法ト相成ル、時ニ割ルコトモアルト
云フヤウナコトガアッテハドウシテ米ヲ作ッ
テ行ケルカ、是ハ國民ノ生命ノ繫ガル所デ

アル、九千萬國民ヲ皆養ハナケレバナラヌ
唯一ノ食糧デアアル、ソレヲ生産費ヲ割ルコ
トガアッテドウスルノカ、國家ノ事ハ兵ヲ足
シ、食ヲ足シ、衣ヲ足シ民ヲシテ信ゼシム
ト云フノガ政治ノ三大要件デアアル、其三
大要件ノ最モ大事ナ食ト云フ此問題ノ解決
ニ對シマシテ、政府ノ御意見ガ確タル上ニ
立ッテ居ラナイト云フコトヲ、今ノ御説明デ
思ハザルヲ得ナイノデアリマス、凡ソ工業
ノ會社ヲ目論見マシテモ、商會社ヲ目論
見マシテモ資本ヲ入レタダケノ價ガナクテ
誰モ承知スル者ハアリマセヌ、ソレニ利潤
ト云フモノヲドレダケカ見積ラナケレバ會
社ハ成立致シマスマイ、米ヲ作ッテモ利潤
ヲ見積ラナイデドウシマスカ、小池君ノ言
ハレル通り租稅ハ何處カラ出ルカ、租稅バ
カリデハアリマセヌ、衣モ、食モ何處カラ
出マスカ、其利潤ガナクシテ生産費ダケデ
行ケルカ、此點ガ分ラヌ、ドウモ折角ノ立
法ヲ爲サレナガラモ、根本觀念ガ全ク立ッ
テ居ラナイト吾々ハ言ハナケレバナラヌ、
モウ一寸シツカリシテ御答辯爲サラヌカ、馬
鹿々々シイデハナイカ、説明ノ仕方ヲモウ
少シ眞剣ニヤツテ貫ヒタイト云フコトヲ私
ハ要求シマス

○八田委員 只今清家君カラ御忠告ガアリ

マシタ通り、私共ハ其點ガ最モ當局ニ御聽
キシタイ點デアリマシテ、松村參與官ノ御
答モアリマシタガ、之ニ對シテ御考慮願ハ
ナケレバナラヌコトハ生産費以下ニ下ル場
合ガアルト云フコトデアリマス、ソレハア
ルデセウ、ソレヲ矯正シナクテハナラヌ、
今回ノ之ニ關スル勅令ノ内容ニ付テハ未ダ
現ハシ得ナイ狀態ニナツテ居ルカラト云フ
御答ガ先程政府委員カラアリマシタカラ、
多分サウ云フ點ニ付テ考慮シタ勅令モ布カ
レルダラウト思ヒマスガ、是ハ米穀年度ノ
初メニ定メタル額ヲ以テ是ガズツト不變的
ニ來テ居ルカライケナイノデアリマス、是
ハドウシテモ各月毎ニ標準價格ヲ改メテ行
カナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ農會等
ニ於テモ昔カラ言ハレテ居ル事デアアル、何
故カナラバ米ヲ貯ヘテ居レバ保管ノ爲ニ利
子マデ拂ッテ行クノデアルカラ、毎月其標準
價格ヲ改メナケレバ到底米ノ價格ト云フモ
ノヲ安定スルコトハ出來ナイノデアアル、生
産費ヲ割ル場合ガアッテドウシマス、是ハ
生産費ヲ割ラナイヤウニ各月毎ニ標準價格
ヲ改メテ行クヤウニシナイト、保管ノ場合
ノ利子モアル、ソレガ段々附加リ、殖エテ
行カナケレバナラヌカラ、若シ生産費ヲ割ッ
テ居ル時ガアレバ尙更ラ標準價格ヲ改メテ

行クト云フコトニシナケレバナラヌ、斯ウ
云フ點ニ餘程重點ヲ置イテ勅令等ノ御改廢
ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、今各委
員ノ御質問ニナツタ事ハ當ニ其點デアリマ
ス、私ハ其點政府ニ御考慮願ハナケレバナ
ラスト思ヒマス

○三善委員 只今高橋君ノ質問ニ對シテ農
林當局ハ生産費ヲ割ル事モ時ニ依ッテハア
ルト云フコトヲ言ハレタノデアリマスカ、
是ハ私ハ最低價格ヲ決メラレル上ニ於テ、
斯様ナ信念ノ上デ最低價格ヲ決メルト云フ
コトデアレバ、非常ニ間違デハナイカト思
フノデアリマス、私ハ生産費ニ付テ能ク吟
味致シテ見マスト、生産費ノ中ノ公租、公
課トカ或ハ雇人ノ勞働賃銀トカ、或ハ農舍、
農具ト云フヤウナ主ナ費用ハ、是ハ其米穀
年度ニハ出テ居ッテ、モウ既ニ使ッタ後デア
リマス、肥料ノ如キモ金肥ハ買フタ後デア
アツテ、相當ノ金ヲ支出シテ居ル、ソレヲ生
産費ニ加ヘテ現ハサネバナラヌ、農家が一
定ノ金額ヲ支出シタ後ニ生産費ガ決ッテ來
ベキデアアル、其決ル生産費ヨリ最低價格ガ
以下ニナルト云フコトハ、農家ガ既ニ支出
シテシマツテ居ル金額ヲ生産費ニ含メナイ
カラデアツテ、是ハ農家ニ對スル米價ヲ決メ
ラル、上ニ於テ甚ダ矛盾デハナイカト、私

ハ斯様ニ考ヘマス、ソレデモ矢張り生産費ヲ割ルコトガアルト云フコトノ御考ハ今尙ホ御變リニナラヌノデアリマスカ、ハッキリ御答辯ヲ願ヒマス

○松村政府委員 私ノ申上ゲタ事ガ色々皆サンノ御考ヲ刺戟致シタヤウデアリマシガ、私ノ申シマシタノモ必ズ生産費ヲ割ッテ宜イト云フヤウナ考ヲ以テ高橋君ニ對シテ言フタノデハナイノデアリマス、サウ云フ風ナ場合モアルカラ、大臣ハ其間ノ斟酌ヲセヨ、又ソレヲ米穀委員會ニ掛ケテ、サウシテ決定スルノデアリマスカラ、サウ云フ生産費ノ償ハナイヤウナ決定ハナイモノト思ヒマシテ左様申シタノデアリマス、ソレデサウ云フ際ノ事ヲ考ヘマシテ所謂季節調節ト云フコトヲヤッテ居ルノデアリマス、此季節調節ノ目的ハ公定價格ニ依ッテ十分保障セラレナイモノヲ、季節調節ニ依ッテ補ッテヤッテ行カウ、斯ウ云フ意味合デアリマスカラ皆サンノ御話ノ點ト吾々ノ考ヘテ居ル點トハ相違ハナイト思ヒマス

○河野委員 今迄色々御話ヲ伺ッテ居リマスガ、各委員カラ同ジ問題ニ付テ御質問ガアル、是ハモウ少シ一人ノ委員ガ徹底的ニ質問ヲ爲サレバ宜イト思ヒマス、所ガ多勢ノ人ガソレノ多岐ニ互ッテ質問ヲサレル

ノデ、政府委員モ其答辯ニ色々御苦ミノヤウニ見エテ居ル、ソレデアリマスカラ議事ノ進行ヲ圓滑ナラシムル意味ニ於テ、一人ノ委員ニ其實問事項ニ付テ一貫シタル質問ヲ許シテ進ンダラドウカト思ヒマス、例ヘバ生産費ノ問題ニ付テモ、生産費ノ問題ダケト言ハズ、色々ナ事ヲ同時ニ關聯シテ質問ヲ許サレタイ、其ノ方ガ寧ろ議事ノ進行ニ宜イト思ヒマス、ドウゾサウ云フ風ニ御取計ヲ願ヒマス

○東委員長 今河野委員カラ質問ノ順序ガ混亂シタニ對シテ議事進行ニ付テ御注意ガアリマシタガ、是ハ昨日土井君カラ質問ニナッテ居ル、土井君ノ質問ニ對シテ生産費ノ問題ガ非常ニ重要デアルカラ、之ニ關聯シテ生産費ダケハ關聯事項ノ質問ヲ許スト云フコトニシテ、昨日カラ今朝ニ掛ケテ許シタ、是ガ非常ニ多岐多端ニナッテ來タ爲ニ、非常ニ混亂ヲシタヤウデアリマスガ、大體ノ方針ハ其趣意デアル、ソレデ其順序ハ、決シテ誰デモ彼デモ勝手氣儘ニヤルト云フノデハナイ、其積リデ河野君モ御承知ヲ願ヒタイ、ソレデ順序トシテ通告順モアリマスシ、其外土井君ガ終レバ他ノ發議ヲ通告ニ依ッテ許スコトニナッテ居リマス

○河野委員 私ハ先程政府ニ向ッテ生産費

ノ府縣別ノ調査ヲ發表シテ欲シイ、發表スルカドウカト云フコトヲ質問シテ置イタ、所ガ政府ノ方カラ答辯ガナイ内ニ今ノ質問ニ入ッテ、私ハ未ダニ答辯ヲ得ズニ居ル、政府ノ答辯ガアルカト思ッテ居リマシタガ、サッパリナク、他ノ方ニ行ッテシマッタ、其答辯ヲ先ツ委員長ヨリサセテ戴キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 府縣別表ヲ今直グ作りマスコトハ非常ニ困難ナコトデアリマス、ソコデ全國平均ノモノ、各費目別ノモノデアレバ今爲シ得ルノデアリマス、府縣別ノモノデアリマス、相當時間ノ猶豫ヲ戴カヌト發表スルト致シマシテモ、出來マセヌ状態デアリマス

○田中委員 私ハ只今生産費ノ問題ニ付キマシテ色々承リマシタ、私ハ生産費ニ生計費、ソレカラ物價指數ヲ御加ヘニナッテ計算セラレマススト云フト、財界ノ最モ不況ナル時ニハ此物價指數ガ下落ヲ致シマシテ生産費ノ償ハナイヤウナ値段ヲ御發表ニナル時ガアリマシタヤウデゴザイマスルガ、私ハ生産費ニ重キヲ置カレマシテ、物價指數ト云フコトハ輕ク見テ戴イテ、サウシテ買入値段ヲ御作りニナレバ相當ノ價格ニ達スルモノト思フ次第デアリマスガ、如何デ

アリマセウカ、尙ホ其外只今米穀部長カラ御話ガゴザイマシタガ、九州米ヲ大阪及東京デ買入レルニ付キマシテハ、運賃其他ニ於テ幾分カ値ノ違フコトガアルト云フ風ニ聽イタノデアリマスガ、サウ致シマスレバ大阪ヨリ東京ノ方ハ九州カラ運ビマスルニ付テハ高ク買ハナケレバナリマセヌ、ソレガ昨年買入レラレタ時ニハ九州米、中國米ガ大阪デ買入レラレタ値段ト、東京デ買入レラレタ値段トハ、石ニ一圓位東京ノ方ガ安價ニ買入レラレタト云フ事實ガアリマス、ソレハドウ云フ譯デアリマスカ、一寸御伺致シマス

○荷見政府委員 ソレハ只今ノ買上ハ現行米穀法ニ依ル買上デゴザイマシテ、總テ時價ニ準據シテ買上ゲルコトニナッテ居リマス、左様デアリマスカラ、九州米ノ時價ガ大阪ニ於ケル價格ヨリモ東京ノ方ガ安クナリマス、東京ノ買入レガ安クナリマス、又反對ノ場合ニハ其反對ニナル譯デアリマス、今度ノ統制法ノ方ハ時價デ買入レルト云フコトハナイノデゴザイマシテ、其時價ニ依ル買入ハ最高最低ノ價格ノ範圍内デゴザイマスガ、最低價格ヲ維持スルト云フ爲メノ買上ノ場合ニハ皆公定價格一本デ買上ノデアリマスカラ、幾分違ヒガアルカト思

ヒマス、是ハ今ノ御問ニハ必要ガナイカモ知レマセヌガ、少シ附加ヘテ申上ゲマス、ソレカラ糶ニ御話申上ゲマシタ運賃諸掛ヲ農家ノ庭先ニ於ケル生産費ニ加ヘタモノヲ生産費トスルカ、ドウカト云フ御尋デゴザイマシタカラ、ソレハ運賃諸掛ヲ加ヘマセヌト、實際最低最高ニ買入レル場合標準ニナツタ生産費ヨリ農家ノ手取ガ安イコトニナリマス、偕テ運賃諸掛ヲ加ヘルト致シマシテ、之ヲ如何ナル程度ニ加ヘテ宜イカト云フコトハ、事情ニ依ッテ違フノデアリマス、是ハ生産費ノ外ノ經濟事情トシテ考ヘル方ガ適當デアルヤウニ私共ノ方デハ考ヘテ居リマス云フコトヲ申上ゲタコトニナルノデアリマスカラ、今ノ買入價格トハ少シ方向ヲ違ヘテ御聽取ヲ願ヒタイ

○土井委員 議事進行ニ付テ一寸申上ゲタイ、必シモ議事進行デハナイ、私御承知ノ通り前回以來大臣ニ向ッテ疑フ質シテ居ル譯デアリマス、ソコデ先日ノ續キ柄カラ申シマスレバ、數量ノ調節ノ部ニ付テ色々御伺シタイノデアリマスガ、併シ私ト致シマシテハ米穀統制法中ノ最モ重點デアル生産費算出ノコトニ付テ各委員カラ御尋ヲ願ウタナラバドウデアラウカ、斯ウ云フヤウナコトデ午前午後ニ引續イテ生産費問題ガ議

題ト相成ッテ居ルノデアリマス、ソコデ私ト致シマシテハ數量ノ調節、其他ニ付テ大臣ニ御伺スル點ハ留保致シテ置キマシテ、兎ニ角今日最モ重點デアリ、且ツ御熱心ニ各委員ヨリ御質疑ニナツテ居ル生産費、此事ヲ先ヅ質疑ヲ先ニ致シタイト思ヒマス、是ガ第一、第二ト致シマシテハ價格公定、所謂第二條ノ問題デアリマスガ、是ハ非常ニ疑義ガ起キテ居ルノデアリマス、最低價格ヲ定メルノニドウスルカ、最高價格ヲ定メルノニドウスルカ、生産費以外ノ家計費ノ問題、或ハ物價其ノ他ノ經濟事情ノ斟酌ノ點ニ付テ非常ニ疑ガ起キテ居ル、是等モ明ニ致ス必要ガアルト思フノデアリマス、是ニ於テ先ヅ質問ノ進行方法ト致シマシテ、第一ニ生産費問題ニ限ッテ各自ノ質問ヲ致シ、第二ニ第二條全體ニ對スル質問、只今八川委員カラモ御話ニナツタ通り、場合ニ依レバ各月ノ最低價格ト云フヤウナモノモ定メテ行カナケレバナラス、即チ利子トカ、保管料ナドモ加算セネバナラスト云フヤウナ、色々議論ガ起キテ居リマスカラソレハ第二、斯ウ云フ風ニ第一第二ト順序ヲ御決メ願ヘレバ非常ニ進行上便利デアラウト思フ、ソコデ第一ノ生産費ノ問題ト致シマシテモ之ヲ區々ニ分タズシテ、既ニ生産費ニハ費目

ト云フモノガ現ハレテ居リマスノデ、必シモ是ガ完全ナル費目トハ申シマセヌガ、尙ホ追加スベキ費目ガアレバ後カラ追加致ストシテ、假ニ之ヲ完全ナル費目ト假定シテ置イテ、第一ニ皆サンガ御持チニナツテ居ル通り種親代、第二ガ勞賃、第三ガ畜力費、第四ガ肥料代、第五ガ農舍費、第六ガ農具費、第七ガ諸材料費、第八ガ租稅其ノ他ノ公課、第九ガ土地資本利子、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソコデ問題ハ勞賃、ソレカラ租稅其ノ他ノ公課、土地資本利子、ソレカラ今ノ生産費以外ノ運賃諸掛、斯ウナツテ居ルケレドモ、之ヲヤハリ順序ヲ逐ッテヤツテ行ッタ方ガ早カラウト思フ、故ニ私只今申上ゲタ通り議事進行ニ兼ネテ意見ヲ開陳スル譯デアリマスガ、如何デアリマスカ、其方ガ早イコトハアリマスマイカ、一寸御尋致シマス

○宮崎委員 今ノ土井サンノ御話ニ關聯シテ——午前中ニ私農林大臣ニ御尋ヲシテ御答辯ガ午後ニアルト云フコトデアリマシタガ、重要ナ問題デアリマスカラ、今農林大臣ガイラッシャル際ニ、大臣ニ一ツ御尋シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ米穀統制法ガ制定ニ相成ルト云フト、米穀法ハ廢止ト云フコトニナル、此點ハ私共モ非常ニ喜ンデ

居リマス、米穀法ヲ廢止スルコトヲ喜ブ理由ノ一ツハ、米穀統制法ヲ此狀態デ歡迎スル譯デアリマセヌケレドモ、米穀法ガ廢止ニナルト、非常ニ喜ブ其主要ナル點ハ率勢米價ノ點デアリマス、ソコデ農林大臣ニ御伺シテ置キタイノハ、此米穀法ノ第五條ト、米穀統制法ノ第二條ヲ比較致シマス、米穀統制法ノ第二條ニ、毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定スル方法トシテ、米穀生産費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ斟酌シテ定ムルト云フコトニナツテ居リマス、所ガ米穀法ノ第五條ニ依ルト、矢張最低價格ヲ決定スル方法ガ米穀生産費、家計費、其次ニ「米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格」ト云フコトニナツテ居リマス、其言葉ガナクナツテ、今度ハ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メルト云フコトニナツテ居リマスノデ、是ハ政府委員、其他ノ方々ニ伺ヒマス、物價其ノ他ノ經濟事情ト云フノハ、或ハ運賃ガ入ルトカ、其他ノ今マデ數ヘテナカタモノヲ入レナケレバナラスト云フコトデゴザイマスガ、一方カラ考ヘマスト、此物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテト云フコトガ、米穀法第五條ノ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢、此事ヲモ或ハ含ムカノヤウニ誤解

スルト考ヘルコトガアリ得ルノデアリマス
ガ、是ハサウデハナイト思フ、米穀法ノ第
五條ト統制法ノ第二條、特ニ米穀法第五條
ノ第三項ヲ削ツタ所以ノモノハ、是ハ所謂率
勢米價ト云フヤウナモノハ、米穀法ノ廢止
ト共ニ無クナルノデアッテ、此處ニアル物價
其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテト云フノハ、
運賃トカ、其他ノ事ニ付テ或ハ生産費ヲ非
常ニ安ク見積ラナケレバナラスト云フコト
ガ起ツタ場合ニ經濟事情ヲ參酌シテ農家ヲ
救ヒ、或ハ消費者ノ方ヲ考ヘルト云フコト
ニナルト思ヒマスガ、米穀法ノ第五條ノ第
三項トハ全然違フノデアルカドウカ、是ハ
非常ニ重要ナ問題デアリマスカラ、農林大
臣ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 現行ノ米穀法ト今度ノ統
制法トハ、御承知ノ通り大變違フテ居リマ
ス、現行ノ米穀法ハ基準價格ヲ決メテ、ソ
レカラ發動シテ時價デ買フ、コチラノ方ハ
公定價格ヲ決メテ公定價格デ買フ、斯ウ云
フ建前ニナッテ居リマス、公定價格ヲ定メル
ニハ生産費、家計費及物價其ノ他ノ經濟
事情ヲ參酌シテ定メル、是ハ生産費ハ公定
價格ヲ定メル下ノ方ニ於テ重要ナ役割ニナ
ルコトハ申ス迄モナイ、上ノ方ニ於テハ家
計費、之ヲ重要ナ要件ト見ヨウトシタノデ

アリマス、併ナガラ家計費ノ計算カラ米價
ノ割出スト云フコトハ、ソレハ非常ニムツ
カシイ問題デアリマシテ、マダ家計費ノ調
査ハ一年位ヤッタダケデアリマシテ、殊ニ家
計費ヲ定メテ上値ヲ定メルノガ適當デア
ルカドウカト云フコトハ、能ク檢討シタ後デ
ナケレバ決メラレマセヌ、ソレカラ物價ノ
關係ガ一般市場ノ經濟ニ影響ヲ及ボシテ、

米價ノ下値、上値ト云フモノヲ考ヘル時分ニ
モ考ヘテ見ナケレバナラスト實情ハ、殊ニ今
日ノヤウナ通貨膨脹デ物價ガ上ルヤウナコ
トヲ考ヘマスト、考慮サレル問題ドラウト
思ヒマス、生産費ヲ釘付ケニシテシマッテ置
クト云フコトハ、消費者ノ側カラ見テモ、
生産者ノ側カラ見テモ、必シモ利益デナイ、
矢張物價ノ關係カラ、公定價格ヲドノ邊ニ
持ッテ行ツタ宜カラウカト云フコトハ、矢
張物價ト云フモノ、一般ノ有様ヲ見テ、一
ツノ割出ヲシテ行カナケレバナラストダラウ
ト思フノデアリマス、率勢米價ト云フ現行
法ノ書方ガアリマシテ、ソレヲ上値二割、
下値二割ト云フヤウナコトデ定メテ、ソレ
ガ發動ノ基準ニナッテ居ルノガ今ノ米穀法
ノ立方デアリマス、今度ノ立方ハサウ云フ
ヤウナ工合ニナルノデアアリマセヌ、公定
價格其モノヲキチント決メテ、確實ナル數

字ガ割出サレテ、ソレ以下ニハ行ケナイヤ
ウニスル、成ベクソレ以上ニ米價ヲ保タセ
テ行ク、斯ウ云フ行キ方ニナルノデアリマ
ス、物價ノ關係ヲ見マス時ニ、ソレノ技
術的ニ色々ノ方法ヲ執ラナケレバナラスト
考ヘマセヌ、之ヲドウ云フ工合ニ執ッテ行
クカト云フコトハ十分ニ考究シテ、適切ナ
方法ヲ立テタイト思ッテ居リマス

○東委員長 先程質問ノ順序ニナッテ居
ル土井君ニ質問ガアレバ、此場合ニ御質問ヲ
願ッテ、アナタノ質問ヲ終ッテ、次ノ人ニ質
問ヲ願フヤウニシタイト思ヒマスガ……

○土井委員 私ノ質問ト言ヘバ必シモ此生
産費ノミナラズ、非常ニ多數ニアリマス、併
ナガラ今改メテ私がヤリ出スト、折角熱心
ニ午前午後ニ互ッテ此第二條ノ問題ニ集中
サレテ居ル譯デアリマスカラ、ソレ故ニ私
トシテハ後ニ質問ヲ留保致シテ置クガ、此
第二條ヲハッキリ此際スル方ガ進行上便宜
デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ申上ゲ
タ次第デアリマス

○東委員長 ソレデハアナタノハ大體マダ
他ニアルコトハ留保シテ置イテ、次ノ人ニ
讓ッテ宜シイノデスナ

○土井委員 私ノ言ウタノハソレヲ讓ルト
云フ意味デアリマス、ソレヲ婉曲ニ言ウタ

モノダカラ、或ハ私が獨占スルヤウニ思ハ
レルカモ知レマセヌガ、午前中ニ於テモ決
シテ私ハ獨占スルモノデハナイト云フコト
ヲ明言シテ置イタ譯デアリマス、ソコデ此
問題ニ集中サレテ居ルカラ、之ヲ各委員ヨ
リ熱心ニ質問爲サレテハ如何デスカ、私ハ
私ノ順序デアルガ故ニ強イテ此第二條ヲ離
レテ質問ヲ今日シヨウトスル者デハナイ、

ソレヲ留保致ス、斯ウ言ウタ譯デアリマス
カラ、其點ハ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイ
ソコデ然ラバ私トシテハ生産費ノ問題ニ
付テ御伺致シマス、生産費ノ資本利子ノ問
題デアリマス、詰リ政府トシテハ小作料、
所謂賃貸價格ト云フモノヲ標準トシテ資本
利子ヲ出スト云フヤウナ方針デアリマス
ガ、是ハ甚ダ政府ト意見ノ合ハヌ點カハ知
レマセヌガ、色々議論ガアルヤウデアリマ
ス、農林省ニ於テハ小作ノ主義ニ依ッテ之
ヲ取扱ッテ居ラレルモノト解釋シマス、併ナ
ガラ日本全國ノ先日來農會方面ノ人々ガ
寄ッテ居リマスガ、其人々ノ意見ヲ徴シマス
ルト云フト、自作農主義ヲ根柢トシテ之ヲ
出シテ行カウ、即チ小作料ノミデナクシテ、
自作農主義デ行ク、ソレハドウ云フヤウナ
理窟デ行カト云フト、小作料ガ金納デア
レバ土地資本利子ヲ小作料カラ算出シテモ

宜イ、併ナガラ米納小作料ヲ當年ノ出來秋ノ米價デ算出スル時ニハ、二ツノ不合理ヲ發見スルト云フコトヲソレ等ノ人々ハ唱ヘテ居ルノデアリマス、其不合理ノ第一點ハ生産費ナルモノハ米ヲ生産スル爲ニ投ズル費用デアル、隨テ生産サレタ米ノ價格ノ公定トハ何等關係ノナイモノニナツテシマフノデアリマス、即チ米ハ過去ニ出來タソレカラ米ノ價ト云フモノハ將來ノコトニナル、然ルニ出來タ米ノ價格ヲ以テ其生産費ヲ割出スト云フヤウナ計算法ハ、工業其他ノ生産費ニモ例ノナイ計算法デアッテ、甚ダシク不合理ノヤウニ思フガドウデアルカ、之ヲ多數ノ農家連中ガ第一點ニ指摘致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ將來此公定價格ト云フモノガ出來マシタナラバ、ドウ云フ變化ガアルカ知レマセヌガ、兎ニ角農會方面トシテハ第一ニ此事ヲ唱ヘテ居ル

ソレカラ第二致シマシテハ、當年ノ米價デ算出スル方法ニ依ッタナラバ、米價ガ非常ニ下落シテ、小作料全部ガ租稅諸負擔額位シカナ場合ハ、土地資本利子ト云フモノニ該當スルモノガナクナツテシマツテ、土地ハ無價值同様ノモノトナル、ソレハ仕方ガナイト致シマシテモ、ソレガ正當デアルト云フコトニナツテ來ル、即チ無價值ノモノ、是ダ

ケデモ農業ヲ壓迫スル不都合ナ政策トナルガ、他方自作農維持創設ニ於テハ當年ノ土地ノ價格ヲ評價シテ貸付金ノ償還額ヲ決定シ、米價ガ幾ラ下落シテモ既定ノ償還金ヲ徵收スルヤウナ方法ヲ執ッテ居ル、農家ノ所得ニ歸スル米價ヲ決定スル生産費ノ計算ニ於テハ、一定額ノ土地ノ價格ヲ認メズ、米價ガ下落シテ資本利子ニ該當スルモノガナケレバナクナツテモ仕方ガナイト云フ政策ヲ執ッテ居ル、政府ノ所得ニ歸スル自作農ノ所謂創定資金ノ償還ニハ米價ノ高低ニ拘ラズシテ、一定ノ土地價格ニ對シ四分八厘ノ利子ト云フモノヲ、徵收スルト云フ政策ヲ行ウテ居ルト云フコトハ兎ニ角政策ノ矛盾デアル、斯ウ云フヤウナコトガ今日論ゼラレテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ如何ナル御意見デアリマセウカ、是ダケ御伺致シマス

○後藤國務大臣 細カイ所ハ又米穀部長カラ御答致シマスガ、私チヨット今ノ資本利子ノ計算ヲ土地ノ時價カラ割出ス方法ト、小作料カラ割出ス方法トニ付テノ御意見ガ此間カラモゴザイマシタ、是ハモウ今日迄世間デモ隨分論ゼラレテ居ル問題デアリマス、ソレニ付テノ色々細カイ御意見ヲ伺フコトハ私共非常ニ結構ナコトデアリマシ

テ、豫テ申上ゲテ置イタカト存ジマスルガ生産費ノ調査法ニ付テハ大體今日出來テ居リマスル調査項目ノ大部分ト云フモノハ是ハ議論ノナイ所デアルト思ヒマス、其他今アルモノニ付テモ又付加ヘタラ宜イデヤナイカト云フ御議論ノアル點ニ付テモ、十分ニ考究ヲ致サウト思ッテ居リマス、デ御意見ヲ伺フコトハ非常ニ結構デアリマス、唯一應私ノ考ヘテ居ル所ヲ申シマス云フト、今日ノヤウニ土地ノ時價ナドノ下ッテ居ルヤウナ時ニ於テ、資本利子ノ計算ヲスルコトガ適當デアルカドウカト云フコトハ餘程疑問デハナイカト思フ、多ク斯ウ云フ場合ニ於テ起ル議論ハ賃貸價格ヲ以テ考ヘルカ、時價カラ還元シタ利息ト云フモノデ資本ノ關係ヲ計算スルカト云フコトデ、色々ナ場合ニ是ハ起ル問題デアリマスガ、何レガ適切デアルカト云フト、ドウモ賃貸價格ノ方カラ來ル方ガ適當デヤナイカ、計算ヲシテ見ルトドシナ數字ガ出マスカ分リマセヌガ、サウ考ヘテ居ル、隨分土地ノ時價ト云フモノハ地方ニ依ッテ、場所ニ依ッテ、大變ナ違ヒガアリマシテ、相當ナ米ノ穫レル良イ田デアリマシテモ、奥ノ方ノ不便ナ所ヘ參リマス、隨分安イ時價ガアッタリシマスシ、時價ト云フモノハ色々ナ事情デ、唯

其土地ノ收益カラダケデナク出來テ居ルコトデアリマスガ、小作料ニシマスレバ、米ノ代價ガ動イテ來ルト云フ動キハアリマスケレドモ、ソレノ方ガ生産者ニ取ッテハ公正ナル資本利子ノ見積リ方ヲサセルコトニナルノデハナイカト、今デハ考ヘテ居リマス、研究ハ十分ニ致シテ見ル積リデアリマス

○土井委員 此頃ノ地租法ハ御承知ノ通り賃貸價格ヲ基準トスルヤウニナツテ居リマスルガ、併シソレハ五箇年平均デアルトカ云フヤウナ仕組ニナツテ居リマス、故ニ此資本利子ト云フモノヲ割出ス上ニ於テモ賃貸價格ト云フモノヲ標準トスルナラバ、五年或ハ十年ノ平均ト云フコトニスレバ、只今御心配ノ如キコトガナクナルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテ更ニ御尋ヲ致シマス

ソレカラ第二致シマシテハ生産地ノ生産費、ソレカラ市場ヘ持ッテ參ッテ、是ハ生産費ト申サズ、米ノ買上價格ト申シテ居リマスガ、其間ニ運賃或ハ諸掛ト云フモノガ大部分掛ル、其運賃並ニ諸掛ト云フモノハ農家ガ負擔ヲシナケレバナラヌヤウナ仕組ニ相成ル、又政府モ左様ニ御考ニナツテ居ル、斯クスレバ一石ニ少クトモ二圓内外農家ハ安ク賣ラナケレバナラヌト云フガ如キ實情

ニ陥ルノデアリマス、ソコデ色々議論ガ出
マシテ、米ヲ商品ト見ルナラバ、運賃竝ニ
諸掛ト云フモノヲ廣キ意味ニ於ケル生産費
ニ加算スルノモ亦可ナリデハナイカ、斯様
ナ議論ガ起キテ居ルノデアリマスガ、之ニ
對シテ御所見ハ如何デアリマセウカ、ソレ
ヲ第二ニ御伺スル次第デアリマス

○後藤國務大臣 第一ノ點ハ米穀部長カラ
更ニ御答ヲ致サセマス

第二ノ運賃、諸掛ヲ生産費ニ加ヘル問題
ハ是マデモ既ニ御答ガシテアルカト思ヒマ
スガ、個々ノ調査ヲシマス場所ニ付テ、其
處ノ庭先デノ生産費ト云フモノヲ計算スル
場合ニハ運賃、諸掛ヲ其中ニ入レテ計算ヲ
スルト云フコトハ、ドウモ必要ノナイ問題
デアルト思ヒマス、ソレ等ノズツ庭先々々
デ出タ生産費ト云フモノヲ集メテ來マシ
テ、ソコデ中庸ノ生産費ト云フモノヲ割出
シテ來ルノデアリマス、運賃諸掛ト云フモ
ノヲドウ云フ工合ニソレデハ考ヘタラ宜イ
カ、詰リ最高最低ノ建値ハ市場ニ於テ一定
ノ建値ヲ付ケテ、ソレデ幾ラダ買上ゲルト
云フコトニナルノデアリマスガ、市場ニハ
庭先カラ運賃諸掛ヲ多少負擔シタモノガ出
テ來ル、運賃諸掛ト云フモノヲ最低價格ヲ
決メル時分ニドウ云フ工合ニ之ヲ加ヘテ見

ルベキモノデアラウカト云フコトハ非常ニ
ムヅカシイ、非常ニ困難ヲ感ズル點デア
ルノデアリマス、多分米穀部長カラモ御話シ
ト思ヒマスガ、是ハ一ツノ經濟事情トシテ、
ドウ云フ風ナ計算ノ仕方デ、ドウ加ヘタ
宜シイカト云フコトハ、餘程考究ヲシテ見
ナケレバ、此處デハハッキリ御答ノシ
愚イ問題デアルト思フノデアリマス、只今ノ所ハ左
様申上ゲテ置クヨリ外ハナイノデアリマス
○土井委員 生産費竝ニ第二條ニ關スル私
ノ質問ハ是デ打切りマス、其他ハ留保致シ
テ置キマス、何卒通告ノ順序ニ依ッテ御整理
願ヒマス

○東委員長 此次ハ福井君ノ順序デアリマ
スガ、福井君ハ居ラヌヤウデアリマスカラ、
清家君ニ許シマス

○清家委員 私ハ大臣ガ御出デニナタ
シカト御返答ヲ承ッテ置カウト思ッテ居
タノデアリマス、洵ニ現行米穀法ト云フ
モノハ所謂米價ニ祟ラレテ去年ノ夏、御
互ニ汗ヲ拭ヒ、隣リノ室デ苦シクコトハ
今尙ホ吾等ノ記憶ニ存シテ居ッテ、皆サ
ンモ決シテ好イ氣持ハ爲サラヌダラウ
ト思フノデアリマス、私共モ非常ニ苦シ
カタノデアリマス、而モ此率米價ガ定マ
ツテ二割下レバ買ヒニ出ル、二割上レバ
賣リニ出ルト云フコト

ヲ私共ハ法制定ノ初メノ委員會デ信ジ
テ居ッタノデアリマス、然ル所勅令ガ後
カラ出マシテ、ソコニ手加減ガ行ヘル
コトニナッテ居ルコトハ、大臣ヨリ御
説明ヲ聞ク迄ハ知ラナカタ、實ハソレ
デ驚イタヤウナ次第デアリマス、極論
致シマスレバ、是ハ法律ヲ勅令デ以テ
殺シテ居ル嫌ガアル、今回ノ此統制法
ヲ御出シニナツタ時ニハ、吾々ノ數年
來ノ主張ガ兎ニ角通リマシタノデアリ
マシテ、實施シテ見ナケレバ其效果ハ
分リマセヌケレドモ、必ズ相當ノ效果
アルモノト信ジマス、年來ノ望ガ適ヘ
ラレテ、私共ハ凱歌ヲ奏シテ喜ンデ居
ルノデアリマス、所ガ又シテモ大局ノ
事柄ハ、法律ニ於テ所定サルベキモノ
ガ、尙ホ勅令委任ノ場合ガ非常ニ多イ
ノデアリマスガ、勅令ニ依ッテ立法ノ
精神ガ曲ゲラレルヤウナコトハ、マサ
カアルマイト思ヒマスケレドモ、ナイ
トモ保證ガ出來ナイ譯デアリマス、茲
ニ一沫ノ不安ヲ禁ジ能ハザルモノガ
アルノデアリマス、米穀ノ委員會ニ於
テモ、如何ニモ立派ナ人が參ッテ居
ルノデアリマセウガ、感心ノ出來ナイ
人モアル、所謂大家揃デ米ノ實際ヲ知
ラヌ人が大分居ルト云フコトハ、例ヘ
バ去年ノ上山君ノ率米價論ナド、砂田
君ノ演説ニ依ッテ明瞭デアリマス、ア、
云フ間違ッ

タ人モ這入ッテ居ル、間違ヒハナイ
ト思ヒマスガ、サウ云フ人々ガ、ヤッ
テ定メルト云フナラバ、安心ヲシテ其
委員會ノ結果ナラバ宜イト云フ程ニ、
吾々ハ能ウ信用ヲ置カヌノデアリマス、
隨テ一體此勅令ニ依ッテ定メルベキ
モノハ、ドウ云フ程度ノモノデア
ルカ、是ハ法律ガ定ツタ後ニボツ／＼
オヤリニナラウト云フ氣デ居ルカモ
知レヌガ、或ハ細目ニ互ッテノ案ハ、
マダ立テラレテ居ナイト私ハ信ジテ
居リマスガ、又總テ備ハツタモノヲ御
出シナサイト云フコトモ、無理ダト云
フコトハ知ッテ居リマス、ソレデ私ハ
政府委員ノ御方トハ、私的ニ飯ノ間ニ
モ御話ヲシマシテ、先ヅ此委員會ヲ終
ヘル前ニ、勅令案ノ骨子ダケヲ御提出
願ヒタイト云フコトヲ御話シテ置イ
タノデアリマスガ、幸ヒ大臣ガ今居
ラレマスカラ、確ト私ハ御答置キヲ願
ヒタイト思ヒマス、委員長ニ御相談
ナサツテ、何時頃マデニ此委員會ガ終
ハルカト云フコトヲ御聞キニナッテ、
サウシテ少クトモ其二三日前ニ、勅
令案ノ骨子ダケヲ御提案ニ相成ラン
コトヲ、私ハ茲ニ希望スル譯デアリ
マス、此點大臣ハ、何モ御互ハ此處
デ喧嘩ヲシヨウトスルノデアリナイ
カラ、御心配ナサルコトハアリマセヌ、
一ツ

御提出ニナルヤウナ運ビニ願ヒタイ

○後藤國務大臣 御深切ナ御言葉デスガ、

別ニ心配スル譯デモ何デモアリマセヌ、唯此新統制々度ノ輪廓ヲ、御覽ニナリマシテモ分ルヤウニ、ナカ／＼細カナ事ヲ決メナケレバナラヌ點ガアリマス、生産費一ツノ點ニ付テモ澤山ノ議論ガアリマス、サウ云フ御議論ノアル點モ篤ト考究シナケレバナラヌモノデアルト信ジテ居リマス、今迄決メタ生産費ヲ、一錢一厘モ動カサヌノダト云フ考ハ有ッテハ居リマセヌ、考究スベキ點ガアルノデアリマス、旁々色々ナ點ニ於テ、カッキリシタ所ノ勅令案ノ要綱ヲ御示シスルト云フコトハ、今ノ所困難ト思ヒマス、

大綱ニ付テハ出來ル限り、一ツサウ云フ風ニ試ミテ見タイト考ヘテ居リマス、ソレデ先刻モ仰セラレタヤウニ、基準ニ依ッテ發動シ、時價デ幾ラ下ッテモ買フ、買フ時モアレバ買ハヌ時モアルト云フヤウナ場合トハ大變違ッテ居ル、公定價格デ行カウ、唯自力デ以テ之ニ應ズルト云フコトニナル、其點ハ是マデノヤウナ行キ方デナク、十分ニ自力ヲ具ヘテ行カウ、サウ云フコトデ、私共ノ見込ハ、公定價格ノ範圍内ニ米價ヲ追込シテ行クコトガ、大體ニ於テ出來ルノダト考ヘテ、此案ガ立案サレテ居ルノデス、左様御承知

ヲ願ヒマス

○清家委員 是マデモ先例ガアルコトデア

リマスガ、ヤハリ勅令案ノ骨子ヲ御出シニナッテ、此處デ善イ惡イヲ論究シテ見ルコトモ極メテ必要ト思フ、ソレヲ御出シニナルカナラスカ、今ノハ御答ガナイガ……

○後藤國務大臣 今申シマシタガ、細カイ

事ニナレバ、今ノ生産費ノ如キハ考究シナケレバナラヌト思ヒマス

○清家委員 勅令ノ骨子ノ方ハドウシマス

カ

○後藤國務大臣 骨子ハ出來ルダケ作りマ

シテ、御目ニ掛ケルコトニシタイト思ヒマス

○田中委員 私ハ極ク簡單ニ四五項ニ互リ

マシテ、農林大臣閣下ニ御伺ヲ致シテ置キタイト存ジマス、第一番ニ米穀統制案ハ現

行米穀法ヲ、量ノ調節ヲ多クシ、又値段ノ高下、値幅ヲ縮小シタル案ト考ヘマスガ、

如何デゴザイマセウカ、モウ一ツハ此統制案ノ上値下値ノ値段ヲ決定セラレル時期、

尙ホ毎年ソレハ御變更ニナリマスカ、如何デスカヲ伺ッテ置キタイ

○後藤國務大臣 現行米穀法デノ米價ノ動

キ得ベキ限度ト云フモノハ、御承知ノ通り基準ガ定メテアリマスルケレドモ、買フ時

ハ時價デ買フト云フコトニナッテ居リマス

カラ、基準ヨリ下レバ下ッタ値段デ買フ、今度ハ公定價格ノ中ニ追込シテ行カウト致シマスカラ、幅ガ狭クナッタク云ヘバ、餘程幅ハ狭クナル譯ダラウト思ヒマス、ソレカラ毎年大體一回値段ヲ定メル積リデ居リマス、其時

期ハ米穀年度ノ初メ、即チ生産費ノ調査ナドガ出來上ッタ時トスル積リデアリマス、唯此法律ニモ例外ノ場合ガ定メテアリマス、大體一年ヲ通ジテ、サウ屢々動カサナイト云

フコトガ、生産者消費者ノ雙方ニ取ッテ却テ其安定ヲ與ヘル所以デアラウト思ッテ居リマス、併シ物價ノ一般ノ狀況、又米穀ノ需

給狀況ナドニ非常ニ變化ガ起ツタ場合ニハ、變ヘナケレバナラヌ場合ガアルト云フコト

ハ、豫想シテ居リマス

○田中委員 次ニ大豐作ノ場合ニ賣希望者

ガアリマシテ、假ニ七百萬石八百萬石ト云フヤウナ賣希望ガアリマシタ場合ニ、政府

ノ所有米ヲ合セルト大變ナ額ニナルノデアリマスガ、其時ニハ倉庫ガ不足スルト思フ

ノデゴザイマス、現ニ私が或ル信ズベキ方面カラ聞及ンデ居リマス所ニ依レバ、政府

ハ約五百萬石位ノ貯藏力ノ倉庫ホカナイト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、是ハ如何デア

○荷見政府委員 御話ノ件デアリマスガ、

倉庫ハ精製シタ物ダケニ致シマス、ドレ位ニナリマスカ、只今農業倉庫ノ方ハ約六百萬石餘リ、七百萬石バカリ收容スル力ガ

アリマス、是ハ殆ド完全ナ倉庫デアリマス、ソレカラ民間ノ倉庫ハ、今日御手許ニ差上

ゲマシタ書類ノヤウニ、可ナリノ收容力ニナッテ居リマスノデスガ、五千三百萬俵バカリノ收容力ノ物ガアリマス、是ハ昨年ノ十

二月現在ニ依リマシテ、主要米產地ニ於ケル營業倉庫ヲ調べタノデアリマス、勿論其

中米以外ノ貨物モ這入リマスカラ、相當ノ容積ガ占有サレルカト思ヒマス、出廻期等

ニ於テハ相當ノ米ガ又、倉庫ニ收容サレルコトモ御承知ノ通りデアリマスカラ、可成

リノ多數ノ分量ガ、收容シ得ルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○八田委員 チョット關聯シテ、先程農林大

臣カラシテ、米穀年度ノ境ニ於テ決メタモノハ、年ニ一回キリナイ、斯ウ云フ御答ガアリマシタガ、吾々ハ此年ニ一回キリデハ月毎ニ之ヲ定メルト云フヤウナコトニシナカッタナラバ、秋ニナッテ今度ハ其金額

フト、一時ニ殺到シテ申込ムト云フコトニ
ナッテ來ルシ、又月毎ニヤッテ行キマセヌト
云フト、貯ヘテ置イタモノ、外ニ利子、斯
ウ云フヤウナモノヲ見テ吳レナイト云フ
ト、唯、單ニ年ニ一回決メルト云フコトデ
ハ、生産費ヲ割ルヤウナコトモアリマスノ
デ、是ハ是非今回ハ勅令ヲ改メラレテ、ヤ
ラレコトデアリマスルカラ、各月毎ニ、保
管料、ソレカラ利子、是等ヲ見テ、サウシテ
計算ヲ取ッテ行クヤウニシナカッタナラバ、
生産費ヲ割ルト云フヤウナコトヲ來シ、農
民ヲ苦境ニ陥ラシメル、又政府トシテモ、一
時ニ取扱ハナケレバナラヌヤウナコトニ
ナッテ來マスカラ、米價ガ安定サレナイ、農
民モ苦シムシ、政府ニ於テモ實質上ニ於テ
非常ニ是ハ困ルコトヲ來スコトニナルト思
フノデアリマスカラ、是ハ各月毎ニ、生産
費ニ對シマシテ調査ヲ盡シ、ソレニ此保管
料、利子、斯ウ云フモノヲ加ヘテ發表スル
ヤウニシナケレバナラヌト思フノデアリマ
スガ、是ハ是非考慮セラレナケレバナラヌ
問題デアルト考ヘマスガ、之ヲチヨット先
程ノコト、關聯致シマシテ、希望シテ伺ッ
テ置キマス

○後藤國務大臣 御説ハ、米價ノ公定價格
ヲ、最初ニ於テ計算ヲ出シテ決メタ、ソレカ

ラアトニ、利子、保管料ト云フモノヲ、各
月毎ニ加ヘテ、月々ノ米價ト云フモノヲ出
シテ行ク、最低價格ト云フモノヲ出シテ行
カナケレバナラヌダラウ、斯ウ云フノデア
リマスガ、私共ハ今左様ニ考ヘテ居リマセ
ヌ、此最低價格ハ、米價ハ何時モ最低價格
ニ置イテ置カウト云フ趣旨デハアリマセ
ヌ、最低價格ヨリ常ニ上ニ置カウト、最低價
格ノ所ヘハ落スマイ、斯ウ云フノ趣旨デ
アリマス、月々ノ米價ヲサウ云フ工合ニシ
テ決メテ行ク、端境期マデニハ、モウ生産
者其他多數ノ人ハ大體賣出ス者ガ多イ、端
境期ニハ、普通ノ場合デアレバ、米ノ値ガ
ドウカスルト上ルヤウナ時期デ、米ノ生産
者側ノ方カラ見レバ、端境期ト云フモノハ
大シテ問題デナイコトデアルト思ハレルヤ
ウナ時ニ、段々尻上リニ、終リノ方ヲ米價
ヲ上ゲテ置クト云フコトニナル、サウシテ
見込違ガ起ッタリシテハ、翌年ノ米ノ狀況
モアリマスルシ、一年ノ中ノ最高最低ト云
フノデアリマスカラ、其中ヘ米價ヲ追込シ
デ置カウト云フモノデアリマスカラ、餘リ
動カサナイデ置クコトガ、運用ノ上カラ言
ヒマシテモモ、又生産者、消費者ノ兩方面、
其範圍内ニ於テ米ヲ取扱ッテ行クベキ人達
ノ考ヘ方カラシマシテモ、宜シイノデヤナ

イカト思ッテ居リマス

○八田委員 是ハモウ見解ノ相違デアリマ
スガ、私共ハドウシテモ、ソレハサウ云フ
風ナ取扱ヲシナケレバ、米價ノ安定ヲ來サ
ナイト思フノデアリマス、ドウカ是ハ御講
究ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、私
ハ、大臣ノ御話ノヤウニデナク、ドウシテモ
之ヲ加ヘテ行ッテ、米價ヲ安定スルヨリ仕方
ガナイ、サウデナイト安定シマイト思フ、
尙ホ私ノ方モ講究致シテ見マス

○田中委員 米ノ買上ニ付キマシテ下値ノ
調節ヲナサルト云フコトハ、洵ニ結構ノヤ
ウニ思ヒマス、併シ今度上値ノ調節ヲナサ
ルト云フコトニ付キマシテ、私ハ一應御伺
ヲシタイト思フ次第デアリマス、大正八九
年ノ經濟界ノ好況ナ時ニハ一石ガ四十圓、
五十圓モ致シタコトガアリマス、其後米價
ハ漸落ヲ致シマシテ、コ、四五年間ハ好天
氣ニ恵マレ、大豐作トナリマシテ、又朝鮮、
臺灣等ヨリ多量ノ移入ガアリマシタカラ、
下値ノ調節ヲセンケレバナラヌト云フヤウ
ニナリマシタガ、一朝不幸ニシテ大天災ト
モナリマシタ時ニハ、値段ガ大暴騰ヲ致シ
マシテ、政府ガ所有米ヲ全部拂下ゲラレテ
モ、尙ホ騰貴スルト云フヤウナコトガアル
ト考ヘル次第デアリマス、ソレニ經濟界ノ

好況等ガ手傳ヒマスレバ、實ニ四十圓、五
十圓ト云フヤウナ値ガ出ヌトモ限リマセ
ヌ、斯ウナレバ政府ノ、上値ヲ調節ナサル
ト云フ意味ヲ成サヌヤウニナリハセヌカト
思フ次第デアリマス、故ニ上値ノ調節ト云
フコトハ餘程考慮ヲ要スルコト、思ヒマス
ガ、如何デゴザイマセウカ、ソレニ關シマ
シテ上値ノ調節ヲ政府ガナサラスト云フコ
トニナリマスレバ、米ハ自然ト高クナリマ
シテ、消費者ハ代用食ヲ食ベマシテ、大イ
ニ米ヲ節約スルコトガ出來マスルガ、政府
ガ米一石ガ清算市場デ四十圓モ致シテ居リ
マスル時ニ、三十圓デ拂下ニナルト云フヤ
ウナコトニナリマス、消費者モ餘計米ヲ
消費致シマス、サウシマス、端境期ニ於
キマシテ、アルベキ管ノ米ガ足ラヌヤウニ
ナッテ來テ、非常ニ國家ノ損害ガ起ルコト、
思ヒマスルガ、此邊一寸上値ノ調節ト云フ
コトニ付テ、承ッテ置キタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 上値ノ調節ハ大體ニ於テ
政府ノ今考ヘテ居リマスル計畫デ行ケバ、
出來得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話
ノヤウニ非常ニ大凶作ガ來テ、七百萬石モ
八百萬石モ政府ガ賣出サナケレバナラヌト
云フヤウナ事態ガ起レバ、ドウカト云フコ
トデアリマスルガ、是ハモウ極メテ極端ナ

場合デアリマシテ、サウ云フ事態が起レバ第一次ニハ政府ノ持ッテ居ル米ヲ——政府ハ相當ナ米ヲ持ッテ行クコトガ必要ト思ヒマスルガ、サウ云フ事態ヲ豫想スレバ、此米ヲ以テ應ズル、ソレデ足ラナケレバ尙ホ外米デモ入レルト云フヤウナ方法ヲ、講ジテ掛ラネバナラヌト思ヒマス、ソレ以上ニ尙ホ非常ナ饑飢ノ爲ニ其力モ及バヌト云フヤウナ事態が起レバ、是ハ又非常ナル方途ヲ講ジナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ通常考フベキ場合デハ、豐作ノ時ニハ相當ナ買入ヲシ行カナケレバ、最低價格ヲ維持シ得ナイト云フコトニ考ヘラレマスルガ、大體想像サレル上値ノ騰リ方ニ付テハ、可ナリ政府ノ有ッテ居ル米ノ賣出ガ利ク狀況ニアルト思フノデアリマス、私ハ素人デアリマスルカラ、サウ云フコトヲ確信ヲ以テ申スニハ、米穀部長カラ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、米ノ市場ニ於ケル値ハ、無論地方ニ有ッテ居ル全體ノ米ガ影響致シマスルケレドモ、市場ニ集ッテ居ル米ノ量ト云フモノガ、其時、其場ノ需要供給ニ非常ニ影響ガアリマスルノデ、政府ガ米ヲ有ッテ居ッテ、上値ノ調節ニ立向フト云フコトハ、可ナリ有力ニ働ケルモノダト思フテ居リマス、併シ上値ノ調節ヲシ

タリスレバ、却ッテ自然的ニ消費節約ノ機會ヲ阻止スルデハナイカ、寧ロ放ッテ置イタ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ趣旨ノ御質問モ、一二アツタト思ヒマスガ、是ハ今日日本ノ國民ノ大部分ガ、米ヲ主食トシテ生キテ居リマス限り、非常ニ高クナルト云フコトヲ、政府ハ成ベク防グト云フ方法ト手段トヲ備ヘテ、之ニ立向ッテ行クト云フコトハ、必要デアラウト思ヒマス、唯非常ナ物價騰貴ガアルヤウナ場合ニハ、米ノ値段ヲ安イ所ニ調節スルト云フコトハ困難デモアルシ、又生産者ニ對シテモ公平ナヤリ方デナイヤウニ考ヘラレマス、隨テ最高最低ノ額ヲ定メル標準ト云フモノガ、法律デ斯ウ云フヤウニ定メテアルヤウナ譯デアリマ

○田中委員 モウ二三承リタイト思ヒマス、米ノ調節買上ニ付キマシテ、民間所有ノ五年産米、六年産米ハ御買上デニナリマスルカ、如何デアリマス、尙ホ朝鮮白米ハ十一月、十二月、一月、二月、三月頃ハ非常ニ大量移出ガアリマシテ、常ニ市價ヲ壓迫致シマスルガ、之ヲ調節セラレル意思ハアリマスカ、如何デアリマスカ

○荷見政府委員 米ノ調節買入ヲ行ヒマスル時ニハ、只今ノ現狀デアリマスルト、昭和

和七年産米ハ買入レマス、結局市場ニ賣渡ニ供シ得ル米ヲ市場カラ減少ヲ致シマシテ、政府ノ倉庫ニ收容シテ、米價ノ釣上ヲスル爲メデアリマスカラ、調節買上デアリマスレバ、其米穀年度ニ生産サレタ米ヲ、成タケ買入レルコトニ致シマス、尤モ古米ガ澤山アリマシテ、ソレガ米價ヲ壓迫致シマスルヤウナ時ニハ、前年糶ノ貯藏ノ獎勵ヲ致シタ結果、サウ云フモノガ多分ニ持越サレマシタヤウナ時ニハ、前年度ノ生産ノ米ヲ買入レタコトモゴザイマスガ、大體ト致シマシテハ新米ヲ買入レルコトヲ、主トシテ置イタ方ガ宜シイト考ヘマス、又朝鮮米ノ壓迫ガ甚シイノデアルガ、此朝鮮米ヲ買入レタ米價ノ調節ヲ圖ル意思ハナイカト云フ御問ノヤウニ思ヒマス、之ニ付キマシテハ、前議會當時ニ成立致シマシタ現行米穀法、竝ニ今回ノ米穀統制法案ニ於キマシテモ、朝鮮米ガ出來秋ニ内地ニ殺到致シマシテ、内地ノ米價ニ惡影響ヲ及ボス、朝鮮米ソレ自體モ不利益ヲ蒙ムルト云フヤウナ點ガアルノデアリマスカラ、之ヲ緩和致シマスル爲ニ、季節的の出廻數量ノ過剰出廻ト認メラレル分ヲ、政府デ買取りマシテ、其壓迫ヲ防グト云フコトノ考ニ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田中委員 只今、部長サンカラ御話ガアリマシタガ、私ハ朝鮮米ノコトヲ申スノデハアリマセヌ、朝鮮ノ白米ノコトヲ御尋シタノデアリマス、白米ハ御調節ノ意思ハアリマセヌカ

○荷見政府委員 朝鮮ノ白米ハコチラニ可ナリ參リマスルガ、ドウモ調節ノ爲ニ之ヲ買入レマスルコトハ、不適當デアルヤウニ考ヘテ居リマス、大體白米ト致シマシテハ、技術者方面ニ主ニ供セラレルノデアリマシテ、玄米ノ方ガ一般ノ取引ノ用ニ供セラレルノデアリマスカラ、玄米ノ方ノ供給量ヲ減少致シマスル方ガ、米價ノ調節ニハ適當デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 現在ノ買入米ノ方法ニ付キマシテ、甚ダ遺憾ト思ヒマスルコトガゴザイマスルカラ、一寸御伺致シタイノデアリマス、米ノ買上ノ申込ヲ致シマシテ、大藏證券ヲ交付セラレルマデニハ、約一箇月餘リモ掛リマス、故ニ餘程ノ大資産家デナイコトニハ、此買上デニ應ズルコトガ出來マセヌ、中農小農ハ更ニ買上デニ應ズルコトガ出來ナイト思ヒマス、一旦米ヲ倉庫ニ納メマシテ、之ヲ大藏證券トシテ戴クマデニハ、ドウシテモ一箇月モ掛ルト云フコトデハ、其間金ヲ寝サセナケレバナリマセヌ、

是ニ付キマシテハ、早ク大藏證券ヲ御渡シニナルト云フ方法ヲ講ゼラレルナラバ、餘程此米價ノ下値調節ト云フコトニハ、有力ニナルカト思ヒマス、現ニ非常ニ申込ミタケテモ、金ガ無イカラ申込メナイ、米ハ持ッテ居ルケレドモ金ガ無イカラ、申込ムコトガ出来ヌ者ガ多數アリマス、モウ一ツハ米價ガ二十五圓以下ノ時ハ、米價ヲ維持セラレル目的デ拂下ヲ御中止ニナッタラドウカト思ヒマス、買換モ拂下モ中止セラレタラドウカト思ヒマス、救済拂下ナラバ是ハ別デゴザイマスガ、買換ニ依ル拂下ナラバ、市價ヲ非常ニ壓迫スルカラ——政府ノ米ハ非常ニ安イノデアリマスカラ——其邊ノ所ヲ御考慮ヘマセヌカ

○荷見政府委員 只今ノ政府ノ買入米ノ代金トシテ、支拂ヒマス米穀證券ノ發行ガ、政府ニ米ヲ納付致シマシテカラ、相當期間ヲ經過スルカラ、小資力者ハ申込ガ困難デアルト云フ趣旨ノ御話ノヤウニ伺ヒマシタガ、只今吾々ノ方デハ申込ヲ受入レマシテ、買入ヲ決定致シマスト云フト、其買入ノ次ノ日カラ納入ニ應ジテ居リマス、サウシテ一定ノ指定倉庫マデ持ッテ參リマシテ、其庫入積ノ通知書ガ參リマスト、直チニソレニ依ッテ現品ノ領收證モ出シマスシ、

ソレニ依ッテ米穀證券ノ請求ヲ致シマス、ソレガ大藏省ニ參リマシテ、證券トシテ發行サレルマデニハ普通ノ狀態デアリマス、事務所ガ地方ニ分散シテ居リマスカラ、十日位ハ掛リマス、尤モ米穀法施行當時ニハ、一箇月カソコラモ掛ッタノモアリマシタケレドモ、只今デハ餘程期間ガ短クナッテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、併ナガラ御話ノ點ハ能ク注意致シマシテ、出来ルダケ今後早メルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ買換ノ問題デゴザイマスガ、此買換ハ政府ガ所有シテ居リマスル米穀ガ古クナリマシテ、調節ノ威力ヲ失フト云フコトハ不適當デアリマスカラ、大體新米ノ出来秋ニ於テ、古米ト交換ヲ致ス意味合ニ於キマシテ、古米ヲ賣ッテ新米ヲ買フノデアリマスカラ、ソレガ最低價格ヲ脅スト云フ時デアレバ、勿論致スコトハイケンイノデゴザイマスケレドモ、大體適當ナ賣頃ノ時ヲ見計ラッテ、ソレヲ實行致シテ居リマス、大シタ惡影響ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、尙ホ場合ニ依リマシテハ、ソレガ爲ニ市場ニモタレテ居リマシタ米ガ消化サレル爲ニ、米價ガ好クナルヤウナ傾向ヲ取ルコトモアルノデアリマスカラ、買換ガ非常ニ惡イトハ思ヒマセヌガ、御察シノ

ヤウニ、ソレガ爲ニ米價ニ惡影響ヲ及ボスコトハ、成タケ避ケタイト云フコトヲ、當時吾々トシテモ苦心致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ整理賣却ノ問題デアリマシタ、是モ凶作地デアリマスルカ、非常ニ不漁デアリマシタ漁村デアリマスルカ、山村デアリマスルカ云フヤウナ所デ、困ッテ居ルト云フ所ガアリマス、實際ノ實情ヲ見マシテ、知事ノ十分ノ調査ヲ經マシタ後、是ハ政府ノ整理米モアリマスシ、賣却シタ方ガ宜シイト認メラレルモノニ限ッテ、拂下ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、無暗ニ拂下ゲル意味デハゴザイマセヌ

○村松委員 本法案ニ於キマシテ、最モ重大ナル問題ハ、言フマデモナク生産費ノ問題デアリマス、先程來諸君ヨリ色々御意見ヲ承リマシテ、ソレニ對スル當局ノ御説明モアリ、或ル程度ニ於テ是ハ満足シテモ宜シイヤウナ感じモ致スノデアリマス、唯併ナガラ十分ナル言明ヲ得ザル點モアリ、且又將來ニ對スル考慮ニ關シマシテ、全く漠然タルモノモアッタ次第デ、其點ハ洵ニ遺憾ニ考ヘル次第デアリマス、既ニ論議ガ非常ナモノガアリマシタ以上、私ハ生産費ニ關シマシテ、唯簡單ニ駄目ヲ押ス程度ニ於テ、御同致シテ見タイ、其一ツハ、高橋委員ヨ

リノ發問ニ關聯致シタルコトデアリマスルガ、私共ノ信念ヨリ致シマスレバ、ドウシテモ生産費ハ如何ナル事情ガアッテモ、之ヲ下ゲテハナラナイ、生産費ヨリ公定價格ヲ下ゲルコトガアッテハナラナイ、若シ生産費ノ外ニ、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌致シマスルナラバ、ソレハ引上グル場合ニ於テノミ參酌スベシ、斯ノ如ク考ヘテ居リマス、而シテ當局ノ御説明モ、稍ソレニ近キモノガアッタヤウニ思ヒマシテ、洵ニ満足ニ思フ次第デアリマス、此際ニ於キマシテ、條文ヲ讀ンデ見マスレバ、反對ノ場合モ生ジ得ルヤウニ思フ次第デアリマスシ、又實際上ヨリ見マシテモ、反對ニ生産費ヨリ下ゲテ、公定價格ヲ決定セラレル場合モ想像セラレル次第デアリマスガ故ニ、此際ニ於キマシテ、此條文ヲバ明確ニ、生産費ヨリハ絕對ニ下ゲナイモノデアルト云フコトヲ、明瞭ニセラレル御意思アリヤ否ヤ、之ヲ第一ニ御同致シタイ、ソレカラ先程私ハ、勞賃ニ關シマシテ、生計費ヲ其基準ニスルノガ合理的デアルト申シマシタノニ對シマシテ、米穀部長ヨリモ、略同様ナル御意見ノ開陳ガアッタデアリマス、然ラバ將來ニ於キマシテ、ヨリ合理的ナリト御認メニナリマスル生計費ヲバ、此勞賃ノ基礎トシテ御採用

ニナル御意思アリヤ否ヤ、即チ其前提ト致シマシテ、農家ノ生計調査ガ絶對的ニ必要デアリマス、此農家ノ生計調査ニ關シマシテ、何等カ發動セントスル御意思アリヤ否ヤ、此二點ヲ御伺致シテ置キマス

○後藤國務大臣 第二ノ點ハ米穀部長カラ御答ヲ致セルコトニ致シマス、最初ノ問題ニ御答ヲ致シマスルガ、生産費、物價其他ノ經濟事情ヲ以テ最低價格ヲ決メル、生産費トシテソコニ割出サレタモノハ、御承知ノ通り、何處ノ生産費デアルト云フノデモナク、又其生産費トシテ割出サレタモノガ、全部ノ生産者ノ生産費ヲ償フコトハ出來ナイノデアリマス、丁度マア中央ドコロヲ取ツテ考ヘルノデアリマス、隨テ今日ノ規定以上ニ、生産費ト云フコトヲ明瞭ニハシヨウガナイト思ヒマス、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌スルコトカラシテ、生産費ヲ償ハナイ價ガ出テ來ル、モウ生産費ト云フモノヲ、今取ツタモノデモ、償ヘナイ價ガ澤山出テ來テ居ルノデアリマス、生産費ノ隨分高イモノガ、地方ノ事情ニ依ッテハアリマシ、又年ノ事情ニ依ッテハアリマス、物價ヲ參酌シテ公正ナ最低價格ヲ得サセヨウトスルノデアリマス、生産費ト云フモノヲ十分ニ調ベテ、中庸ノ生産費ヲ得テ、物價等

ト埋合セテ賣ルコトニナルノデアリマス、是ハ上値ノ家計費ト、物價ノ關係トヲ見ル時ニモ同ジデアリマス、ソレデ米ノ値段ヲ、最低ノ方カラ申シマスレバ、其最低ノ價格ヲ絶エズ維持シテ、生産者ヲシテ其決メラレタ所ノ生産費ヨリモ、高イ所デ一般ニ賣レルヤウニシテ行カウ、斯ウ云フノガ法ノ働ニナッテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 今御話ノ農家ノ家計費ヲ算出シマシテ、ソレカラ自家勞力ノ勞賃ノ算定ヲスルト云フコトデアリマスガ、是ハ現在ノヤウナ農家ノ經營組織ノ下ニ於キマシテハ、非常ニ困難ナコトデアリマシテ、ドレ位ノ程度ノ生活ト云フモノガ農家ノ生活デアルカ、農家ノ必要ナ生活費デアルカト云フコトノ判定ハ、非常ニ困難ダと思ヒマス、隨ヒマシテ只今デハ、ソチラノ方面カラ算出致シマシタ勞力ノ評價ヲ致サウト云フ準備ヲ致シテ居リマセヌ、唯若シモ適當ナ方法ガアリマスレバ、研究致シタイと思ヒマスケレドモ、只今デハ其準備ハ致シテ居リマセヌ

○村松委員 只今ノ大臣ヨリノ御答ニ對シテ、私ノ質問ノ趣旨ヲ、モウ一度明確ニ致シタイと思ヒマス、私ノ申シマシタノハ、從來ニ於テモ生産費ヲ割ッタ例ガアル、又將來本法ガ施行セラレマシテ、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌スルコトニ相成リマシテモ、尙ホ生産費ヲ割ル場合ガアル、ソコデ大臣ニ於カレマシテハ、其最低價格以上ニシタイト云フ御希望デアリマシテ、是ハ誠ニ私共同感ノ至リデアリマスルガ、其御希望ニ副ハザル場合——反對ノ場合ヲ豫想致シマスルガ故ニ、少クトモ生産費ハ最低ヲ割ラナイヤウニシヨウ、ソレ以上ニ價格ヲ引上グベキ事情ガ生ジタル場合ニハ、初メテ此物價及ビ其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ戴キタイ、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、隨テ此公定價格ヲ維持セントスル御努力ト、反對ノ場合ガ生ジテ參ルコトヲ恐レマスルガ故ニ、條文ノ上ニ之ヲ明瞭ニシテ、ドンナ場合デモ生産費ヨリハ下ゲナイノダ、公定價格ハ是レ以上ニハ下ゲナイノダト云フコトヲ明瞭ニ爲サル御意思アリヤ否ヤ、ソレヲ伺ッテ置イタノデアリマス

○後藤國務大臣 只今モ申シマシタヤウニ、是レ以上ニ明瞭ニ致シ方モナイト思ヒマスガ、私ガ生産費ヲ割ッテ居ル場合ガアルト云フノハ、生産費ト云フモノヲ計算シ出シマシテモ、全國ノ生産費ハ皆違フ、一ツノ茲ニ抽象的ナ生産費ヲ計算シ出スノデアリ

マスガ、其生産費ニ基イテ決メタ額ト云フモノガ、必ズ生産費ヲ償ッテ餘アル部分ト、ソレカラ生産費ヲ償ッテ居ラナイ部分トガアルコトニナルノデアリマス、ソレカラ再生産其他ノ關係等ヲ考ヘテ見マスレバ、一體ノ物價等ハ下ッテ參リマシテ、總テノ貨幣價值ガ茲ニ増加シタト云フ場合ニハ、唯其商品價值ノ名目ダケデ、生産費ヲ償ッタカ償ハスカト云フコトヲ見ル譯ニモ參リマセヌ、矢張り物價等モ參酌シテ參リマスノハ、先程モ申シタヤウニ、非常ニ一般ノ經濟界ノ好調デ物價ガ高クナッタ場合ニハ、生産費ト云フ所ニ釘付ケニシテ置ク譯ニ參ラナイト思ヒマス、又ソレニ唯近付ケテ置クト云フ譯ニモ參ラナイト思ヒマス、其關係上生産費ヲ十分考慮ニ入レ、又其他ノ經濟事情ヲ考ヘテ、茲ニ最低價格ヲ決メル、斯ウ云フコトガ適正ナ公定價格ヲ得ル最善ノコトニ相成ルダラウト思フ、此法律ノ規定ニ依ッテ、實行シテ參レバ宜シイノデアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○村松委員 只今ノ御答辯ニ對シマスル反對ノ理由ハ、勿論持合シテ居ル積リデアリマスガ、唯、之ヲ申上ゲマスルコトハ、他ノ委員諸君ノ仰セラレマシタコトヲ、蒸返スニ過ギナイ結果トナルト思ヒマス、唯、私ハ

是以上ニ明確ニスルコトハ出來ナイト云フ御言明ダケヲ得マシテ、次ノ問題ニ質問ヲ進メテ参リタイト思ヒマス、ソレハ數量調節ノ問題デゴザイマス、第一ニ御同致シタイコトハ、一體此法案ニ於テ、數量ノ調節ハ何ヲ主眼トシテ居ラレノデアリカ、從來ノ米穀法ニモ數量ノ調節ト云フコトガアリ、今回ニ於テモ同様ニ、數量ノ調節ヲ其目的トセラレテ居リマス、尙ホ從來ノ米價調節ノ歴史ヲ追ッテ参リマスレバ、色々ノ變化ヲ來シテ居リマシテ、今日ニ於キマシテハ純正ナル意味ノ、數量調節デハナイト云フコトダケハ、私諒解致シテ居ルノデアリマスルガ、本法ニ於テ何ヲ主眼トシテ居ラレカ、之ヲ明カニセラレタイノデアリマス、考ヘテ参リマスレバ、數量ノ調節ノ意味ニ關シテハ、生産ノ全體ノ量、又全國民ノ消費量、ソレヲ一致セシムルト云フノモ、勿論數量調節デアリ得ベク、又價格ノ調整手段トシテノミノ數量調節モ考ヘ得ラレマス、又需要ト供給、社會的ノ消費ニ供給ヲ適合セシムルト云フコトモ、考ヘ得ルノデアリマス、更ニ需要ト供給ノ調節ノ中ニハ、供給ハ一定限度ノモノトシテ置イテ、之ヲ需要ニ對シテ調整セシメントスル考ト、又供給ニ對シマシテ、需要ヲ引上ゲルコトニ

依ッテ、調整シヨウト云フコト等色々アルト思ヒマスガ、本法案ニ於キマシテハ、其中或ハ其他ニ於テデモ宜シイノデアリマシテ、數量調節ノ主眼點トセラレマス所ヲバ、明カニセラレタイノデアリマス

ノ狀態デアリマス、例外ガ偶ニハ起リマシケレドモ、ソレニ順應シテ季節調節、數量調節ト云フコトヲ行ッテ行クコトニ致シタ譯デアリマス

ノ統制ヲ單ニ一方ニ偏シタルモノデナイトシマスルナラバ、是ハ勿論理由ノアルコトデアリマセウケレドモ、其生産ノ統制ガ、當時ノ全體ノ空氣ヨリ考ヘテ見、又本法案ノ第四條ニ於キマシテハ、直チニ朝鮮臺灣ノ生産制限ト云フヤウナモノヲ、目標ト致シテ居ルモノデハナイコトハ勿論知ッテ居リマスケレドモ、其運用ノ結果ドウニデモナルノダ、大臣ノ本會議ニ於ケル御答辯ノ中ニハ、或ル程度ニ價格ガ高マリ過ギタナラバ、出廻期ノ調節サヘモ止メテモ宜シイノデハナイカト云ヤフウナ、御答辯モアッタト云フヤウナコトヲ考ヘテ参リマスレバ、供給過多ト云フコトヲ前提ト致シマシテ、生産ノ制限ニ至ルノデハナイカ、此點ニ關シマシテ相當ナル疑問ヲ有シテ居リマス、食糧政策ノ上カラ申シマシテモ、十分ニ將來ヲ長ク併セ考ヘマシテ、考究スベキ問題デハナイカト思フノデアリマス、本日御配付ニナリマシタ參考資料ニ依リマシテモ、三十年ノ後ノ需給狀態ハ、朝鮮、臺灣ノ米ヲ入レマシテサヘモ、尙且ツ千三百萬石ノ不足ヲ生ズル推計ニ相成ッテ居リマス、ソコデ單ニ今日ノ價格ヲ調整致シマスト云フ目的ノ爲ニ、生産制限ト云フヤウナ點ニ至ルコトガアリト致シマスレバ、是ハ重大

○後藤國務大臣 最高最低ノ範圍内ニ於キマシテモ、米價ガ比較的平準デアルト云フコトガ、希望サルベキ狀態デアルト思フノデアリマス、數量調節ハ最高最低ノ價格ヲ維持シテ、米價ヲ一定ノ範圍内ニ入レテ置カウト云フ大キナ働キノ外ニ、季節的ニ殺到スル米價ガ、米價ヲ非常ニ變動サセル虞ガ多イノデアリマス、之ヲ一定ノ標準ニ從ッテ、市場ニ平準ニ出テ來ルヤウニシヨウト云フコトカラ、出發シテ居リマス、直チニ價格ヲ狙フノハ公定ノ制度デアリマス、數量ノ平準ヲ其範圍内ニ於テ期シヨウ、是ハ正確ニキチットハ参リマセヌケレドモ、成ベク市場ニ出來ル米ノ供給ヲ平準ニシテ行カウ、斯ウ云フコトヲ狙ッテ居リマス、ソレカラ自然生ズル米價ノ平準ト云フコトガ、アリ得ル譯デアリマス、是ハ其形通りキチット完全ニハ参リマセヌケレドモ、凡ソサウ云フ狙ヒ方ヲシテ居ルノデアリマス、季節的ニ米價出廻ル、季節的ニ米價ガカスレルト云フコトハ、例外ナク繰返サレル大體

ノ狀態デアリマス、例外ガ偶ニハ起リマシケレドモ、ソレニ順應シテ季節調節、數量調節ト云フコトヲ行ッテ行クコトニ致シタ譯デアリマス

○村松委員 此法案ノ數量調節ノ目的ハ、結局價格維持ノ手段デアアル、斯様ニ私ハ御答辯ヲ解釋致シタノデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテ豫想シ得ベキ重大ナル問題ガ伏在シテ居リマス、成程昨年ノ大凶作、此時ニ於キマシテモ前年度ニ較ベマシテ、朝鮮或ハ臺灣ヨリノ移入米ハ、前年以上ニハ及ンデ居ラナカッタ、併シソレハ何ノ爲メデアッタカ、價格調節ノ主眼トシテ居リマスル所ノ供給量ヲ、其處マデ制限シタ、制限シ得ルシグト云フダケノ問題デハナカッタノデハナカラウカト信ジテ居ルノデアリマス、即チ其前年ニ於ケル大豐作ノ結果、持越量ガ從前ヨリモ非常ニ多クヤウナ事情、又昨年ノ不景氣ガ相當ニ深刻ナルモノガアリマシタ爲ニ、需要ガ案外多クナカッタ、斯様ナ點ニ存在シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ特ニ此際心配ニ堪ヘザルコトハ、米穀統制調査委員會ニ於ケル各委員ノ言說デアリマス、殆ド下ノ委員ニ於ケルマシテモ、何等カノ生産ノ統制ガ必要デアルト言ハレテ居リマス、生産

ノ統制ヲ單ニ一方ニ偏シタルモノデナイトシマスルナラバ、是ハ勿論理由ノアルコトデアリマセウケレドモ、其生産ノ統制ガ、當時ノ全體ノ空氣ヨリ考ヘテ見、又本法案ノ第四條ニ於キマシテハ、直チニ朝鮮臺灣ノ生産制限ト云フヤウナモノヲ、目標ト致シテ居ルモノデハナイコトハ勿論知ッテ居リマスケレドモ、其運用ノ結果ドウニデモナルノダ、大臣ノ本會議ニ於ケル御答辯ノ中ニハ、或ル程度ニ價格ガ高マリ過ギタナラバ、出廻期ノ調節サヘモ止メテモ宜シイノデハナイカト云ヤフウナ、御答辯モアッタト云フヤウナコトヲ考ヘテ参リマスレバ、供給過多ト云フコトヲ前提ト致シマシテ、生産ノ制限ニ至ルノデハナイカ、此點ニ關シマシテ相當ナル疑問ヲ有シテ居リマス、食糧政策ノ上カラ申シマシテモ、十分ニ將來ヲ長ク併セ考ヘマシテ、考究スベキ問題デハナイカト思フノデアリマス、本日御配付ニナリマシタ參考資料ニ依リマシテモ、三十年ノ後ノ需給狀態ハ、朝鮮、臺灣ノ米ヲ入レマシテサヘモ、尙且ツ千三百萬石ノ不足ヲ生ズル推計ニ相成ッテ居リマス、ソコデ單ニ今日ノ價格ヲ調整致シマスト云フ目的ノ爲ニ、生産制限ト云フヤウナ點ニ至ルコトガアリト致シマスレバ、是ハ重大

ナル問題デハナイカ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、他ノ委員ノ方ニ於カレマシテ、今日ハ生産制限ノ時代デアルト云フ風ナ御議論モ拜聴致シ、或ル點ニ於テ私モ同感デハアリマスケレドモ、單ナル生産制限、ソレハ非常ニ危險ナル前提ヲ置イテ、始メテ出來得ル結論デハナイカト思フ、即チ今日ノ供給過剩ニ見エテ居リマスルモノガ、本當ノ意味ニ於テ供給過剩ナンデヤナインダ、需要ガ減退シタシタト云フ點ニ御氣付キニナラレマスナラバ、單ナル生産制限ト云フヤウナコトハ、生ジ得ベカラザルコトデハナイカ、アリ得ベカラザルコトデハナイカト云フコトヲ、考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ソコデソレニ關聯シテ私伺ヒタイノハ、若シ政府ニ於テ生産ノ制限ヲ此法案以外ニ於テ行ハレルトシマスルナラバ、其具體的ノ方針ハドウナッテ居ルノデアアルカ、從來ノ耕地ヲ減ラスト云フヤウナコトハ、恐ラクナイト思ヒマスガ、左様ナコトニマデ及ブ積リデアラレルカ、或ハ又將來ノ擴張ニ付テノミ、之ヲ制限セントセラレルモノデアアルカ、左様ナ場合ニ於テ、如何ナル方法ニ於テソレヲ制限セントセラレルモノデアアルカ、斯ウ云フ點ヲ御伺ヒヲ致シ、將來ノ需給ノ推測ト

ソレガドンナニ影響ヲ及ボスモノデアアルカト云フコトヲ、明瞭ニセラレタイノデアリマス

○後藤國務大臣 出廻調節ノ趣旨ガ、米價維持ニアルト私ガ申シタト云フ風ニ御話デアリマスガ、ドウモ言葉ガ、是ハ言廻シ次第デ、サウ申シテモ差支ナイカモ知レマセヌガ、米價ヲ公定價格ノ範圍内デ平準ニナラシメヨウト云フ結果ヲ生ズラアラウト思ヒマス、調節ハ專ラ數量ヲ目標トシテ参リマシテ、其結果ガ米價ヲ平準ニスル——

平準ニキチツトシテシマフ譯デハアリマセヌガ、季節的ニ出廻ガ多イコト、季節的ニカスレル米價ヲ、ソレデ調節スルコトニハナラウト思ヒマス、併シ專ラ數量ヲ目標トシテ参ルト云フノガ、出廻調節ノ趣旨デアリマス、ソレカラ今ノ生産制限ノ問題デアリマスガ、是ハ今御話ニナリマシタヤウナ事ガ、非常ニ研究ヲ要スル問題デアルト思ヒマス、今日内地朝鮮臺灣ヲ通ジテ、米ノ生産ガ非常ニ殖エテ來タ、近年増殖計畫ニ依ッテ殖エテ參ツタ、其結果一體ノ米價ガ壓迫サレルト云フ實情ハ、確ニアルト思フノデアリマス、ソレデ色々此新統制法ヲ作ル等ノ必要ガ生ジテ來タ譯デアリマス、然ラバ將來ノ日本ノ人口ノ増加、其他ノ趨勢ヲ見テ、

モウ米ノ増産ナント云フモノハ、ビツタリ此際止メテシマツタラ宜イカト云フト、サウハ參ラスト思ヒマス、併ナガラ此米穀ノ狀況ヲ見マスレバ、増産ノ計畫ノ調節ト云フコトダケハ、ヤラナケレバナラヌダラウ、其調節ハ然ラバ如何ニシテヤルカ、耕地ノ擴張ト云フモノハ、一段歩モ許サナイコトニスルトカ、或ハ非常ナ増産ヲ生ズラヤウナ改良計畫ハ、許サヌコトニスルトカ、是ハ逆モ極端ナコトハ致シ得ナイト思ヒマス、唯農家ガ自己ノ經濟ノ狀況ヲ改良スル爲ニ、用排水ノ設備ノ改良ヲヤルトカ、或ハ水田ノ少イ地方ノ農家ガ、水田ヲ少シ増スヤウニ開墾ヲヤリマスとか云フヤウナコトマデ、細カイ制限ヲ設ケテ一律ニヤルト云フコトハ、出來兼ネルト思ヒマス、如何ニシテ米ノ増産計畫ノ調節ヲ圖ツテ、一時ニ米ガ今ノ狀況ヲ更ニ著シク増大スルヤウナコトノナイヤニシテ、而モ他日ノ備ヘト云フモノハヤハリ考慮ノ中ニ入レテ行クト云フヤウナ具體的ナ方法ハ、餘程一面ニハ専門的ニ、一面ニハ行政的ニ調査ヲ十分シテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、米穀調査會ニ於テモ當面ノ此統制法案ノ外ニ、生産ノ將來ノ統制問題ニ付テハ十分ナ研究ヲシ、方法ヲ立テテ行クヤウニト云フコトハ、

答申サレテ居リマス、其趣旨ニ基キマシテ政府ノ方デハ、内地朝鮮臺灣ト云フ所ヲ通ジテ、此生産ノ計畫ノ調節ト云フモノヲ、今後ニ攻究致シタイ積リデアリマス、ソレガ總テハ相當ナコトガ行ハレマスレバ、此米穀統制法ノ力ヲ、將來一層強メテ増加スルト云フコトニナルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○村松委員 需要ト供給ヲ適合セシムルト云フ點ニ關シマシテ、私ハ家計費ノ問題ヲ茲ニ例ヲ引キマシテ、更ニ私ノ意思ノ在所ヲ明カニ致シタイト思ヒマス、家計費ハ配付セラレマシタル參考資料ニ依リマスレバ、五十圓ヲ最低トシマシテ、ソレ以上ノモノノ世帯ニ付テノ家計費調査ヲ致サレテ居リマス、ソレヲ基準トシマシテ、所謂家計米價ナルモノヲ作ラレントスルモノデアルト、私ハ思フノデアリマスルガ、若シ米價ガ或ル一定度以上ニ上ルヤウナコトニナリマシタナラバ、ソレハ政府ノ調査ノ對象ト致シテ居リマスル世帯以下ノ人々ガ、必ズ米價需要者トシテノ地位ヲ滑リ落ちナケレバナラナイノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ内地米ニ關スル問題デゴザイマスルガ、内地米ニ限局シテ申シマスレバ、或ル一定度以上ニ上リマスレバ、是等家計

費ノ對象ニナリ得ザル世帯ニ於テハ、米ノ需要者デナクナルノダト云フコトハ、是ハ明瞭ナコトデハナイカト思フノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、今日ノ社會ニ於テ食フコトノ出來ザル無產大衆ガ非常ニ多イコトハ、御承知ノ通りデアアル、又失業者ノ數モ非常ニ多イノデアリマス、缺食兒童ト云フヤウナモノモ非常ニ多イ、是等ノモノハ今日ニ於テサヘモ尙且ツ米ノ需要者トシテ現ハレテ居ラヌノデアリマス、其爲ノ供給過剩、是ハ私ドウシテモアルト思フノデアリマス、明確ニ實數ヲ以テ現ハスコトハ固ヨリ困難トハ存ジマスルケレドモ、斯ノ如キ狀態ノ下ニ於ケル供給ノ過剩ト云フモノガ、現實ニ今日ノ日本ニ於テハ存在致シテ居ルト、見ナケレバナラスノデアリマシテ、即チ供給ニ對シテ需要ヲ調節シテ行クト云フ手段ガ宜シイカ、或ハ需要ニ對シテ供給ヲ調節シテ行クト云フ手段ガ宜シイカ、十分ニ考究ヲ要スル點デハナイカト思フノデアリマス、斯ノ如キ點ヲ十分ニ致シテ居リマセヌデ、唯、單ニ出廻期ニ於ケル數量ノ調節ト云ヒ、或ハ最高最低價格ニ依ル賣買ヲ致シマシタ所デ、到底完全ナル數量ノ調節ト云フコトハ、不可能デハナイカ、私ハ左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ

實際農家ニ於テアリマスルコトデスガ、本當ニ金ガ必要ナンダ、其際ニ於テハ自分ノ食用ノ持米デサヘモ、涙ヲ以テ節約シテ、サウシテ市場ニ賣出シテ居ルト云フ事實モ、歴然タルコトデアルト私ハ思フ、斯ノ如クシテ生ジタル供給過剩、是ハ決シテ全日本ノ無產大衆ノ、食物要求ニ對スル保證ヲ致シテ居ラズシテ、供給過剩ノ一時的現象ヲ見マシテ、將來ノ生産消費ノ數量調節ニマデ及バントスルコトガ危險ニナルコトモ、一ツノ理由デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、ムヅカシイ理窟ヲ申上ゲマシテモドウカト思ヒマスルカラシテ、斯様な點ガ若シアリト致シマスナラバ本法ニ於ケル數量調節ニ關シマシテモ、相當ニ考慮スベキデハナカラウカト思フ、若シ本法ノ中ニ需要ト供給ノ調節、殊ニ需要ニ對シテ供給ヲ調節ショウト云フ志ノ現ハレガアルト致シマスレバ、ソレハ單ニ生溫イ貸付ノ條項ダケニ過ギナイト思フノデアリマス、斯様なコトデアリマシテ、需要ト供給ガドウシテモ一致シ得ナイヤウナ傾向、其趨勢ガ現レテ居リマス際ニ於テハ、本法ノ中ニ於テデモ、或ハソレ以外ノ方法ニ於テデモ十分考慮スルノガ私ハ適當デアルト思フ、御所見ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 御尋ノ趣旨ハ、消費ト需要方面ヲ調節スルコトニ依ッテ、供給過剩ト云フ問題ヲ救フ途ガアルノデハナイカ、又供給不足ノ時ハ、需要ヲ減ラスコトニ依ッテ、供給不足ニ對應スル途ガアルノデハナイカ、今回ノ新法ノ制度ノヤウナ、米價竝ニ數量ニ對シテ働キカケル問題ノ外ニ、需要ト供給ノ、殊ニ需要ノ方ノ根本ヲ調節スルコトニ依ル方法ガアルノデハナイカト云フコトヲ、御考ヘニナッテノ御尋ノヤウニ思ヒマス、是ハサウ云フ考モ有リ得ルコト、思ヒマス、併シ實行方法トシテハ、直ニ有效ナル方法デナイ問題デアリマス、是ハ非常ニ米ガ不足シタト云フヤウナ特別ノ場合、例ヘバ歐羅巴ノ戰時ニ於ケル食糧ノ不足ノ時ニ、需要ノ方ヲ制限シテ切符カ何カヲ渡シテ、調節ヲ取ツヤウナコトガアリマス、又一面ニハ生産者ノ方ニモサウ云ツヤウナコトヲシテ、徵發トマデ行キマセヌデモ、成ベク手持ヲサセナイヤウニシテ、調節シテヤルト云フコトガアリマスガ、今日ノ日本ノ米穀市場ニ對應スルガ爲ニ、急ニ需要ノ喚起ヲ圖ッテ、其調節ヲ圖ルト云フヤウナ、適切ナ方法ハ今一寸有リ得ナイト思フ、唯米ノ用途ヲ更ニ食物以外、普通ノ飯以外ノ用途ナドニスルト云フコトガ、段々研究

サレテ參リマスレバ、ソレモ方法デアリマセウシ、ドウモ御質問ノ點ハ一ツノ議論、一ツノ意見トシテ、又將來或ル場合ニ行フ理想トシテ、考究シテ參ルノハ宜イト思ヒマスガ、今直ニ有效適切ナ具體方法ハ、中發見シ惡イヤウニ考ヘマス

○村松委員 簡單ニモウ一項ダケヲ申上ゲマス、只今ノ御答辯、ソレニ對シテ私ハ何等意見ヲ申述べズニ、他ノ問題ニ觸レテ見タイト思ヒマス、結局本法ヲ施行スルニ方リマシテ、或ハ生ズルト思ヒマスル所ノ矛盾ナリ、或ハ缺陷ナリ、之ヲ同時ニ調制補填スル方法ヲ御考ヘニナッテ居ルカドウカ、此點ニ係ッテ居ルノデアリマス、ソレハ只今申シマシタヤウニ家計費ノ問題、ソレカラ需要供給ノ問題、私ハ明ニ矛盾スルト思フ、サウ云フ點ヲ先程其一部トシテ御同致シタノデアリマスガ、其外ニ例ヘバ今日ノ肥料對策ト云フヤウナコトニ關シマシテハ、是ハ先程ドナタカカラモ伺ハレタノデアリマスカラ、問題ニ致シマセヌガ、其他ニ農民ノ負擔ヲ輕減スルコトニ依ッテ生産費ノ低下ヲ圖ル、斯様なコトハ御考ヘニナッテ居ルカドウカ、生産費ノ低下ヲ圖ラズニ置イテ、本法ヲ實施セント致シマスルナラバ、ソレハ非常ナル經費ノ濫費ニ陥ルヤウナコトガ

アリハシナイカ、生産費低下ニ對スル他ノ具體的ナ方法、之ヲ講ズルコトニ依ッテ、又生産費低下ヲ致シマスル爲ニハ、農民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトガ、前提ニ相成ッテ居ルト思ヒマスガ、斯様ナコトヲ致シマシテコソ、初メテ本法ガ將來永ク其威力ヲ發揮シ得ルモノデアラウト私ハ思ヒマスルガ、米穀統制法案ヲ以テ近キ中ニ躰カセルコトナキ爲ニ、特ニ是ト一體ヲ成スベキ色ナ政策ニ關シマシテ、御持合セガアリマ

スルナラバ、ソレヲ開陳シテ戴キタイト思ヒマス、而シテ私ハ本日此程度ニ於テ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 只今御話ノアリマシタ問題ハ、獨リ米穀統制法ノ威力ヲ以テ永ク存続セシメ、ヨリ一層有效ナラシムルト云フコトノ爲ニモ必要デアリマセウガ、ソレト離レテ考ヘマシテモ、農村ノ對策トシテ色色考究シナケレバナラス問題ト思ヒマス、生産費ヲ成ルベク下ゲ得ルヤウニスル爲ニハ、生産ノ經費ニ繰入レラレル色々ナモノガ安クナルヤウニト云フコトハ、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマス、今日一方ニ増産其他ノ方法ニ依ッテノ農家ノ收入ヲ増ス方法、農家ガ遺フ經費ヲ少クスルコトニ依ッテ、農家ノ經濟ヲ良クシテ行クト云フ方法、

色々ナコトニ付テ種々考究施設モ致シテ參ッテ居ルノデアリマス、農家ノ負擔ヲ公正ニスルト云フヤウナ問題ハ、蓋シ重要ナル問題ノ一ツデアルト考ヘテ居リマス、其他肥料等ノコトニ付テモ、屢御尋ニ對シテ所見ノ在ル所ヲ申述ベテ參ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○清家委員 タツタ一言御尋申上ゲマス、大臣ノ御出デニナラヌ前ニ、動モスルト生産費ヲ米價ガ割ルト云フヤウナコトモ有リ得ルト云フヤウナ、政府委員ノ御説明モアリマシタシ、ソコヲアタリノ議論ニモ出テ來

タヤウニ思ヒマスガ、私ハ食糧ニ對シマシテハ、何時モ供給不足ニハ相成リタクハナイノデアリマス、隨テ相當ナ米價ノ維持ガ出來ナケレバ、農家ハ米ヲ作ラナクナル、ソコデ若シ生産費ヲ割ッテモ構ハヌト云フ御意見デアルナラバ、私ハ本法ニ對シテ絶對ニ反對デス、生産費ヲ償ウテ尙ホ餘アルモノト見ナケレバナラス、多少デモ生産費以上ノモノヲ得ナケレバ、農民ハ何ヲ以テ生活スルカ、何ニ依ッテ衣服ヲ著マスカ、何ニ依ッテ家ニ住ミマスカ、生産費ダケハ生活禁止ニナッテシマフ、ソコデ生産費ヨリハ稍、高ク買ハウト云フ根本觀念ヲ以テ、立法セラレタイ、勅令案ヲ制定セラレル時分ニ

ハ、其積リデヤッテ貰ヒタイト云フ希望ヲ申シテ置キマシタガ、大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○後藤國務大臣 ドウモ御話ガ喰違ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、農家ガ生産費ヲ割ッテハ非常ニ苦シイト云フコトハ、御尤モナコトデアリマス、唯生産費ト申シマスケレドモ、農家ノ作ル米ノ、箇々ノ米ハ皆生産費ガ非常ニ違ッテ居ル、ソレヲ皆償ッテ餘アルト云フコトハ、ドンナ米穀法、ドンナ制度ヲ作ッテモ、サウハイカナイ、其事ヲ先程カラ御話シテ居ルノデアリマス、中庸

ノ生産費ト云フモノヲ狙ッテ、米價ト云フモノヲ出ス、ダカラ農家カラ見レバ生産費ノ上ニモナレバ下ニモナルト云フ恰好ニナルノデアリマセウケレドモ、ソレハ止ムヲ得ナイ、隨テ公定價格ノ最低ノ價格ヲ見マス場合ニ、物價等ノコトヲ考ヘテ、公正ナ價格ヲ定メテ行クト云フコトニナルホカナイノダラウト思ヒマス

○清家委員 大臣ハ誤解ヲシテ居ル、生産費ノ調ベタモノハ東京府デハ一石四十圓ト言ヒ、何縣ハ何十圓ト言フ、全國的ニ考ヘテ生産ヲ少クシテ行クト云フコトハ、爲政者トシテ爲スベキコトデハナイ、食物ハ十分ニシナケレバナラスト云フコトハ當リ

前デアル、ソレニハ作ッテ引合ハナケレバナラス、故ニ大體ノ趣意ニ於テ、生産費ヨリ稍、高キモノデ買上ゲルト云フ根本ノ觀念ヲ、持タナケレバナラスト云フコトヲ私ハ言ッテ居ル、私ハ地方ノコトニ付テハ能ク知ッテ居リマス、大臣ヨリ先ニ生レテ居ルダケ能ク知ッテ居リマス、サウ云フ意味デ生産費ヲ割ルコトモアルカモ知レヌト云フ大體的ノ意見ト思ヒマスカラ、私ハ左様ナ根本觀念デ立法ヲヤッテ貰ッテハ困ルト云フコトヲ申シタノデアリマス

○後藤國務大臣 能ク分リマシタ

○河野委員 一寸材料ノ要求デスガ——先程農林當局ニ向ッテ商工業者ト農業者トノ租稅公課負擔ノ比較ヲ戴イタノハ帝國農會ノ調査デ、是ハ困ルカラ大藏省ニ此眞偽ヲ質シテ出シテ呉レト云フコトヲ御願シタノデアリマスガ、此際直接ニ委員長カラ大藏省ニ向ッテ、昭和三年ニ大藏省デ調査シタモノガアルサウデアリマスカラ、此材料ヲ提供スルヤウニ御取計ヒ願ヒタイノデアリマス、若シソレヲ大藏省ガ出スコトガ出來ナイナラバ、此席ニ大藏省ノ關係當局ノ御出席ヲ願ッテ、一々質問シタイト思ヒマス

○東委員長 承知致シマシタ——本日ハ是デ散會シマスガ、明日ハ十時カラ午前中ダ

ケ開會シタイト思ヒマス、午後ハ重要ノ本
會議ガアリマスカラ、休憩シタイト思ヒマ
ス、サウ云フコトニドウカ御含ミヲ願ヒタ
イノデアリマス、本日ハ是ニテ散會致シマ
ス

午後四時十二分散會

昭和八年二月二十日印刷

昭和八年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所